JAPAN GAMES

昭和100年

2026 AOMORI
青の煌(きら)めきあおもり国スポ



公式マスコット
「アップリート君」

第80回国民スポーツ大会
卓球競技会

会　期　10.11(日) - 15(木)

会　場　カクヒログループスーパーアリーナ

主　催　公益財団法人日本スポーツ協会・文部科学省・青森県・公益財団法人日本卓球協会・青森市

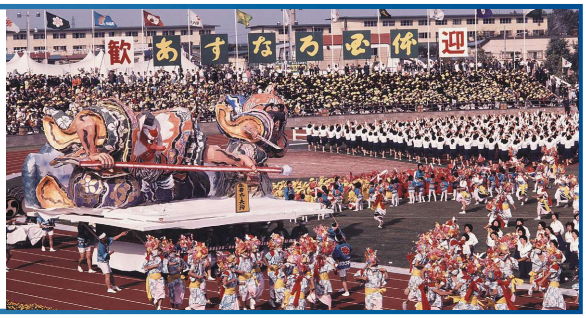
第80回国民スポーツ大会
The 80th JAPAN GAMES

国民スポーツ大会（国スポ）は、都道府県対抗で毎年開催される国内最大のスポーツの祭典です。本県での開催は、前回のあすなろ国体(※)以来49年ぶりであり、前回同様、冬季大会と本大会を同一県で開催する「完全国スポ」です。

※2024年から「国民体育大会」の名称が「国民スポーツ大会」に変わりました。

あすなろ国体とは？

昭和52年、青森県で国体史上初となる完全国体（冬・夏・秋と3季にわたり行われる大会を同一県で実施した国体）として、第32回国民体育大会（あすなろ国体）が県内各地で華々しく開催され、本県は天皇杯を獲得しました。



■ 大会愛称

青の煌(きら)めきあおもり国スポ

青い空、青い海や湖、青い山並みなど美しく豊かな自然に恵まれた青森県で、あおもり国スポに参加する全ての人々が、交流を深め、感動を創出し、いきいきと煌めくような大会を目指します。

■ スローガン

翔けろ未来へ縄文の風に乗って

縄文時代の遺跡が数多く存在する青森から、新たな歴史と感動を全国に向けて発信し、未来につなげていきたいという願いを込めています。

■ イメージソング「翔けろ未来へ」



作詞：井元 仁江
作曲：T.Mikami
編曲：多田 慎也、島田 尚
歌唱：りんご娘
（ピンクレディ、スターキングデリシャス、はつ恋ぐりん、金星）

■ ダンス「青の煌(きら)めきダンス」



イメージソング「翔けろ未来へ」にあわせ、振付けに青森県を表現するポーズやねぶたの跳人の動き、手話による表現などを盛り込んだ、青森らしいユニバーサルデザインダンスです。

■ 公式マスコット



「アップリート君」

特徴ある県の形と、ハチマキの中央にある「りんご」で青森県を表現しています。

LINEスタンプも販売！

最新情報は公式アプリ・HP・SNSで！

公式アプリ

2026 AOMORI

Download on the App Store　GET IT ON Google Play

あおもり国スポ　検索

今すぐ無料ダウンロード！

公式HP　X　Instagram　YouTube

目　　次

あ　い　さ　つ

第80回国民スポーツ大会　会長
公益財団法人日本スポーツ協会　会長
遠　藤　　利　明…… 1

文部科学大臣
松　本　　洋　平…… 2

公益財団法人日本卓球協会　会長
河　田　　正　也…… 3

歓 迎 の こ と ば

青森県知事
宮　下　　宗　一　郎…… 4

青の煌めきあおもり国スポ青森市実行委員会　会長
青森市長
西　　秀　記…… 5

青森県卓球連盟　会長
河　野　　満…… 6

国民スポーツ大会天皇杯・皇后杯授与規程…… 7

国民スポーツ大会会長トロフィー授与規程…… 8

大会役員…… 9

競技会役員…… 13

競技役員…… 16

競技補助員・競技会係員・ボランティア…… 18

総則…… 19

ＭＥＭＯ…… 38

実施要項…… 39

試合方法…… 43

総合成績決定方法…… 44

競技上の注意…… 45

競技日程…… 47

組合せ表
成年男子…… 48
成年女子…… 49
少年男子…… 50
少年女子…… 51

競技タイムテーブル…… 52

競技の見方…… 57

成績記録表…… 58

男女総合・女子総合成績一覧表…… 60

各種別ブロック代表一覧表…… 61

参加申込人数一覧表…… 62

参加選手一覧
成年男子…… 63
成年女子…… 65
少年男子…… 69
少年女子…… 74

成年男女・少年男女　第５位表彰式
式次第…… 76

成年男女・少年男女　表彰式、総合表彰式
式次第…… 77

練習会場の使用について…… 78

練習会場の練習時間割当表…… 79

都道府県・種別入賞回数…… 80

年次別成績一覧表（前回大会までの記録）…… 81

会場配置図…… 90

関係機関連絡先一覧表…… 93

日本卓球協会（ＪＴＴＡ）公認品目一覧表…… 94



あ　い　さ　つ

公益財団法人日本スポーツ協会
会長　　遠 藤　利 明

はじめに、本年７月２８日に発生した令和８年熊本地震により亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。また、同地震及び昨年１２月８日に発生した青森県東方沖地震により被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げ、一日も早い復興と皆様のご健康を心からお祈りいたします。

第８０回国民スポーツ大会は、本年１月から２月に行われた冬季大会と併せ、「完全国スポ」として開催いたします。

第７１回岩手大会以来、１０年ぶりとなる「完全国スポ」を締めくくる本大会が、縄文の時代から育まれてきた歴史と文化を有し、豊かな風土に恵まれた本州最北の地、ここ青森県において開催されますことは、誠に意義深いことであります。

本年は、第２５回オリンピック冬季競技大会（ミラノ・コルティナ）、サッカーFIFA ワールドカップ２０２６、第２０回アジア競技大会（愛知・名古屋）などの大規模な国際総合競技大会が開催され、多くのアスリートの目覚ましい活躍が、私たちに大きな勇気を届けています。

本大会が「翔けろ未来へ縄文の風に乗って」というスローガンの通り、出場するアスリートの皆様にとって、世界へ羽ばたく契機となることを切に願っています。

さて、日本スポーツ協会では、「有識者会議」からの提言に基づき、令和７年７月、改革を具体的に進める組織として、「国スポ改革タスクフォース」を設置しました。

今後、現状と課題を分析し、国民スポーツ大会が競技性・祝祭性・社会性・文化性を掛け合わせた、「トップアスリートと地域スポーツの好循環　～人と地域の未来を創る～」という理念を具現化できる大会となるよう、検討を進めているところです。

結びに、地震からの復旧に取り組みながら、本大会の開催にあたり諸準備にご尽力いただきました　青森県をはじめ、関係の皆様方のご支援、ご協力に対し心から深く感謝申し上げます。

あ　い　さ　つ



文部科学大臣　　松 本　洋 平

はじめに、令和８年熊本地震によりお亡くなりになられた方々に哀悼の意を表するとともに、被災された全ての方々に心からお見舞い申し上げます。

文部科学省としては、被災された熊本県をはじめとする自治体への支援に全力を挙げて取り組んでまいります。

天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、ここ青森県において昭和１００年記念 第８０回国民スポーツ大会「青の煌めきあおもり国スポ」が盛大に開催されますことを、誠に喜ばしく存じます。

青森県は、世界自然遺産の「白神山地」、四季折々の表情を見せる「八甲田山」や「岩木山」など豊かな自然の魅力にあふれ、世界文化遺産である「北海道・北東北の縄文遺跡群」や重要無形民俗文化財である「青森のねぶた」など、自然と文化が息づく県です。

昭和５２年のあすなろ国体以来４９年ぶりの青森県での開催となり、「翔けろ未来へ縄文の風に乗って」をスローガンに、県全域を舞台に熱戦が繰り広げられます。

本大会は、史上初となる総合開会式・閉会式の屋内開催に加え、大会公式アプリによる競技情報や結果速報の提供、デジタルチケットの活用などデジタル技術の活用により、選手と観客双方に配慮した大会運営となっています。「青の煌めきあおもり国スポ」が、国民に夢と感動を与え、青森県の魅力発信と活性化につながる大会となりますことを心から願っております。

郷土の代表として参加される選手の皆さんが、積み重ねてこられた練習の成果を思う存分発揮され、我が国の国際競技力の向上が図られるとともに、この機会に全国の仲間や青森県民の皆さんとの交流を通じて、思い出に残る大会となりますことを期待しております。

昨年度は、東京２０２５世界陸上競技選手権大会、第２５回夏季デフリンピック競技大会東京２０２５、ミラノ・コルティナ２０２６冬季オリンピック・パラリンピック競技大会が、今年度は、愛知・名古屋において、第２０回アジア競技大会、第５回アジアパラ競技大会が開催され、国民のスポーツへの関心はますます高まっているところです。

文部科学省としましても、アスリートや子供たちの活動の機会を確保し、スポーツの持つ力やすばらしさが社会の活力につながるよう、関係の皆様と一丸となって取組を進めてまいります。

結びに、「青の煌めきあおもり国スポ」の開催に当たり御尽力いただいた地元青森県、会場となる各市町村をはじめとする関係の皆様の御支援、御協力に対し、心から敬意と感謝の意を表しまして、御挨拶といたします。



あ　い　さ　つ

公益財団法人日本卓球協会
会長　河 田　正 也

このたびの令和８年熊本地震により、お亡くなりになられた方々に心より哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様にお見舞い申し上げます。厳しい状況が続くかと思いますが、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

“翔けろ未来へ縄文の風に乗って”を大会スローガンとした、第８０回国民スポーツ大会卓球競技会が、八甲田連峰や陸奥湾などの美しい自然に囲まれ、四季折々の景観や、りんごやホタテなど豊富な食材に恵まれ、日本を代表する火祭り「青森ねぶた祭」など豊かな宝物を有しているここ、青森県青森市にあるカクヒログループスーパーアリーナ（青森市総合体育館）において、本日より５日間の熱戦が繰り広げられますことは誠に喜ばしいことであります。

全国各地およびブロックでの厳しい戦いを経て栄えあるふるさとの代表となられた選手の皆さん、日頃練磨された技と力を十二分に発揮されると同時に、ふるさとに錦を飾ることができますようご健闘されることを期待しております。また、大会の趣旨をよく理解され、地元の方々との熱い交流はもとより、選手相互に親睦と友好を深め、国民スポーツの祭典にふさわしい大会に盛り上げていただきたいと思います。

終わりに、本大会を開催するにあたり、ご尽力賜りました青森県並びに青の煌めきあおもり国スポ・障スポ実行委員会、青の煌めきあおもり国スポ・障スポ青森市実行委員会の方々、競技運営に携わる青森県卓球連盟および地元の卓球関係者の皆さんに、これまでの永年にわたる準備とご尽力に対し感謝申し上げますとともに、ご支援くださった多くの関係各位に深甚なる感謝の意を表し、ご挨拶と致します。

以上



歓迎のことば

青森県知事　　宮下（みやした）　宗一郎（そういちろう）

はじめに、令和８年熊本地震によってお亡くなりになられた方々に、深く追悼の意を表しますとともに、御遺族と被害に遭われた方々に心からお見舞い申し上げます。

昭和１００年記念青の煌（きら）めきあおもり国スポ「第８０回国民スポーツ大会」が昭和元年（１９２６年）から起算して満１００年の節目となる年に、天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、青森県において開催されますことをお喜び申し上げます。そして、全国各地からお越しくださいました選手及び関係者の皆様を、県民を代表して心から歓迎いたします。

「青の煌（きら）めきあおもり国スポ」は、史上初の完全国体である「あすなろ国体」以来４９年ぶりとなる青森県での開催であり、国民体育大会から国民スポーツ大会に大会名称が変更されてから、初の“完全国スポ”となります。

「翔けろ未来へ縄文の風に乗って」のスローガンのもと、美しく豊かな自然の恵みを受けながら、一万年以上にわたり縄文文化が営まれていたこの青森の地で生まれる新たな歴史と感動、そしてこれを希望ある未来へつなげていきます。

“スポーツで青森県が一つ”に、“私たち県民の心がスポーツで一つ”になる、「青森新時代」の大会を目指し、県民総参加で青森県を青の煌（きら）めき一色に染め上げ、スポーツの祭典を盛り上げたいと考えています。

選手の皆様には、日々の練習で培ったパフォーマンスを存分に発揮されますとともに、感動と温かい交流にあふれ、皆様の心に残る最高の大会となることを願っています。

結びに、今大会の開催に御尽力されました関係者の皆様に心から感謝を申し上げるとともに、今大会の成功と選手の皆様の御健闘をお祈りし、歓迎のことばといたします。



歓迎のことば

青の煌めきあおもり国スポ・障スポ青森市実行委員会会長
青森市長　　西　秀 記

第８０回国民スポーツ大会「青の煌めきあおもり国スポ」の歓迎のあいさつに先立ち、このたびの令和８年熊本地震及び令和８年８月千葉豪雨により亡くなられた方に深く哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に対し、心よりお見舞いを申し上げます。本大会において選手の皆様がひたむきに競技に臨む姿が、多くの方々に感動と希望を届け、被災地の一日も早い復旧・復興への力となりますことを切に願っております。

第８０回国民スポーツ大会「青の煌めきあおもり国スポ」は、昭和５２年の「あすなろ国体」以来、青森県で４９年ぶり２度目の開催となります。国体から国スポへの名称変更後、初の完全国スポとなる大会であり、青森市にて卓球競技をはじめとする１４競技１９種目の正式競技を開催できますことを大変嬉しく思います。また、全国各地からお越しいただく選手や監督、関係者の皆様を、青森市民を代表して心より歓迎いたします。

本市では、スポーツを通じた交流人口の拡大により地域活性化を図る取組を進めており、青森駅周辺の歓迎装飾や各競技会場の応援のぼり旗など、全国から来訪される方々を青森らしい心のこもったおもてなしでお迎えできるよう、市民一丸となって準備してまいりました。

出場される選手の皆様におかれましては、これまで積み重ねてきた努力の成果を存分に発揮し、最高のパフォーマンスを披露されますことを期待しております。

また、大会期間中には、子どもたちがスポーツの楽しさや素晴らしさを体感できる機会づくりを進めることとしており、本大会が多くの方にとって心に残る実り多き大会となることを願っております。

さて、青森市には、静穏な陸奥湾、雄大な八甲田連峰などの豊かな自然のほか、日本を代表する火祭り「青森ねぶた祭」の歴史や魅力を体感できる「ねぶたの家ワ・ラッセ」や、世界遺産にも登録された「三内丸山遺跡」、「小牧野遺跡」など、文化や歴史を感じられる施設が数多くあります。また、全国的にも有名なりんごや新鮮な海の幸など、豊富な食材にも恵まれております。ぜひこの機会に本市の多彩な魅力を堪能していただければ幸いです。

結びに、本大会の開催に当たり御尽力いただいた関係者の皆様に深く感謝申し上げますとともに、選手の皆様の御活躍を心より祈念いたしまして、歓迎のことばといたします。



歓迎のことば

青森県卓球連盟
会長　　河野　満

第８０回国民スポーツ大会「青の煌めきあおもり国スポ」卓球競技の開催にあたり、全国各地から青森県を訪れてくださいました選手、監督、関係者の皆様を、青森県卓球連盟を代表して、心より歓迎申し上げます。

いよいよ、４９年ぶりとなる青森県での国民スポーツ大会が開催されます。

この記念すべき大会に、卓球競技を通じて全国の皆様をお迎えできますことは、私どもにとりまして大きな喜びであり、また大変光栄なことであります。

本年は、スポーツの喜びを改めて感じるとともに、私たちが人と人とのつながりの大切さを強く考えさせられる年となりました。

去る７月２８日には、熊本県を震源とする大きな地震が、また、この夏には、各地で豪雨が発生し、多くの方々が被災されました。

ここに、被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げ、一日も早い復旧・復興を心からお祈り申し上げます。

このような困難な状況の中にあっても、スポーツには、人々に勇気や希望を与え、地域と地域、人と人をつなぐ力があります。

今大会に参加されるすべての皆様には、これまで積み重ねてこられた練習の成果を存分に発揮していただき、素晴らしいプレーを通じて、卓球の持つ力と魅力を全国の皆様に届けていただきたいと思います。

また、ここ青森での出会いや交流が、選手・指導者の皆様にとってかけがえのない思い出となり、今後の競技人生、さらには地域のつながりを育むきっかけとなることを願っております。

青森県には、豊かな自然、美しい四季、そして郷土の食や文化など、多くの魅力があります。

競技だけでなく、ぜひ青森の人情と魅力にも触れていただき、「また青森に来たい」と思っていただければ幸いです。

結びに、本大会の開催にご尽力いただきました関係各位に深く感謝申し上げますとともに、選手の皆様の健闘と、大会の成功を心より祈念いたしまして、歓迎のことばとさせていただきます。



天皇杯　　皇后杯

国民スポーツ大会天皇杯・皇后杯授与規程

第１条　国民スポーツ大会開催基準要項第 11 項に基づき、天皇杯は、男女総合成績第１位の都道府県、皇后杯は、女子総合成績第１位の都道府県に授与する。

２　第１位が２都道府県以上の場合は、当該都道府県で共有する。

第２条　天皇杯及び皇后杯は、総合閉会式に授与し、次回の総合開会式において返還する。

第３条　天皇杯又は皇后杯を授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。

(1)　信託会社又は確実な金庫に保管する。

(2)　破損、紛失等の場合は、当該都道府県の責任とする。

(3)　公益財団法人日本スポーツ協会が優勝都道府県名刻印のため又はその他の必要により一時返還を求めた場合は、これに応じなければならない。

第４条　本規程の改廃は、国民スポーツ大会委員会の決議を経て行う。

附　則　本規程は、昭和 41 年４月　１日制定
昭和 45 年１月 22 日一部改定
昭和 48 年７月 10 日一部改定
昭和 54 年５月　９日一部改定
平成 17 年６月 16 日一部改定
平成 22 年３月 17 日一部改定

本規程は、公益財団法人日本体育協会の設立の登記の日（平成 23 年４月１日）から施行する。
平成 30 年４月　１日一部改定
令和　６年１月　１日一部改定



大会会長トロフィー

国民スポーツ大会会長トロフィー授与規程

第１条　国民スポーツ大会開催基準要項第 11 項に基づき、国民スポーツ大会会長トロフィー(以下「大会会長トロフィー」という。)は、正式競技別男女総合成績第１位の都道府県に授与する。

２　第１位が２都道府県以上の場合は、当該都道府県で共有する。

第２条　大会会長トロフィーは、競技会表彰式に授与し、次回競技会において返還する。

第３条　大会会長トロフィーを授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。

(1)　責任をもって保管する。

(2)　破損、紛失等の場合は当該都道府県の責任とする。

(3)　優勝の刻印を次回大会までに行なうものとする。ただし、第１条第２項の場合は、当該都道府県で協議して決めるものとする。

(4)　公益財団法人日本スポーツ協会が必要により一時返還を求めた場合は、これに応じなければならない。

第４条　本規程の改廃は、国民スポーツ大会委員会の決議を経て行う。

附　則　本規程は、昭和 41 年４月　１日制定
昭和 45 年１月 22 日一部改定
昭和 48 年７月 10 日一部改定
昭和 54 年５月　９日一部改定
平成 17 年６月 16 日一部改定

本規程は、公益財団法人日本体育協会の設立の登記の日（平成 23 年４月１日）から施行する。
平成 30 年４月　１日一部改定
令和　６年１月　１日一部改定

大 会 役 員

2026年7月31日現在
（順不同・敬称略）

名誉会長	松本　洋平			
会長	遠藤　利明			
副会長	益子　直美	田中　不二夫	三宮　恵利子	森岡　裕策
	河合　純一	宮下　宗一郎		
顧問	森　喜朗	安西　孝之	岡崎　助一	越川　均
	坂元　要	勝田　隆	飯塚　悟	池田　めぐみ
	石井　砂織	植田　実	浦　美奈子	笠師　久美子
	鹿島　丈博	木平　芳定	工藤　保子	久保　正美
	小寺　洋	櫻井　由香	中嶋　実	橋本　聖子
	村松　さやか	室伏　由佳	湯川　和之	吉岡　成子
	久保　直生	藤田　裕司	藤原　誠	室城　信之
	金子　日出澄	貝瀬　智洋	森　晃	土橋　登志久
	石丸　元国	多氣　洋平	井﨑　洋志	鬼頭　有紀子
	長谷川　洋子	吉田　長寿	齋木　尚子	多賀　恒雄
	安藤　淳	上治　丈太郎	湧永　寛仁	三宅　秀一郎
	佐藤　健司	馬場　美香	堺　充廣	南　和文
	宮永　美寿津	千田　健一	中里　壮也	岡本　友章
	大野　淳	永谷　喜一郎	田村　恒彦	蒔田　実
	山﨑　勝洋	浅見　敬子	山口　徹正	田中　伸周
	村田　利衛	建部　彰弘	市野　保己	丸石　博
	中村　ゆり子	齋藤　良太郎	谷田部　和彦	木村　博美
	井上　弘	今川　啓一	近藤　重和	池谷　正成
	大澤　明美	古城　資久	小野　賢二	園山　和夫
	中山　俊行	田中　徹	知念　かおる	出口　弘之
	田邊　哲人	城門　政文	前川　恵	園田　義宜
	布村　幸彦	川原　元則	生島　典明	大沢　陽子
	谷藤　節雄	中村　伸彦	千葉　玲佳	奥山　雅信
	酒井　祐一	藤田　知巳	北條　俊明	田子　昌之
	新井　彰	山﨑　成夫	塩見　清仁	田名部　高雄
	井出　仁	今西　博一	中村　宏平	新保　暢
	森山　喜博	横山　幹夫	花崎　武彦	髙橋　繁浩
	山本　健次	増田　和伯	藤堂　寛	山本　誠三
	松本　恭幸	東　直也	奥田　晃	横尾　英治
	小西　慎太郎	近藤　一幸	堂本　ひさ美	河村　祐一

渡邊浩三　田中稔　高岡晃仁　青木章泰
城戸英敏　小柳勝彦　辛木秀子　宮成康蔵
若林繁幸　岩元幸成　平良朝治　藤原正樹
新宮領毅　川上隆弘　佐藤廣子　奈良隆
小菅司　宇津木妙子　菊幸一　小林久美
寺澤正孝　山口純子　中村裕之　小林茂樹
清水真人　福田かおる　増子宏　矢野和彦
柿田恭良　茂里毅　浅野敦行　津島淳
神田潤一　木村次郎　江渡聡徳　田名部匡代
福士珠美　山中泉　工藤慎康　風張知子
横町俊明　西秀記　濱舘豊光　尾﨑寿一
鈴木進　三本木温　有森裕子　鈴木大地
宮本恒靖　深澤祐二　坂田東一　三須和泰
川合俊一　藤田直志　島田慎二　富山英明
馬場益弘　砂岡良治　金丸恭文　安道光二
河田正也　豊田章男　後藤正幸　中村真一
河合満　村井満　真砂威　土田雅人
町田幸男　大野正次　世耕弘成　笹川善弘
納冨中　土居淳　久保素子　丹羽秀樹
津賀一宏　岩城光英　北村聡　荒川裕生
達増拓也　鶴田有司　吉村美栄子　北村清士
大井川和彦　福田富一　遠藤祐司　大野元裕
熊谷俊人　小谷実可子　岡田伸浩　花角英世
新田八朗　山野之義　石田嵩人　髙野剛
阿部守一　田口義隆　中谷多加二　大村秀章
伊藤岳恭　高橋祥二郎　西脇隆俊　髙橋知史
斎藤元彦　福谷健夫　宮﨑泉　林昭男
丸山達也　越宗孝昌　迫谷章　村岡嗣政
後藤田正純　綾田裕次郎　大塚岩男　今城純子
服部誠太郎　宮原耕史　平田研　木村敬
麻生益直　日隈俊郎　塩田康一　玉城デニー

参　与	籾井　圭子	大杉　住子	中村　宇一	廣田　美香
	阿部　祐己	安藤　晴美	伊吹　信一	井本　貴之
	蛯沢　正勝	大崎　光明	大澤　祥宏	大澤　敏彦
	大平　陽子	小笠原　大佑	川村　悟	菊池　勲
	北向　由樹	木明　和人	櫛引　ユキ子	工藤　兼光
	工藤　悠平	後藤　清安	小比類巻　正規	今　博
	斉藤　孝昭	齊藤　爾	鹿内　博	清水　悦郎
	高橋　修一	高畑　紀子	田中　順造	田名部　定男
	田端　深雪	鶴賀谷　貴	寺田　達也	夏坂　修
	夏堀　嘉一郎	夏堀　浩一	成田　陽光	花田　栄介
	福士　直治	丸井　裕	三橋　一三	森内　之保留
	山田　知	山谷　清文	吉田　ゆかり	吉俣　洋
	和田　寛司	奥田　忠雄	大田　圭	平間　恵美
	安田　博	松本　史晴	中野　博之	久慈　美穂
	三浦　猛史	千葉　雄文	後村　文子	細谷　健司
	舩木　久義	豊島　信幸	秋野　桂	上沢　謙一
	工藤　泰正	栗林　豊	新屋　孝文	簗田　潮
	佐藤　剛	安田　貴司	東山　国男	大山　力
	山本　恒太	津田　英一	米内　正明	小山内　修
	堤　静子	橋場　保人	目澤　伸一	山口　龍城
	高杉　勝彦	工藤　裕司	中居　敬子	川浪　泰浩
	宮野　孝晶	田村　琢哉	中川　伸吾	里村　智彦
	佐藤　忠全	倉橋　純造	一戸　善正	櫛引　利貞
	七尾　嘉信	佐藤　健一	岡島　裕史	工藤　智久
	三上　千春	高木　伸也	高杉　金之助	小関　幸一
	外崎　れい子			
委員長	山本　浩			
副委員長	岩田　史昭	石田　裕美	出﨑　和夫	
総務委員	松永　敬子	三宅　宏実	稲垣　公雄	笠野　英弘
	関口　直樹	菅原　哲朗	田﨑　博道	松田　基子
	三ヶ田　礼一	山澤　文裕	福田　一稔	宇野　武
	二宮　智浩	小竹　喜也	田内　慎也	秋田　勝行
	中尾　慶一郎	下條　伸彦	江橋　千晴	宮本　忠
	小澤　大樹	小笠原　忠儀	髙井　和紀	

委　員	平野　了	髙橋　聖一	永井　雅史	神山　康洋
	福士　幸洋	栗原　崇	竹ノ脇　智秋	鈴木　克宜
	葛西　玲広	濱野　勉	寺澤　淳	黒川　重男
	舟喜　信生	福島　亮一	中梶　秀則	堀越　浩
	加藤　憲二	宮川　良輔	鈴木　章広	川口　巖
	山口　俊昭	岡泉　茂	朝倉　康善	木塚　鉄也
	平井　宏治	濱﨑　滿	岸川　剛之	西原　斗司男
	山口　鉄正	菅原　正幸	伊東　毅嗣	長南　哲生
	衛藤　敬輔	上久保　僚	中段　亜由美	鈴木　信吾
	内田　淳二	関根　明子	中山　二三男	﨑村　尚人
	吉田　由美子	杉本　好二	國重　さゆり	髙梨　治紀
	川口　雅三	田邊　賢一	山口　剛	富澤　佑也
	政岡　航大	坊　百花	井澤　貫太	田口　雅紀
	寺垣　佑介	柿﨑　繁信	橋口　真夕	田中　遥太
	町屋　毅博	山本　高史	松橋　伸哉	長谷川　光昭
	白幡　博久	田畑　幸浩	加藤　雄樹	小林　健也
	幸田　和洋	大貫　大輔	小池　則之	今井　隆元
	三浦　理	舟木　雅美	阿部　哲也	片岡　英史
	福居　久志	三武　紀子	長坂　嘉久	井澤　克行
	林　剛史	稲葉　晴伸	森島　哲也	和田　吉史
	中野　真吾	佐々木　智也	木原　哲也	越智　敏文
	小林　悟	中嶋　純也	前田　康博	松本　守正
	松本　綾子	中田　健治	石津　雅之	加藤　泰
	高田　孝行	日野　剛	前田　義朗	笠井　康行
	尾鷲　一成	川端　利行	濱本　昌宏	吉野　賢一郎
	都甲　尚生	山元　尚史	黒田　裕史	髙野　瑞洋
	遠藤　信哉	角屋　憲正	千葉　雅也	菅間　裕晃
	岡崎　正彦	角田　真司	加藤木　紳克	柄澤　宏之
	杉田　聡	塩田　憲司	藤丸　伸和	河野　公紀
	碓井　稔	武田　知己	井上　哲	今後　元彦
	沼田　守弘	田部　長右衛門	松井　守	吉岡　直彦
	髙岡　晃仁	葛目　憲昭	寺崎　雅巳	田島　祥嗣
	荒木　健治	平江　公一	黒木　淳一郎	城間　敏生
	丹羽　浩彰			

競 技 会 役 員

2026年7月31日現在
（順不同・敬称略）

名誉会長	藤重貞慶	西秀記		
会長	河田正也			
名誉副会長	星野一朗			
副会長	加藤憲二	河野満	柿崎泰明	工藤拓実
顧問	栗本キミ代	茂原治	青木章泰	木村興治
	松本秀幸	児玉圭司	河村建夫	関山満
	柴田幸男	平尾信次	前原正浩	八尾正博
	野崎保夫	平公夫	柏山徹郎	髙橋仁
	千田博幸	奥山淳一	斉藤一美	小林博史
	相良健治	茂木暁至	濱野加代子	土屋品子
	鵜澤久朗	小川敏夫	河原智	山田かづき
	本間敏博	今井竜五	田畑裕明	加藤真一
	今村邦昭	下田一十四	後藤泰之	杉本熊野
	大平満	横江政則	初田泰宏	新田耕造
	小林茂樹	依藤典篤	山本祥二	大森広志
	溝岡克司	田中康男	金﨑正久	吉岡宏美
	遠藤美武	井上順吾	伊藤正	村博愛
	高木珠江	中村和好	丸田哲生	具志堅隆
	中村守孝	原田弘人	山下良則	坂井一也
	藤川太郎	旅川正人	奈良岡隆	工藤裕司
参与	宮嶋衛次	川田進	土室完	下田一十四
	藤井敬三	石川公久	遠藤美武	濵田美穂
	塚田博文	宮本佳明	石川一則	髙橋義雄
	勝田隆	山本浩	柴田幸男	田邉陽子
	松下浩二	浅葉克己	村上一司	長坂亘通
	今井良春	白川誠之	山本義徳	森敏之
	井関隆視	平田武	原田宜亮	山本英樹
	佐藤真二	伊澤孝	山本昇治	尼﨑勝己
	西村卓二	竹内敏子	吉川源悟	福士秀文
	吉田富美夫	片山浩一	下山勝	石澤年伸
	秋田晃	窪田守榮	西村祐一	我妻昭
	夏坂政秀	櫻田晴夫	長谷川了信	砂場孝一郎
	木村徳栄	下山浩悦	三浦理	對馬健

	鎌田　窈子	三上　浩	佐々木常広	川島　弘子
	佐藤　裕治	山形　一雄	奥山　實	小檜山吉紀
	白戸　正幸	馬場　重利	成田　正則	寺井　雅克
	三上　勝幸	成田　耕作	佐藤　進	一ノ関　要
	小林　末男	水木　司	坂本　正次	三上　雅也
	赤平　勇人	小豆畑　緑	天内　慎也	蛯名　和子
	大矢　保	小熊ひと美	小倉　尚裕	柿崎　孝治
	軽米智雅子	木戸喜美男	木下　靖	木村　淳司
	工藤　健	工藤　夕介	里村　誠悦	澁谷　洋子
	関　貴光	相馬　純子	竹山　美虎	舘山　善也
	中田　靖人	中村美津緒	奈良　祥孝	長谷川章悦
	花田　明仁	藤田　誠	万徳なお子	村川　みどり
	山田　千里	山本　武朝	渡部　伸広	土岐　志麻
	天内　博康	齋藤　美鈴	松浦　淳	川村　仁
	赤坂　寛	横山　英大	横内　修	舘山　新
	小野　正貴	金谷　浩光	千葉　康伸	齋藤　賢剛
	中村　敦	白戸　高史	大久保綾子	佐藤　秀彦
	横内　信満	工藤　拓実	大久保文人	木村　颯希
	土岐　政温	奈良　英文	今　国弘	佐々木正幸
	泉　宏明	角田　毅	太田　直樹	遠嶋　祥剛
	船橋　正明	舘山　公	髙野　雅子	齊藤　寿一
	佐々木和人	倉橋　純造	一戸　善正	山本　知也
	前田　済	津島　淳	大瀬　良一	諏訪　正徳
	今井　正樹	河野　満	井戸端隆雄	中村　雅彦
	服部　一雄	正部家淳司	高橋　修一	菅原　文子
	中嶋與志久	長尾　信	川浪　泰浩	相馬　克典
	黒丸　健吾	中川　伸吾	今　卓也	花田　惇
	高橋　秀親	佐藤　健一	盛　健一	中村　紀徳
	白鳥　晶司	小形　峰雄	工藤　智久	大西　透信
	北畠　滋郎	福田真奈美	成田　幾末	佐々木重光
	森　隆			
委員長	蓑島　尚信			
副委員長	藤田　曉	田澤　康治	中田真紀子	
委　員	小林　明史	馬場　美香	平岡可奈之	木村　典代
	倉嶋　洋介	下川　寛子	斗澤由香子	平野早矢香
	宗片　信一	八木　由里	稲垣　裕	金澤　恭子
	國井　隆	大山　幸雄	市川　達弘	高森美恵子

今　雅秀	太田　宣幸	神山昌太郎	木村　茂
久慈佐知子	小中　喜貴	小林　広行	今　春雄
今　佳恵	齊藤　秋子	齋藤　幸子	齋藤美香子
差波　維	佐藤かおる	塩入　彬允	其田　卓総
野藤　聡	三上　金蔵	八木澤充	八島　功
山口祐宏	和久　秀樹	渡辺　満	高橋修一
打谷　桂子			

競技役員

（順不同･敬称略）

競技委員長	蓑島　尚信			
競技副委員長	星野　一朗	加藤　憲二	今村　邦昭	河野　満
	藤田　暁			
審判長	中村　喜一郎			
副審判長	徳田　靖	木村　茂	澤田　敦	
審判員	久慈　佐知子	市川　達弘	野藤　聡	玉熊　徳子
	岩﨑　洋児	伊藤　恒	寅谷　文子	山平　直衛
	細川　正博	飯田　芳子	寺沢　一大	川本　孝一
	赤田　貴人	木村　健二	田村　明美	佐々木　るみ
	田中　千鶴子	中村　眞知子	天内　博	山口　正義
	鍋谷　亨	三上　智史	伊藤　由彦	磯谷　昌則
	石田　瑞稀	山崎　都和	泉田　留美	和田　大成
	鈴木　基	斗沢　健児	坂本　芳博	櫻井　以文
	長谷川　耕平	長谷川　美華	宮野　ひろみ	菊池　真奈美
	瓦井　眞理子	千田　雅史	門岡　憲	泉　博
	山口　弘靖	赤坂　和広	黒澤　昌基	
	鹿野　有三	熊谷　武浩	柴野　道博	尾形　魁
	菅井　輝	吉田　愛美	五十嵐　浩彰	佐藤　明美
	冨塚　修子	藤野　知樹	加藤　浩喜	井関　せつ子
	湯澤　智幸			
進行委員長	淡路　浩志			
進行副委員長	吉田　富三夫	野宮　陵		
進行委員	藤田　竹子	栗林　廣子	松金　奈々	古川　礼子
	吉﨑　文子	菊池　はる子	杉山　節子	山村　道子
放送主任	櫻田　浩一			
放送委員	板垣　翔大			
オーダー委員長	大山　幸雄			
オーダー副委員長	船場　勝彦			
オーダー主任	中野　貴寛	加藤　佑也	柴谷　崇之	小田桐　正巳
	川村　隆洋	三上　由希野	澤田　篤史	
オーダー委員	齋藤　幸子	山崎　世里子	鳴海　夏江	野呂　妙子
	福井　昭彦	小林　繁光		
招集委員長	津田　晃平			
招集副委員長	大川　敦			
招集委員	山口　祐宏	浅利　千鶴子	内山　久子	

記録委員長	三上　金蔵			
記録副委員長	太田　清貴			
記録委員	對馬　広志			
記録掲示主任	今　雅秀			
記録掲示委員	酒井　さち子	佐藤　栄子	神　順子	
送受信主任	太田　宣幸			
送受信委員	今　佳恵	佐藤　かおる		
総合成績計算委員長	加藤　憲二			
総合成績計算副委員長	藤田　暁			
総合成績計算委員	三上　金蔵			
広報委員長	今村　邦昭			
広報副委員長	渡辺　満			
広報委員	福士　真理子	佐々木　愛子		
総務委員長	太田　宣幸			
総務副委員長	田部　勝			
総務委員	伊藤　大博	松尾　英治	今　佳恵	佐藤　かおる
庶務委員長	羽賀　俊一			
庶務副委員長	窪田　守榮			
庶務委員	滝本　久美子			
式典委員長	其田　卓総			
式典副委員長	和久　秀樹			
式典委員	七戸　房子			
受付接待委員長	高森　美恵子			
受付接待副委員長	今　百合子			
受付接待委員	太田　久美	五十州　康子	福井　幸子	
会場委員長	蝦名　翔太			
会場副委員長	伊東　智裕			
会場委員	片山　浩一	新井　勝博	石郷岡　八重子	今　悦子
	今　豊			
練習会場委員長	伊東　智裕			
練習会場委員	加藤　広之	嶋津　佑希	宗片　信一	島津　弘美
	前川原　祐介	山形　重信	木村　静蔵	千葉　多恵子
	杉山　純一	矢木澤　充	佐藤　芽里	工藤　祐輔
	佐藤　義定	館山　伊保子	米田　幸吉	鹿内　卓美
競技用具委員長	徳田　靖			
競技用具委員	伊藤　大貴	長利　咲	神林　久子	北谷　希世子
	工藤　瑞生			

競技補助員

青森県立青森高等学校

青森県立青森北高等学校

青森県立青森工業高等学校

青森県立青森商業高等学校

学校法人東奥学園東奥学園高等学校

学校法人明の星学園青森明の星高等学校

学校法人青森山田学園青森山田高等学校

競技会係員

青の煌めきあおもり国スポ・障スポ青森市実施本部職員

競技会補助員

運営ボランティアの皆様

第８０回国民スポーツ大会　本大会実施要項総則

開 催 の 趣 旨

国民スポーツ大会は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの推進と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにしようとする国内最大のスポーツの祭典である。

青森県で開催する第80回国民スポーツ大会「青の煌(きら)めきあおもり国スポ」は、「翔けろ未来へ縄文の風に乗って」をスローガンに掲げ、スポーツによる感動や交流の輪が広がるとともに、本県のあらゆる魅力を発信するなど、県民総参加による青森県らしさあふれる大会を目指して開催する。

実　施　方　針

１　実施競技

⑴　正式競技（37 競技）

陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ローイング、ホッケー、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、クレー射撃、なぎなた、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン

⑵　公開競技（７競技）

綱引、ゲートボール、武術太極拳、パワーリフティング、グラウンド・ゴルフ、バウンドテニス、エアロビック

⑶　デモンストレーションスポーツ（39 競技）

いきいき太極拳、インディアカ、ウオーキング、ウォークビンゴ、エンジョイ！グラウンド・ゴルフ、オリエンテーリング、カーリング、空道、女子ソフトボール、スポーツウエルネス吹矢、スポーツチャンバラ、ソフトバレーボール、ターゲット・バードゴルフ、ダンススポーツ、ドッジボール、年齢別ソフトテニス、年齢別テニス、年齢別バドミントン、ノルディックウォーキング、パークゴルフ、パラグライディング、ビリヤード、ビーチサッカー、ファイン・ボール、フライングディスク、ふれあいゲートボール、ふれあいソフトボール、ふれあいボウリング、フロアボール、ペタンク、マスターズスイミング、マスターズ陸上競技、マラソン、マラソン＆ウォーキング、モルック、ユニカール、ユニバーサルホッケー、ラージボール卓球、Let’s Enjoy バウンドテニス

⑷　特別競技（１競技）

高等学校野球

２　会期及び会場地

⑴　正式競技・特別競技（11 市、11 町、2 村：計 24 市町村）

会　　期	会　場　地
2026年10月10日（土） ～10月20日（火） 〔11日間〕	青森市、弘前市、八戸市、黒石市、五所川原市、十和田市、三沢市、むつ市、つがる市、平川市、西目屋村、藤崎町、七戸町、六戸町、東北町、六ヶ所村、おいらせ町、五戸町、南部町、階上町、山梨県北杜市
2026年９月３日（木） ～９月13日（日） 〔11日間〕	青森市、弘前市、十和田市、三沢市、むつ市、平内町、西目屋村、野辺地町、六ヶ所村、宮城県利府町 ※　水泳、ローイング、ホッケー、バレーボール（ビーチバレーボール）、体操、セーリング、ハンドボール、相撲、ライフル射撃、カヌー（スラローム・ワイルドウォーター）、クレー射撃、ゴルフ、トライアスロン競技会は上記会場地で実施
2026年10月２日（金） ～10月７日（水） 〔６日間〕	青森市、弘前市 ※　アーチェリー、高等学校野球競技会は上記会場地で実施

⑵　公開競技（３市２町：計５市町）

会　　期	会　場　地
2026年８月８日（土） ～10月４日（日）	十和田市、三沢市、平川市、平内町、藤崎町

⑶　デモンストレーションスポーツ（７市、16 町、６村：計 29 市町村）

会　　期	会　場　地
2026年５月10日（日） ～10月４日（日）	青森市、弘前市、八戸市、十和田市、三沢市、むつ市、平川市、今別町、蓬田村、外ヶ浜町、鰺ヶ沢町、深浦町、藤崎町、大鰐町、田舎館村、板柳町、鶴田町、中泊町、横浜町、東北町、おいらせ町、大間町、東通村、風間浦村、佐井村、三戸町、田子町、階上町、新郷村

⑷　文化プログラム

文化プログラムの実施については、「文化プログラム実施基準」に基づき、2026 年１月１日から 2026 年 12 月 31 日までの期間で、原則として、県内市町村で開催する。

３　競技方法

各競技別実施要項に示す方法とし、正式競技は都道府県対抗で実施する。

４　ドーピング検査の実施

大会におけるアンチ・ドーピング活動（ドーピング検査及びアンチ・ドーピング教育活動）は、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構が定める「日本アンチ・ドーピング規程」及び別に定める「国民スポーツ大会アンチ・ドーピング活動に関するガイドライン」に基づき実施する。

なお、治療の目的で禁止物質・禁止方法を用いる必要がある場合は、事前に「治療使用特例」（TUE）の手続きを行うこと。

各都道府県の代表選手は、大会期間中は常に「国民スポーツ大会ドーピング検査同意書」を所持しなければならない。選手が 18 歳未満の場合、本人の署名及び親権者の署名がある同意書を所持すること。

５　参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

選手及び監督の参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準は、次のとおりとする。

なお、参加資格については、「第 80 回国民スポーツ大会参加資格、所属都道府県及び年齢基準等の解釈・説明」を併せて確認すること。

【　公益財団法人日本スポーツ協会ホームページ　https://www.japan-sports.or.jp/　】

⑴　参加資格

ア　日本国籍を有する者であることとするが、選手及び監督のうち、次の者については、日本国籍を有しない者であっても、大会に参加することができる。

(ｱ)　「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち「永住者」(「日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法」に定める「特別永住者」を含む。)

(ｲ)　少年種別年齢域に該当し、次の要件をいずれも満たす者

a　「学校教育法」第１条に規定する学校に在籍する学生又は生徒で、「８　参加申込方法」で定めた本戦参加申込締切時に１年以上在籍していること。

b　「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち、「留学」、「家族滞在」又は「定住者」に該当していること。

(ｳ)　成年種別年齢域に該当し、次の要件をいずれも満たす者

a　少年種別年齢域にあった時点において前号(ｲ)に該当していた者であること。

b　「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち、大会参加時から終了時まで「留学」に該当しないこと。

［注］　上記(ｳ)b について、大学及び専修学校等に在籍する成年種別の年齢域に該当する者は、「出入国管理及び難民認定法」に定める「留学」以外の在留資格を有する場合も「留学」と同等に扱う。

イ　選手及び監督は、所属都道府県の当該競技団体会長（代表者）とスポーツ協会会長（代表者）が代表として認め、選抜した者であること。

ウ　第 78 回又は第 79 回大会（都道府県大会及びブロック大会を含む）において選手又は監督として参加した者は、次の場合を除き、第 78 回又は第 79 回大会と異なる都道府県から参加することはできない。

(ｱ)　成年種別

a　「学校教育法」第１条に規定する学校を卒業した者

b　結婚又は離婚に係る者

［注］　a 及び b は当該要件発生後、初めて参加するものに限る。

c　ふるさと選手制度を活用する者（別記１「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」による。）

［注］　別記３「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。

d　東日本大震災に係る参加資格特例措置を活用する者（別記５「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

e　令和６年能登半島地震に係る参加資格特例措置を活用する者（別記６「令和６年能登

半島地震に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

(ｲ)　少年種別

a　「学校教育法」第１条に規定する学校を卒業した者

b　結婚又は離婚に係る者

c　一家転住に係る者（別記２「『一家転住等』に伴う特例措置」による。）

［注］　aからcは当該要件発生後、初めて参加するものに限る。

d　JOCエリートアカデミーに在籍する者（別記３「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」による。）

e　東日本大震災に係る参加資格特例措置を活用する者（別記５「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

f　令和６年能登半島地震に係る参加資格特別措置を活用する者（別記６「令和６年能登半島地震に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

エ　選手と監督の兼任は、同一種別内に限る。

オ　選手及び監督は、回数を同じくする大会において、冬季大会及び本大会にそれぞれ１競技に限り参加できる。

カ　選手及び監督は、回数を同じくする大会において、異なる都道府県から参加することはできない。

キ　選手、監督並びに本部役員帯同のスポーツドクター及びアスレティックトレーナーは、大会参加前の１年以内に公益財団法人日本スポーツ協会（以下「日本スポーツ協会」という。）が指定するアンチ・ドーピング教育を受講し、「国スポ本戦出場前のアンチ・ドーピング教育履歴」に記載した者であること。

ク　上記のほか、選手については次のとおりとする。

(ｱ)　都道府県大会及びブロック大会に参加し、これを通過した者であること。

(ｲ)　健康診断を受け、競技会への参加に支障がない者であること。

(ｳ)　ドーピング検査対象に選定された場合は、検査を受けなければならない。

ケ　上記のほか、監督については日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく競技別指導者資格を有する者とし、監督が不在の場合選手は参加することができない。各競技における対象資格については当該競技実施要項によるものとする。

⑵　所属都道府県

所属都道府県は、当該競技団体が限定する場合を除き、次のいずれかが属する都道府県から選択することができる。

ア　成年種別

(ｱ)　居住地を示す現住所

(ｲ)　勤務地

(ｳ)　ふるさと（別記１「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」による。）

［注］　別記３「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受けふるさと選手として参加する者を含む。

イ　少年種別

(ｱ)　居住地を示す現住所

(ｲ)　「学校教育法」第１条に規定する学校の所在地（以下「学校所在地」という。）

(ｳ)　勤務地

(ｴ)　別記３「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」に定める小学校の所在地

※　「居住地を示す現住所」、「勤務地」、「学校所在地」のいずれかから参加する場合は、2026年４月30日以前から本大会終了時（2026年10月20日）まで、引き続き当該地に、それぞれ居住、勤務、又は通学していなければならない。ただし、次の者はこの限りではない。

［成年種別］

a　別記４「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

b　別記５「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

c　別記６「令和６年能登半島地震に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

［少年種別］

a　別記２「『一家転住等』に伴う特例措置」の適用を受ける者

b　別記４「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

c　別記５「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

d　別記６「令和６年能登半島地震に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

⑶　選手の年齢基準

ア　選手の年齢基準については、下記を原則とする。

(ｱ)　成年種別に参加する者は、2008年４月１日以前に生まれた者とする。

(ｲ)　少年種別に参加する者は、2008年４月２日から2011年４月１日までに生まれた者とする。

(ｳ)　年齢を区分している種別へ参加する者の年齢計算は、2026年４月１日を基準とする。

イ　日本スポーツ協会が特に認める場合は、上記アにかかわらず、競技ごとに年齢区分を設定することができる。ただし、年齢の下限は中学３年生（2011年４月２日から2012年４月１日までに生まれた者）とする。

⑷　前記の各事項に疑義のあるときは、日本スポーツ協会及び当該競技団体が調査・審議の上、日本スポーツ協会がその可否を決定する

６　各正式競技の総合成績決定方法

各正式競技の総合成績決定方法は次のとおりとする。

⑴　次のア、イの得点を合計したものを男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）とする。

ア　競技得点

競技得点は、各種別、種目などの第１位から第８位までの都道府県に与え、次のとおりとする。ただし、同順位の場合は、次の順位のものを加え、当該都道府県で等分し、割り切れない場合は、小数第３位以下を切り捨てる。

		１位	２位	３位	４位	５位	６位	７位	８位
種別	４人以下	24点	21点	18点	15点	12点	９点	６点	３点
	５人以上７人以下	40点	35点	30点	25点	20点	15点	10点	５点
	８人以上	64点	56点	48点	40点	32点	24点	16点	８点
種目	――――――	８点	７点	６点	５点	４点	３点	２点	１点

［注］　「種別」：種別などに与える競技得点　　「種目」：種目などに与える競技得点

イ　参加得点

参加得点は 10 点とし、大会（ブロック大会を含む。）に参加した都道府県に与える。

ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

⑵　各競技の総合成績は、当該競技団体が決定する。

ただし、天候その他の事情により一部競技が中止になった場合は、当該競技団体と大会総務委員会が協議する。

⑶　参加資格違反等に関わる得点等の取り扱いについては、「国民スポーツ大会における違反に対する処分に関する規程」によるものとする。

7　表彰

⑴　冬季大会及び本大会で実施した全正式競技の男女総合成績第１位の都道府県に天皇杯を、同じく女子総合成績第１位の都道府県に皇后杯をそれぞれ授与する。

⑵　冬季大会及び本大会で実施した全正式競技の男女総合成績及び女子総合成績の第１位から第８位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。

⑶　各正式競技の男女総合成績第１位の都道府県に、国民スポーツ大会会長トロフィーを授与する。

⑷　各正式競技の男女総合成績及び女子総合成績の第１位から第８位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。

⑸　各競技の各種別及び各種目などの第１位から第８位までに賞状を授与する。団体競技の場合は、その都道府県名とチーム全員（監督を含む）の氏名を記載したものを都道府県用に１枚、さらにその都道府県名と個人名を記載したもの、又は都道府県名とチーム全員（監督を含む）の氏名を記載したものをチーム全員に授与する。

⑹　各正式競技及び特別競技の第１位から第３位までの選手にメダルを授与する。

8　参加申込方法

⑴　参加申込

都道府県スポーツ協会会長（代表者）及び競技団体会長（代表者）は、連署の上、都道府県大会又はブロック大会において選抜された者及び公益財団法人日本高等学校野球連盟が選出したチームを、大会会長宛てに申込むものとする。

⑵　参加申込締切

参加申込は、定められた締切日時までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。

なお、各競技別実施要項の「参加申込方法」を併せて確認すること。

⑶　参加申込締切日時

締切日時	競　　技
2026 年 ８月 13 日（木） 午後５時 【15 競技】	水泳、ローイング、ホッケー、バレーボール（ビーチバレーボール）、体操、セーリング、ハンドボール、自転車、相撲、ライフル射撃、カヌー、クレー射撃、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン

2026 年 ９月３日（木） 午後５時 【24 競技】	陸上競技、サッカー、テニス、バレーボール（６人制）、バスケットボール、レスリング、ウエイトリフティング、ソフトテニス、卓球、軟式野球、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、剣道、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、アーチェリー、空手道、銃剣道、なぎなた、高等学校野球

⑷　参加申込様式

参加申込様式は、日本スポーツ協会が実施競技団体と協議の上、作成する。

⑸　公開競技の参加申込

公開競技については、別途当該中央競技団体が定める所定の手続きにより行う。

⑹　選手の交代

参加申込締切後の選手の交代は、特別な事情がない限り認めない。特別な事情で選手を交代する場合は、所定の様式、方法により次のア～ウ宛てに届け出なければならない。

ア　全国を統轄する各中央競技団体事務局

イ　青の煌(きら)めきあおもり国スポ・障スポ実行委員会事務局

ウ　青の煌(きら)めきあおもり国スポ・障スポ各競技会場地市町村実行委員会事務局

なお、日本スポーツ協会に対しては、大会終了後、所定の手続きにより参加申込情報を修正すること。

９　棄権手続

参加申込締切後から競技初戦までの間において、特別な事情で選手が競技会を棄権する場合には、所定の棄権手続きをとらなければならない。

なお、棄権手続きに係る届出については選手交代届と同じ様式を用いること。

10　大会参加負担金

⑴　大会に参加選手団（視察員を除く）を派遣する都道府県スポーツ協会は、大会参加負担金を納入する。一人あたりの大会参加負担金の額は下記のとおりとする。

区　　分	負　担　金
少年の種別に参加する選手	３，０００円
上記以外の者（本部役員、監督、成年の種別に参加する選手等）	６，０００円

［注］　地震、風水害、感染症及びその他主催者の責によらない事由により大会を中止した場合、大会参加負担金の返金は行わない。

⑵　大会参加負担金は、都道府県スポーツ協会で取りまとめ、次のとおり納入する。

ア　納入期限　2026 年９月４日（金）

イ　納 入 先　みずほ銀行　渋谷支店　普通預金口座　513729

公益財団法人日本スポーツ協会

11　宿泊申込

大会参加者は、青の煌(きら)めきあおもり国スポ・障スポ実行委員会が指定した所定の様式により、定められた締切日までに申込む。

12　都道府県選手団本部役員編成

⑴　都道府県選手団本部役員は、次のとおりとする。

ア　参加選手 500 名以上の場合は、団長、総監督及び総務ほか、計 20 名以内とする。

イ　参加選手 300 名以上 500 名未満の場合は、団長、総監督及び総務ほか、計 15 名以内とする。

ウ　参加選手 300 名未満の場合は、団長、総監督及び総務ほか、計 10 名以内とする。

⑵　上記役員のほか、５名以内の顧問を設けることができる。

⑶　上記⑴及び⑵による本部役員総数の範囲内で、スポーツドクターを帯同するものとする。

なお、帯同するスポーツドクターは日本スポーツ協会公認スポーツドクター資格を有する者とする。

⑷　上記⑴及び⑵による本部役員総数の範囲内で、原則としてアスレティックトレーナーを帯同するものとする。

なお、帯同するアスレティックトレーナーは日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー資格を有する者とする。

⑸　都道府県選手団本部役員の１日あたりの編成人数については、上記⑴及び⑵による人数を上限とする。

⑹　都道府県選手団本部役員の参加申込は、2026 年９月３日（木）午後５時までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。

13　視察員

⑴　視察員は、１都道府県３名以内とする。ただし、2027 年以降の国民スポーツ大会の開催が決定又は内定している県については、宮崎県 100 名以内、長野県及び群馬県 60 名以内、島根県及び奈良県 40 名以内とする。

⑵　都道府県の視察員の参加申込は、2026 年９月３日（木）午後５時までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。

14　参加章及び AD カードの交付

参加章及び AD カードは、次の者に交付する。

⑴　参加章

ア　都道府県選手団の本部役員、監督及び選手

イ　大会役員、競技会役員及び競技団体が指定した競技役員

ウ　公開競技及びデモンストレーションスポーツ参加者

⑵　AD カード（Accreditation　Card）

ア　都道府県選手団

イ　大会役員、競技会役員及び競技団体が指定した競技役員

ウ　大会主催者及び競技会主催者が認めた者

エ　公開競技に参加する選手、監督及び役員

15　参加上の注意

⑴　大会期間中は、交付された AD カードを携帯しなければならない。

⑵　各都道府県の代表選手は、競技に際し、「国民スポーツ大会ユニフォーム規程」に基づき、ユニフォームを着用しなければならない。

16　個人情報及び肖像権に関わる取り扱い

日本スポーツ協会、青の煌めきあおもり国スポ・障スポ実行委員会、青の煌めきあおもり国スポ・障スポ各競技会場地市町村実行委員会及び国民スポーツ大会実施競技中央競技団体（以下「国スポ関係機関・団体」という。）は、参加申込等を通じて取得する個人情報及び肖像権の取り扱いに関して以下のとおり対応するものとする。

⑴　個人情報の取り扱い

ア　利用目的

大会参加申込として国民スポーツ大会参加申込システムへ登録された個人情報は、国スポ関係機関・団体において、参加資格の確認や競技組合せなどをはじめとする大会運営業務のために利用し、目的以外に利用しない。

イ　公表の範囲と方法

個人情報のうち、所属都道府県、氏名、性別、年齢、学校名、チーム名等、所属と個人を識別するために必要な情報については、以下の方法等により公表することがある。

(ｱ)　総合プログラム及び競技別プログラムへの掲載

(ｲ)　競技会場内におけるアナウンス等による紹介

(ｳ)　競技会場内外の掲示板等への掲載

(ｴ)　大会関連ホームページへの掲載

(ｵ)　報道機関への提供

ウ　競技結果（記録）等

競技結果（記録）については、上記イで定めた個人情報とともに、以下の方法等により公表することがある。

(ｱ)　青の煌めきあおもり国スポ・障スポ実行委員会が設置する記録本部を通じた公開

(ｲ)　国スポ関係機関・団体及び報道機関等による新聞・雑誌及び関連ホームページ等への掲載

(ｳ)　国スポ関係機関・団体が作成する大会報告書等への掲載

(ｴ)　次回以降の大会プログラムへの掲載【新記録、優勝及び上位入賞結果（記録）等】

⑵　肖像権に関する取り扱い

ア　写真

国スポ関係機関・団体又はこれらに認められた報道機関等によって撮影された写真が、新聞・雑誌・報告書及び関連ホームページ等で公開されることがある。

イ　写真（写真撮影企業等）

国スポ関係機関・団体に認められた写真撮影企業等によって撮影された写真等が販売されることがある。

なお、各競技・会場における販売の有無等の詳細は、当該中央競技団体を中心に対応する。

ウ　映像

国スポ関係機関・団体又はこれらに認められた報道機関等によって撮影された映像が、中継・録画放映及びインターネットによって配信されることがある。また、DVD 等に編集され、販売・配付されることがある。

⑶　対応

ア　承諾の確認

大会参加申込として国民スポーツ大会参加申込システムへ登録された時点で、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

なお、各競技会における取り扱いに伴い、別途、当該中央競技団体等によって個別に承諾

を確認することがある。

イ　役員等

大会役員、競技役員、運営役員、その他各種委員や補助員、国スポ関係機関・団体と大会に関する契約をしている者及び大会運営関係者については、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

17　都道府県大会及びブロック大会

正式競技については、本大会の予選として次のとおり都道府県大会（ブロック大会）を開催しなければならない。

⑴　都道府県の主催団体は、必要に応じて日本スポーツ協会及び中央競技団体等関係団体と協議の上、本要項に基づき実施要項を作成する。

なお、日本スポーツ協会及び中央競技団体は、その内容に不備がある場合、適宜指導を行うものとする。

⑵　都道府県大会の実施にあたり、当該都道府県主催団体は、適正な手続きに則り決定した代表選手の選抜方法・選考基準について、予め関係者に周知徹底を図るものとする。

⑶　参加者は、実施要項に基づき当該主催団体に申込む。

なお、参加は、回数を同じくする大会において、冬季大会及び本大会にそれぞれ１競技に限り参加できる。

⑷　ブロック大会の申込みは、原則として国民スポーツ大会参加申込システムにより行い、様式は日本スポーツ協会及び当該主催団体が協議の上、作成する。

なお、参加申込システムを使用しない場合の様式については、当該主催団体において別途作成する。

⑸　都道府県大会の参加申込様式は、当該主催団体において作成する。

⑹　参加料を徴収する場合の金額は、当該主催団体が中央競技団体と協議の上、定める。

⑺　競技運営に差し支えない限り、青森県選手は当該競技ブロック大会を経ることなく本大会に参加することができる。

18　国民スポーツ大会参加者傷害補償制度

日本スポーツ協会及び都道府県スポーツ協会は、国民スポーツ大会参加者に対する社会的責任体制を整えるとともに、大会参加者の相互扶助の精神に基づいた補償制度として大会参加者による国民スポーツ大会参加者傷害補償制度を運営する。

⑴　本制度の対象となる参加者は、ブロック大会及び本大会に参加する本制度給付規定に定められた選手、監督、選手団本部役員（顧問を含む）、視察員並びにその他選手団役員とする。

⑵　大会参加の都道府県スポーツ協会は、国民スポーツ大会参加者傷害補償制度の対象となる参加者数に応じた制度負担金（一人あたり 1,000 円）を、日本スポーツ協会に納入する。

⑶　納入締切日及び納入先については、別途日本スポーツ協会から都道府県スポーツ協会へ通知する。

19　青の煌（きら）めきあおもり国スポの実施目標

⑴　スポーツによる感動の創出と地域へのスポーツの定着

スポーツを「する」「みる」「ささえる」など多様な場面で、感動が創出されることによ

り、県民の誰もがスポーツに関わる楽しさを感じることができる環境が整備されるとともに、県内各地で地域住民がスポーツに取り組む習慣が身につき、スポーツが地域に定着する大会とする。

⑵　自発的、積極的な県民参加による地域の活性化

県民一人ひとりが、開催準備に自発的、積極的に参加するとともに、スポーツを通した健康づくりなどに一丸となって取り組むことにより、全ての県民が心身ともに健康な状態で大会を迎え、その後も各地域が元気で活力に満ちた姿となる大会とする。

⑶　来県者への熱い心でのおもてなしとあらゆる魅力の発信

大会に参加する選手・監督・役員・応援者など数多くの来県者を熱いおもてなしの心で迎えるとともに、大会期間を通して本県のあらゆる魅力を体感していただくことにより、再び本県を訪問したいという気持ちを喚起する大会とする。

⑷　北国ならではの大会運営

北国ならではの気象条件を考慮し、総合開・閉会式を屋内開催とするとともに、競技特性も考慮の上、会期前競技を多く設定することなどにより選手ファーストを意識した大会とする。

20　その他

⑴　参加申込及び宿泊申込が、定められた締切日までに行われない場合、又は、参加負担金が定められた納入期限までに納入されない場合は、本大会への参加を認めない。

⑵　大会運営にあたり、選手・観客・大会関係者への安全を最優先に配慮し、気象状況・感染状況・交通状況・テロ行為等の各種災害に伴い、安全確保が見込めないと主催者が判断した場合は、主催者の指示に従うものとする。また、安全確保のために、参加申込システムに登録された以外の個人情報を取得する場合がある。取得した情報については、目的以外に利用しない。

⑶　その他の事項については、国民スポーツ大会開催基準要項及び同細則による。

別記１　「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」

１　成年種別年齢域の選手は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第３項〔国民スポーツ大会開催基準要項第８項第１号及び第 10 項第４号（参加資格及び年齢基準等）〕に基づき、下記のいずれかを拠点とした都道府県から参加することができる。

⑴　居住地を示す現住所

⑵　勤務地

⑶　ふるさと

２　「ふるさと」とは、卒業小学校、卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県とする。

ただし、JOC エリートアカデミーに係る選手については、別に定める「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」第３項により取り扱うものとする。

３　我が国の競技力向上を支援する観点より、日本国籍を有する者及び「永住者」については、日本における滞在期間に関わらず、本制度を活用できるものとする。ただし、「日本国籍を有する者及び『永住者』」に該当しない者であっても、当該大会年の 4 月 30 日（冬季大会は前年の 4 月 30 日）以前から本大会終了時（冬季大会は各競技会終了時）まで継続的に日本に滞在している場合は、本制度を活用できるものとする。なお、やむを得ない事情により、一時的に日本を離れる場合は、総日数の半数を超えて日本で滞在していること。

４　「ふるさと選手制度」を活用し参加を希望する選手は、予め所定の方法により「ふるさと」を登録しなければならない。なお、一度登録した「ふるさと」は変更できないものとする。

５　「ふるさと」から参加する選手は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第３項－⑴－1）－③（国内移動選手の制限）に抵触しないものとする。

６　ふるさと選手制度の活用については、原則として、１回につき２年以上連続とし、利用できる回数は２回までとする。

７　参加都道府県は「ふるさと選手」を所定の様式、方法により、当該大会実施要項で定めた参加申込締切期日までに、日本スポーツ協会宛てに提出する。

別記２　「『一家転住等』に伴う特例措置」

転校への特例

１　次の内容をすべて満たすことにより、国内移動選手の制限（国民スポーツ大会開催基準要項細則第３項－⑴－1）－③）に抵触しないものとする。

⑴　この特例の対象は、「少年種別」への参加者に限る。

⑵　本特例を受けることができるのは、一家転住等やむを得ない理由に限ることとする。

なお「一家転住等」とは概ね次のことを言う。

ア　親の転勤による一家の転居

イ　親の結婚、離婚による一家の転居

ウ　上記以外に、やむを得ない理由による一家の転居

⑶　転居した時点に応じて、以下の手続きを終了していること。

ア　本特例を受けようとする参加者は、下記２⑴の場合は転居元、下記２⑵の場合は転居先が属する都道府県スポーツ協会及び都道府県競技団体に対し、その旨報告すること。

イ　報告を受けた都道府県スポーツ協会及び都道府県競技団体は、下記２⑴の場合は転居先、下記２⑵の場合は転居元が属する都道府県スポーツ協会及び都道府県競技団体に対し、その旨報告し了承を得ること。

２　本特例を受ける当該大会において、参加することができる都道府県は以下のとおりとする。

⑴　転居した時点において、以下に該当する場合は転居元が属する都道府県から参加することができる。

ア　転居先が属する都道府県の代表が既に決定している場合

イ　当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表として既に決定している場合

ウ　当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表選考過程にある場合

⑵　転居した時点において、以下に該当する場合は転居先が属する都道府県から参加することができる。

ア　転居元が属する都道府県において、当該大会における都道府県代表の選考が開始されていない場合

別記３　「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」

公益財団法人日本オリンピック委員会が実施する「JOC エリートアカデミー」に係る選手のうち、下記１に該当する者については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第３項〔国民スポーツ大会開催基準要項第８項第１号及び第 10 項第４号（参加資格及び年齢基準等）〕及び別記１「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」に関し、次の２～４の特例を適用する。

１　対象者

⑴　少年種別年齢域の選手で JOC エリートアカデミーに在籍する者

⑵　成年種別年齢域の選手で JOC エリートアカデミーを修了した者、又は同アカデミーに在籍する者

２　少年種別年齢域の選手の所属都道府県

本特例第１項ー⑴に定める少年種別年齢域の選手は、その所属都道府県について、国民スポーツ大会開催基準要項細則第３項ー⑴ー2）- ②に定める「居住地を示す現住所」、「学校教育法第１条に規定する学校の所在地」、「勤務地」のほか、卒業小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

なお、同アカデミーへの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

３　成年種別年齢域の選手の「ふるさと」

本特例第１項ー⑵に定める成年種別年齢域の選手は、「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」第２項に定める卒業小学校、卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県のほか、同アカデミーでの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を「ふるさと」とすることができる。

４　国内移動選手の制限に係る例外適用

本特例第１項ー⑴に定める少年種別年齢域の選手が前回の大会（都道府県大会を含む）と異なる都道府県から参加する場合、国民スポーツ大会開催基準要項細則第３項ー⑴ー1）ー③（国内移動選手の制限）に抵触しないものとする。

［注］　本特例第１項ー⑵に定める成年種別年齢域の選手については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第３項ー⑴ー1）ー③（国内移動選手の制限）の規定に従い取り扱うものとする。

５　その他

中央競技団体が国際競技力向上施策として独自に実施するアカデミー事業については、当該中央競技団体からの申請を踏まえ、当該事業の内容が JOC エリートアカデミーに準拠し実施されていることが、公益財団法人日本オリンピック委員会により確認された場合に限り、国民スポーツ大会委員会の決議を経て当該事業を本特例の対象に加えることができる。

別記４　「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

我が国の競技力向上を支援する観点より、一定の競技力を有する選手に対して、「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置（以下「本特例」という。）」を下記のとおり定める。

１　特例の対象となる選手

本特例の対象となる選手は、下記の条件のいずれかを満たす者とする。

⑴　第 33 回オリンピック競技大会（2024 年・パリ）に参加した者。

⑵　2026 年４月 30 日時点で、下記のいずれかに該当し、各中央競技団体が本特例の対象として認めた者

ア　JOC オリンピック強化指定選手

イ　各競技（種目）における国内ランキング上位 10 位以内の者

ウ　中央競技団体が定めた強化指定選手

※　強化指定ランクについては、各競技における全日本選手権大会入賞レベル以上のカテゴリーを対象とする。

２　特例の内容

⑴　予選会の免除

本特例の対象となる選手については、都道府県予選会及びブロック大会を経ずに国民スポーツ大会本大会に参加することができるものとする。ただし、ブロック大会実施競技種目・種別においては、当該都道府県代表選手又はチームがブロック大会に参加し、本大会参加枠を獲得している場合とする。

⑵　資格要件（日数要件の緩和）

本特例の対象となる選手が所属都道府県として「居住地を示す現住所」又は「勤務地」を選択する場合は、日数に関する要件を定めないこととし、以下のとおりとする。

ア　居住地を示す現住所

次の要件をいずれも満たすものとする。

（ｱ）　2026 年４月 30 日以前から大会終了時（2026 年 10 月 20 日）まで引き続き、住民票記載の住所に存する都道府県において生活している実態があり、当該都道府県以外（海外を含む）において生活している実態がないこと。

なお、生活の実態については、下記要件により判断する。

ａ　自ら所有する住居、又は自らの名義で住居を賃借していること

ｂ　当該住居に生計を一にする家族と共に住んでいること

ｃ　当該住居の水道光熱費など費用を自ら負担していること

ｄ　当該住居に主要な家財道具が存すること

（ｲ）　合宿、試合等により当該都道府県外で活動を行う場合、当該都道府県を移動の起点としていること。

イ　勤務地

次の要件をいずれも満たすものとする。

（ｱ）　2026 年４月 30 日以前から大会終了時（2026 年 10 月 20 日）まで引き続き、雇用主と雇用契約を締結した上で、当該都道府県内に存する雇用主の会社や事業所等に現実に通勤し、勤務していること。

（ｲ）　当該都道府県内で、競技普及活動等の事業に参加すること。

３　国内移動選手の制限

本特例の対象となる選手の国内移動選手の制限については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第３項－⑴－1）－③のとおりとする。

別記５　「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

１　特例の対象となる被災地域都道府県

震災による被害状況及び影響等を総合的に勘案し、青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県の６県を本特例の適用対象となる被災地域都道府県（以下「特例対象県」という。）とする。

なお、特例対象県以外の都道府県において対応が必要となった場合は、個別に取り扱うこととする。

２　特例の内容

⑴　特例対象県を所属都道府県とする場合の要件緩和

以下の選手及び監督については、「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」の各要件を満たしていなくとも、当該特例対象県から参加することができる。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県における「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」の各要件を満たすことができなくなった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

ア　2011 年３月 11 日（震災発生時）時点において、当該特例対象県内に居住又は勤務していた者。若しくは当該特例対象県内の「学校教育法」第１条に規定する学校に在籍していた者であること。

イ　災害が発生しなかったと仮定した場合、2026 年４月 30 日以前から大会終了時（2026 年 10 月 20 日）まで継続して当該特例対象県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」とする要件を満たしていたと合理的に推測される者であること。

⑵　避難等による移動先の都道府県を所属都道府県とする場合の要件緩和

ア　被災地域からの避難等により、当該特例対象県と異なる都道府県に移動した以下の選手及び監督については、移動先の都道府県から参加することができる。

なお、この場合、第 78 回又は第 79 回大会に当該特例対象県から参加していても、国民スポーツ大会開催基準要項細則第３項－⑴－1）－③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県から移動せざるを得なかった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

(ｱ)　2011 年３月 11 日時点において、当該特例対象県内に居住又は勤務していた者。若しくは当該特例対象県内の「学校教育法」第１条に規定する学校に在籍していた者であること。

(ｲ)　移動先の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」とする要件を満たしていること。

なお、移動が生じた時期が 2026 年４月 30 日以降の場合は、移動先の都道府県の予選会開始までに要件を満たしていることとする。

［注］　「居住地を示す現住所」及び「学校所在地」として参加を希望する者については、当該自治体への住所に関する届出又は学籍に係る要件を満たしていなくとも、それに準ずる公的な証明書類を提出でき、かつ移動先の都道府県に居住あるいは通学している実態を有していると日本スポーツ協会が認めた場合、移動先の都道府県から出場す

ることができる。

イ　本項アを適用して避難等による移動先の都道府県から第 79 回大会又は第 80 回大会に参加した者が、第 81 回大会において、以下のような震災にかかる理由により再度都道府県を移動して参加する場合は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第３項－⑴－1）－③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

＜例＞　○　避難先を離れ、当該特例対象県に戻る場合

○　避難先を離れ、他の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」とする場合

○　他の都道府県に避難先を移す場合

⑶　避難等による移動先の属する都道府県において学校を卒業した場合の「ふるさと」選択要件の緩和

避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校又は高等学校を卒業した者が、成年種別年齢域に達した際、「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」を活用して参加する場合、以下のいずれかを「ふるさと」として登録することができる。

ア　卒業小学校、卒業中学校又は卒業高等学校の所在地

イ　災害の発生した時点で在籍していた小学校、中学校又は高等学校の所在地

なお、本特例を適用して上記イの学校所在地を「ふるさと」として登録した場合についても、卒業小学校、卒業中学校又は卒業高等学校の所在地を「ふるさと」とする場合と同様、一度登録した「ふるさと」は変更できない。

【特例の対象者】

2011年度から2012年度（小学校は2015年度）までに、避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校又は高等学校を卒業した者。

別記６　「令和６年能登半島地震に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

１　特例の対象となる被災地域都道府県

震災による被害状況及び影響等を総合的に勘案し、新潟県、富山県、石川県、福井県の４県を本特例の適用対象となる被災地域都道府県（以下「特例対象県」という。）とする。

なお、特例対象県以外の都道府県において対応が必要となった場合は、個別に取り扱うこととする。

２　特例の内容

⑴　特例対象県を所属都道府県とする場合の要件緩和

以下の選手及び監督については、「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」の各要件を満たしていなくとも、当該特例対象県から参加することができる。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県における「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」の各要件を満たすことができなくなった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

ア　2024 年１月１日（震災発生時）時点において、当該特例対象県内に居住又は勤務していた者。若しくは当該特例対象県内の「学校教育法」第１条に規定する学校に在籍していた者であること。

イ　災害が発生しなかったと仮定した場合、2026 年４月 30 日以前から当該大会終了時（2026 年 10 月 20 日）まで継続して当該特例対象県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」とする要件を満たしていたと合理的に推測される者であること。

⑵　避難等による移動先の都道府県を所属都道府県とする場合の要件緩和

ア　被災地域からの避難等により、当該特例対象県と異なる都道府県に移動した以下の選手及び監督については、移動先の都道府県から参加することができる。

なお、この場合、第 78 回大会又は第 79 回大会に、当該特例対象県から参加していても、国民スポーツ大会開催基準要項細則第３項－⑴－1）－③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県から移動せざるを得なかった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

(ｱ)　2024 年１月１日時点において、当該特例対象県内に居住又は勤務していた者。若しくは当該特例対象県内の「学校教育法」第１条に規定する学校に在籍していた者であること。

(ｲ)　移動先の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」とする要件を満たしていること。

なお、移動が生じた時期が 2026 年４月 30 日以降の場合は、移動先の都道府県の予選会開始までに要件を満たしていることとする。

［注］　「居住地を示す現住所」及び「学校所在地」として参加を希望する者については、当該自治体への住所に関する届出又は学籍に係る要件を満たしていなくとも、それに準ずる公的な証明書類を提出でき、かつ移動先の都道府県に居住あるいは通学してい

る実態を有していると日本スポーツ協会が認めた場合、移動先の都道府県から出場することができる。

イ　本項アを適用して避難等による移動先の都道府県から第 79 回大会又は第 80 回大会に参加した者が、第 81 回大会において、以下のような震災に係る理由により再度都道府県を移動して参加する場合は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第３項ー⑴ー1）ー③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

＜例＞　○　避難先を離れ、当該特例対象県に戻る場合

○　避難先を離れ、他の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」とする場合

○　他の都道府県に避難先を移す場合

⑶　避難等による移動先の属する都道府県において学校を卒業した場合の「ふるさと」選択要件の緩和

避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校又は高等学校を卒業した者が、成年種別年齢域に達した際、「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」を活用して参加する場合、以下のいずれかを「ふるさと」として登録することができる。

ア　卒業小学校、卒業中学校又は卒業高等学校の所在地

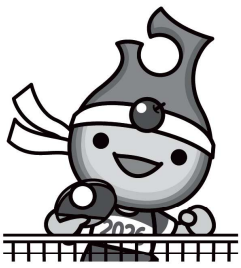
イ　災害の発生した時点で在籍していた小学校、中学校又は高等学校の所在地

なお、本特例を適用して上記イの学校所在地を「ふるさと」として登録した場合についても、卒業小学校、卒業中学校又は卒業高等学校の所在地を「ふるさと」とする場合と同様、一度登録した「ふるさと」は変更できない。

【特例の対象者】

2024年度から2025年度（小学校は2028年度）までに、避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校又は高等学校を卒業した者。

《MEMO》



〔16〕卓球競技

1　期　　日　　2026年10月11日（日）から10月15日（木）まで（５日間）

種　　別	10月11日 （日）	10月12日 （月）	10月13日 （火）	10月14日 （水）	10月15日 （木）
成年男子		１次リーグ	１次リーグ	１次リーグ	準決勝 決　勝
成年女子	１次リーグ	１次リーグ	１次リーグ	１次リーグ 準々決勝	準決勝 決　勝
少年男子	１　回　戦	２　回　戦	３　回　戦	準々決勝	準決勝 決　勝
少年女子	１次リーグ	１次リーグ	１次リーグ	１次リーグ	準決勝 決　勝

2　会　　場　　青森市　　カクヒログループスーパーアリーナ（青森市総合体育館）

3　種別及び参加人員

種　　別	監　　督	選　　手	参加都道府県	小　　計	合　計(人)
成年男子	1	3	16	64	460
成年女子	1	3	32	128	
少年男子	1	3	47	188	
少年女子	1	3	20	80	

※ 成年男子及び成年女子の監督は選手を兼ねることができる。

4　競技上の規程及び方法

⑴　競技規則は、現行の日本卓球ルールによる。

⑵　試合方法

ア　少年男子は、トーナメント方式によって勝敗を決め、成年男子、成年女子及び少年女子は１次リーグ戦及び決勝トーナメントによって勝敗を決める。なお、１次リーグ戦は、成年男子は各４チーム４グループ、成年女子は各４チーム８グループ、少年女子は各５チーム４グループに分け、各グループの１位のチームが決勝トーナメントに進む。

イ　各種別ともに３名の選手からなる、５シングルスで試合を行う。ただし、外国籍の選手はＣ又はＺのみの出場とする。

ＡＢＣチームは、１―Ａ、２―Ｂ、３―Ｃ、４―Ａ、５―Ｂ

ＸＹＺチームは、１―Ｘ、２―Ｙ、３―Ｚ、４―Ｙ、５―Ｘ　とする。

ウ　使用球は、公益財団法人日本卓球協会公認プラスチック球40㎜(白球)とする。

５　予選方法

⑴　都道府県大会

ア　都道府県大会は、公益財団法人日本卓球協会加盟の各都道府県協会・連盟が主管して実施し、期日、実施方法については当該都道府県スポーツ協会と協議して決定する。

イ　都道府県大会は、７月下旬までに終了すること。

⑵　ブロック大会

ア　ブロック大会を実施する種別は、成年男子、成年女子及び少年女子の３種別とする。少年男子は、ブロック大会を行わないで本大会に出場できる。

イ　ブロック大会区分及び都道府県数は下表のとおりとし、当番県を定めて実施する。当番県はブロック大会の結果にプログラムを添えて、実施後速やかに公益財団法人日本卓球協会に連絡する。

ウ　ブロック大会の開催地については、各ブロックに一任する。

⑶　ブロック大会区分及び代表チーム数は、下表のとおりとする。

ブロック名	都　道　府　県　名	成年男子	成年女子	少年女子
北海道	北海道	1	1	1
東　北	岩手、宮城、秋田、山形、福島	2	4	2
関　東	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨	2	5	3
北信越	新潟、長野、富山、石川、福井	2	3	2
東　海	静岡、愛知、三重、岐阜	1	3	2
近　畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	2	4	2
中　国	鳥取、島根、岡山、広島、山口	2	3	2
四　国	香川、徳島、愛媛、高知	1	3	2
九　州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	2	5	3
開催地	青森	1	1	1
計		16	32	20

６　参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

総則５に定めるところによる。

なお、少年種別に参加できる選手は、2011 年４月２日から 2012 年４月１日までの間に生まれた中学３年生を含むものとする。

監督は、公益財団法人日本卓球協会が認定する公認審判員以上の審判員資格を有する者で、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認卓球コーチ２、公認卓球コーチ３、公認卓球コーチ４のいずれかを満たす者とする。

７　総合成績決定方法

男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）は、競技得点と参加得点の合計とし、その得点の多い都道府県順に順位を決定する。ただし、同点の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

⑴　競技得点

天皇杯対象種別	皇后杯対象種別	競　技　得　点
成　年　男　子 成　年　女　子 少　年　男　子 少　年　女　子	成　年　女　子 少　年　女　子	各種別とも１位 24 点、２位 21 点、３位（２チーム）各 16.5 点、５位（４チーム）各 7.5 点の競技得点を与える。

⑵　参加得点

大会（ブロック大会含む）に参加した都道府県に 10 点を与える。ただし、ブロック大会での出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

８　表　　彰

⑴　男女総合成績及び女子総合成績第１位から第８位までの都道府県に、表彰状を授与する。

⑵　男女総合成績第１位の都道府県に、大会会長トロフィーを授与する。

⑶　各種別の第１位から第５位（４チーム）までの都道府県に、賞状を授与する。なお、成年男子及び少年女子の種別については、１次リーグ各グループの２位チームを５位入賞とし、成年女子及び少年男子については、準々決勝で敗退したチームを５位入賞とする。

９　参加申込方法

総則８に定めるもののほか、次による。

⑴　所定の Web ページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセスし、必要項目を入力の上、所属都道府県スポーツ協会を通じて 2026 年９月３日（木）午後５時までに申込手続を完了すること。

⑵　締切期限以降は所定の Web ページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセスできなくなるので、締切期限を厳守すること。

⑶　参加申込選手が、不可抗力以外の理由により無断で本大会の出場を棄権した場合は、その後の本大会出場を停止する。

⑷　参加申込締切後の選手・監督変更は認めない。ただし、疾病、事故等特別な場合には、所定の文書と診断書などによる申出を受け、審査の上決定する。申出は、監督会議終了までとし、選手は参加申込書に記載された予備登録選手、監督は６参加資格に該当する者に限る。

所定の交代（変更）届の送付先は下記宛とし、イ、ウについては原則メールにて提出とする。なお、公益財団法人日本スポーツ協会に対しては、下記への提出後、別途、所定の手続きにより、参加申込み情報を修正すること。

ア　〒160-0013　東京都新宿区霞ヶ丘町４番２号　JAPAN SPORT OLYPIC SQUARE　８階
公益財団法人日本卓球協会
TEL 03-6721-0921　FAX 03-6721-0931
E-mail　jigyou@jtta.or.jp

イ　〒030-8570　青森県青森市長島一丁目１番１号
青の煌めきあおもり国スポ・障スポ実行委員会事務局
（青森県国スポ・障スポ局　競技式典課 競技運営グループ）
TEL 017-734-9771　FAX 017-734-8015
E-mail　aomori2026kyougiunei@pref.aomori.lg.jp

ウ　〒038-8505　青森県青森市柳川二丁目１番１号
青の煌めきあおもり国スポ・障スポ青森市実行委員会事務局
（青森市経済部国スポ・障スポ競技課）
TEL 017-761-4467　FAX 017-761-4489
E-mail　tabletennis2026@city.aomori.aomori.jp

10　その他

⑴　組合せ抽選会

日　時　　2026年９月５日（土）　午後２時
場　所　　JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 日本スポーツ協会内会議室
〒160-0013　東京都新宿区霞ヶ丘町４番２号
TEL 03-6721-0921　FAX 03-6721-0931

⑵　監督会議

日　時　　2026年10月10日（土）　午後３時
場　所　　カクヒログループスーパーアリーナ（青森市総合体育館）
〒030-0842　青森県青森市大字浦町字橋本335番地17
TEL 017-762-7105　FAX 017-762-7106

⑶　表彰式

ア　成年男女・少年男女第５位表彰式

日　時　　2026年10月14日（水）　午後５時
場　所　　カクヒログループスーパーアリーナ（青森市総合体育館）
〒030-0842　青森県青森市大字浦町字橋本335番地17
TEL 017-762-7105　FAX 017-762-7106

イ　成年男女・少年男女表彰式、総合表彰式

日　時　　2026年10月15日（木）　午後３時30分
場　所　　カクヒログループスーパーアリーナ（青森市総合体育館）
〒030-0842　青森県青森市大字浦町字橋本335番地17
TEL 017-762-7105　FAX 017-762-7106

試 合 方 法

1　試合方法

各種別とも３名の選手からなる５シングルス（ＡＢＣ　-　ＸＹＺ方式）で行う。

○各対戦（シングルス）は、11 点先取の５ゲーム制（３ゲーム先取）で行われる。ただし、10 対 10 になったときは、先に２点差を付けた方の勝ちとなる。

○先に３勝したチームの勝ちとなる。

【ＡＢＣ－ＸＹＺ方式】

	１番	２番	３番	４番	５番
ＡＢＣ	A	B	C	A	B
ＸＹＺ	X	Y	Z	Y	X

※　外国籍の選手は、Ｃ又はＺのみの出場とする。

2　各種別の実施方法

⑴　成年男子（16 チーム）…各４チーム４グループの１次リーグ戦ののち、各グループ１位のチームによる決勝トーナメントを行う。

⑵　成年女子（32 チーム）…各４チーム８グループの１次リーグ戦ののち、各グループ１位のチームによる決勝トーナメントを行う。

⑶　少年男子（47 チーム）…全チームによるトーナメント戦を行う。

⑷　少年女子（20 チーム）…各５チーム４グループの１次リーグ戦ののち、各グループ１位のチームによる決勝トーナメントを行う。

※　１次リーグ戦の試合順序は次のとおりとする。

【成年男子】（５チーム×４グループ）

	都道府県名	Ａ県	Ｂ県	Ｃ県	Ｄ県	Ｅ県
a	Ａ県					
b	Ｂ県	⑤				
c	Ｃ県	④	②			
d	Ｄ県	③	④	①		
e	Ｅ県	②	①	③	⑤	

【成年女子】（４チーム×８グループ）

	都道府県名	Ａ県	Ｂ県	Ｃ県	Ｄ県
a	Ａ県				
b	Ｂ県	⑤			
c	Ｃ県	③	①		
d	Ｄ県	①	②	④	

【少年女子】（４チーム×４グループ）

	都道府県名	Ａ県	Ｂ県	Ｃ県	Ｄ県
a	Ａ県				
b	Ｂ県	⑥			
c	Ｃ県	④	②		
d	Ｄ県	③	⑤	①	

総合成績決定方法

男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）は、それぞれ次の表の対象種別の競技得点と参加得点の合計とし、その得点の多い順に、第１位から第８位までの都道府県を決定する。ただし、同点の場合はその順位を共有し、次の順位を欠位とする。

１　競技得点

天皇杯対象種別	皇后杯対象種別	競　技　得　点
成年男子 成年女子 少年男子 少年女子	成年女子 少年女子	各種別 １位・・・・・・・・・・・24 点 ２位・・・・・・・・・・・21 点 ３位（２チーム）・・・・各 16.5 点 ５位（４チーム）・・・・各 7.5 点

２　参加得点

⑴　男女総合成績（天皇杯得点）と女子総合成績（皇后杯得点）のそれぞれで付与する。

⑵　対象となる種別のブロック大会に参加した都道府県に 10 点を与える。ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

競 技 上 の 注 意

審判長　中村　喜一郎

令和８年９月１日一部改定の日本卓球ルールを適用して実施する。
競技者はスポーツマンシップに則り、ルールを遵守し、立派なマナーのもとに正々堂々と競技を行ってください。

最近のルール改定のポイント
- ラケット本体に貼るラバーは、現在 ITTF または JTTA が公認しているものでなければならない。
- 競技者は、それによって競技が遅れさえしなければラリー中を除いていつでもアドバイスを受けることができる。
- 少年の部は従来通りとし、上記アドバイス改定ルールは適用されない。
- ラケットが使用に耐えられない程度に誤って破損した場合には、別のラケットと交換しなければならない。
- ラケット本体を覆っているラバーの表面、あるいは被覆されていない本体の表面は無光沢で、片方は黒、他方は片方の黒やボールの色とはっきり区別できる明るい色とする。

１　ボール、卓球台、ラケット、ラバー等について

〇使用球は、（公財）日本卓球協会公認プラスチック球４０mm（白球）とする。使用球は事前に選球所でチームごとに３球(以内)選んで、選手集合所で主審に渡すこと。選球されていない場合や、選択したボールが破損等で使用できなくなった場合は主審の所持球を使用する。

〇希望するボールメーカーが違う場合、対戦ごとにジャンケンで決定する。試合中に破損等でボールを交換する必要が生じた場合は、同じメーカーのボールと交換する。

〇卓球台はブルー台を使用する。

〇外国製ラケットで JTTA が公認していないものを使用する場合には、あらかじめ試合開始６０分前までに「ラケット使用許可願い」を審判長に提出し許可を受ける。

〇ラバーは、ラケット本体より大きかったり、小さかったりしない。

〇ゲーム中にラケットを誤って破損した場合は、スペアラケットか、プレー領域内で手渡されたものと交換し、すぐプレーをしなければならない。

ラケット検査に関する注意点について
- 本大会ではラケットコントロールセンター（RCC）を設置する。RCC ではラケットの平坦性、ラケット本体を覆うラバーの厚さ、ラバーの各層の厚みの均一性と連続性、有害な揮発性物質の存在等を含む全ての規定を守っているかどうかが検査される。通常、試合前検査となるが、競技者が試合前にラケットを提出しなかった場合や、試合中にラケットを誤って破損して取り替えた場合には、試合終了後に行われる。
- 選手の責任において、揮発性有機溶剤を含んだ接着剤及びラバークリーナーなどを使用してはならない。またラバーの性能に変化・修正を加えず、公認された状態で使用する。
- ラバーの貼替えが必要な場合は、指定された場所で行う。
- 選手は、ラケットの自主検査を受けることができる。
- 試合前検査で不合格となったラケットは使用できない。別のラケットで試合を行うことになるが、もし試合前に時間がある場合にはすぐに検査してもよい。時間がなければ試合後に検査される。
- 試合後検査で不合格だった場合、団体戦では該当選手の試合のみが負けとなる。

２　競技服装について

〇団体戦における競技用服装は、JTTA が公認した同じものを着用する。各チームは同色服装での対戦を避けるため、対戦ごとに色の異なった２種類以上のシャツを用意する。

〇競技用服装に、広告、企業名あるいは学校名のはいったものは認められない。

〇「サポーター、リストバンド、ヘアバンド、スパッツ」を着用する場合、メーカーの商標・ロゴはそれぞれ１ヶ所、（公財）日本卓球協会公認用具指定業者の広告のみが認められる。

〇ゼッケンは所定のものをつける。

３　試合方法について

〇少年男子はトーナメント方式によって勝敗を決め、成年男子、成年女子及び少年女子は１次リーグ戦及び決勝トーナメント方式によって勝敗を決める。

○試合は各種別とも、３名の選手からなる５シングルスで行う。ただし、外国籍の選手は Ｃ または Ｚ のみの出場とする。５ゲームマッチ、３ゲーム先取方法とする。

	１番	２番	３番	４番	５番
（ＡＢＣ）	Ａ	Ｂ	Ｃ	Ａ	Ｂ
（ＸＹＺ）	Ｘ	Ｙ	Ｚ	Ｙ	Ｘ

○ ＡＢＣ、ＸＹＺ の選択は、オーダー交換所でトスにより決定する。

４　アドバイス、タイムアウトについて

○競技者は、それによって競技が遅れさえしなければ、プレー中を除いていつでもアドバイスを受けることができる。アドバイスを与えることを認められた者であっても、違法にアドバイスをした場合、最初はイエローカードで警告、同じ団体戦では、２回目はチーム内の別人であっても、レッドカードで競技領域から遠ざけられる。

○少年の部では、競技者は、ゲームとゲームの間の休憩時間、あるいは認められた競技の中断時間にのみアドバイスを受けることができるが、練習時間終了時とマッチ開始の間はアドバイスを受けることはできない。アドバイスを与えることを認められた者であっても、この他の時間にアドバイスをした場合、最初はイエローカードで警告、同じ団体戦では、２回目はチーム内の別人であってもレッドカードで競技領域から遠ざけられる。

○競技者または監督は、１試合を通じて１分以内の「タイムアウト」を1回要求することができる。

○タイムアウトの要求は、ゲーム中のラリーとラリーの間のみできる。その際、ベンチに用意されたカードを掲げるか、手で「Ｔ」の字を作って主審にその意思を示すものとする。

○タイムアウトの要求に関し、競技者と監督の意見が異なった場合、団体戦は監督の要求が優先される。

５　抗議について

○団体戦では監督のみが抗議できるが、主審または副審等による事実の判定に対しては抗議できない。

６　バッドマナーについて

○観客に不快感を与えるような行為（例えば、テーブル・ネット・フェンス等の器具を乱暴に扱う等）や、相手競技者に対して不当な影響を与える行為（例えば、大声で叫び汚い言葉を使う、相手選手を威嚇する、故意にボールを蹴ったり、競技領域外に打って出したりする行為等）は慎まなければならない。これらのバッドマナーは、警告及びペナルティーポイントの対象となる。

○ラリーでポイントが決定した後は、速やかに次のサービス体勢、あるいはレシーブ体勢をとり、みだりに時間を取ることなく、競技のスピードアップをはかる。直ちに行動に移さない場合や、規定のプレー中断時間が経過した時点で速やかに競技を再開しない場合には「遅延行為」としてバッドマナーの対象となる。

○バッドマナーと判断された場合、最初はイエローカードにより警告がなされるが、２回目以降は種類の異なるバッドマナーであっても、イエロー・レッドカードで相手に得点（１点、更に２点）が与えられる。その後もバッドマナーが続けば失格を含むペナルティーが科せられる。

７　横幕・応援旗について

○競技場内に掲げる横幕は、国体協賛スポンサー及び出場チームの士気を鼓舞することを目的としたもののみ認められる。広告、企業名または学校名が入ったものは認められない。

○旗、のぼり、ボード（板）等の応援用具の使用については、「国民スポーツ大会卓球競技（国スポ）における応援用具の使用について」の申し合わせ事項に定められたとおりとする。

８　その他

○大会期間中ドーピングコントロール検査対象に選定された場合、検査を受けなければならない。

○オーダー交換所、選手集合所、試合コートへの入場は遅れないようにしてください。

○進行の都合により、予定コートあるいは開始時刻を変更する場合があります。放送、掲示などに注意して行動してください。また、進行が遅れた場合は２台で競技を行うことがあります。ご協力をお願いいたします。

○カメラ、ビデオ撮影は、自チームの撮影用として１台が許可される。（「報道」として許可されたものを除く）

○盗難防止のため、持ち物は各自責任を持って管理してください。

〔16〕卓球競技

青森市

競 技 日 程

監督会議　10月10日（土）15時00分	カクヒログループスーパーアリーナ （青森市総合体育館）	サブアリーナ

会場：カクヒログループスーパーアリーナ（青森市総合体育館）

第1日目 10月11日(日)	第2日目 10月12日(月)	第3日目 10月13日(火)	第4日目 10月14日(水)	第5日目 10月15日(木)
少年男子 1回戦 (2試合) 少年女子 1次リーグ (8試合) 9:30～12:00	少年男子 2回戦 (4試合) 少年女子 1次リーグ (8試合) 9:00～11:30	成年女子 1次リーグ (8試合) 少年男子 3回戦 (4試合) 9:00～11:30	成年女子 1次リーグ (8試合) 9:00～11:30	成年男子 準決勝 (2試合) 成年女子 準決勝 (2試合) 少年男子 準決勝 (2試合) 少年女子 準決勝 (2試合) 9:00～11:30
成年女子 1次リーグ (8試合) 少年男子 1回戦 (2試合) 12:15～14:45	成年女子 1次リーグ (8試合) 少年男子 2回戦 (4試合) 11:30～14:00	少年男子 3回戦 (4試合) 少年女子 1次リーグ (8試合) 11:30～14:00	成年男子 1次リーグ (4試合) 少年女子 1次リーグ (8試合) 11:30～14:00	
少年男子 1回戦 (11試合) 14:45～17:15	成年女子 1次リーグ (8試合) 少年男子 2回戦 (4試合) 14:00～16:30	成年男子 1次リーグ (4試合) 成年女子 1次リーグ (8試合) 14:00～16:30	成年男子 1次リーグ (4試合) 成年女子 準々決勝 (4試合)	成年男子 決勝 (1試合) 成年女子 決勝 (1試合) 少年男子 決勝 (1試合)
	成年男子 1次リーグ (8試合) 少年男子 2回戦 (4試合) 16:30～19:00	成年男子 1次リーグ (4試合) 少年女子 1次リーグ (8試合) 16:30～19:00	少年男子 準々決勝 (4試合) 14:00～16:30	少年女子 決勝 (1試合) 12:30～15:00
			成年男女 第5位表彰式 少年男女 第5位表彰式 17:00～17:30	成年男女 表彰式 少年男女 表彰式 総合表彰式 15:30～16:30

第 5 位 表 彰 式	【成年男女】【少年男女】 10月14日（水）17時00分～	カクヒログループスーパーアリーナ （青森市総合体育館）
表 彰 式	【成年男女】【少年男女】 10月15日（木）15時30分～	カクヒログループスーパーアリーナ （青森市総合体育館）
総 合 表 彰 式	10月15日（木）15時30分～	カクヒログループスーパーアリーナ （青森市総合体育館）

卓球競技組合せ表

【 成 年 男 子 】

＜1次リーグ＞

（Ａグループ）

都道府県名		a	b	c	d	勝敗	試合得点	比率	順位
a	青 森 県		121 －	113 －	101 －	―			
b	高 知 県	10/14 14:00		102 －	109 －	―			
c	新 潟 県	10/13 16:30	10/12 16:30		117 －	―			
d	兵 庫 県	10/12 16:30	10/13 14:00	10/14 11:30		―			

（Ｂグループ）

都道府県名		a	b	c	d	勝敗	試合得点	比率	順位
a	佐 賀 県		122 －	114 －	103 －	―			
b	神奈川県	10/14 14:00		104 －	110 －	―			
c	島 根 県	10/13 16:30	10/12 16:30		118 －	―			
d	北 海 道	10/12 16:30	10/13 14:00	10/14 11:30		―			

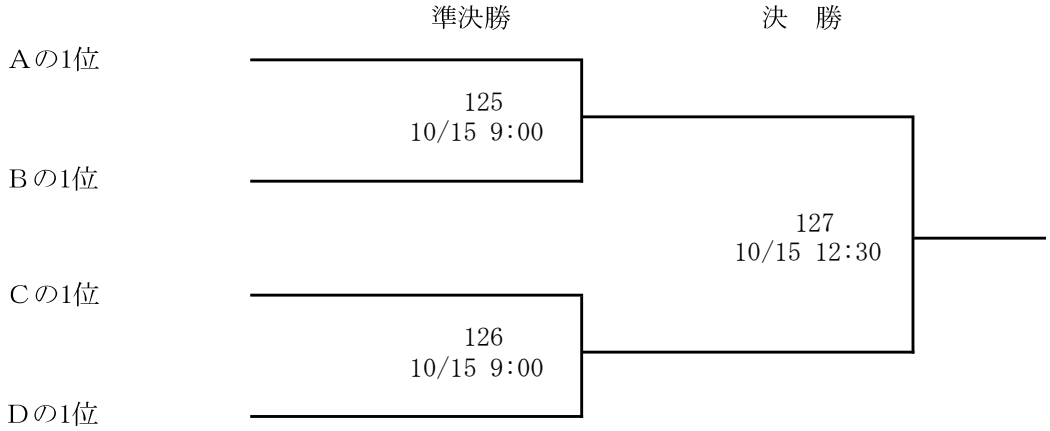
（Ｃグループ）

都道府県名		a	b	c	d	勝敗	試合得点	比率	順位
a	三 重 県		123 －	115 －	105 －	―			
b	東 京 都	10/14 14:00		106 －	111 －	―			
c	宮 崎 県	10/13 16:30	10/12 16:30		119 －	―			
d	山 形 県	10/12 16:30	10/13 14:00	10/14 11:30		―			

（Ｄグループ）

都道府県名		a	b	c	d	勝敗	試合得点	比率	順位
a	和歌山県		124 －	116 －	107 －	―			
b	岩 手 県	10/14 14:00		108 －	112 －	―			
c	山 口 県	10/13 16:30	10/12 16:30		120 －	―			
d	長 野 県	10/12 16:30	10/13 14:00	10/14 11:30		―			

＜決勝トーナメント＞



※　試合の進行状況等により変更となる場合がありますのでご了承ください。

卓球競技組合せ表

【 成 年 女 子 】

＜1次リーグ＞

（Aグループ）

都道府県名		a	b	c	d	勝敗	試合得点	比率	順位
a	神奈川県		241 －	225 －	217 －	―			
b	京 都 府	10/14 9:00		209 －	233 －	―			
c	岐 阜 県	10/13 9:00	10/12 11:30		201 －	―			
d	宮 崎 県	10/12 14:00	10/13 14:00	10/11 12:15		―			

（Bグループ）

都道府県名		a	b	c	d	勝敗	試合得点	比率	順位
a	広 島 県		242 －	226 －	218 －	―			
b	北 海 道	10/14 9:00		210 －	234 －	―			
c	新 潟 県	10/13 9:00	10/12 11:30		202 －	―			
d	秋 田 県	10/12 14:00	10/13 14:00	10/11 12:15		―			

（Cグループ）

都道府県名		a	b	c	d	勝敗	試合得点	比率	順位
a	愛 知 県		243 －	227 －	219 －	―			
b	和歌山県	10/14 9:00		211 －	235 －	―			
c	東 京 都	10/13 9:00	10/12 11:30		203 －	―			
d	鹿児島県	10/12 14:00	10/13 14:00	10/11 12:15		―			

（Dグループ）

都道府県名		a	b	c	d	勝敗	試合得点	比率	順位
a	愛 媛 県		244 －	228 －	220 －	―			
b	宮 城 県	10/14 9:00		212 －	236 －	―			
c	福 井 県	10/13 9:00	10/12 11:30		204 －	―			
d	大 分 県	10/12 14:00	10/13 14:00	10/11 12:15		―			

（Eグループ）

都道府県名		a	b	c	d	勝敗	試合得点	比率	順位
a	香 川 県		245 －	229 －	221 －	―			
b	茨 城 県	10/14 9:00		213 －	237 －	―			
c	山 口 県	10/13 9:00	10/12 11:30		205 －	―			
d	岩 手 県	10/12 14:00	10/13 14:00	10/11 12:15		―			

（Fグループ）

都道府県名		a	b	c	d	勝敗	試合得点	比率	順位
a	青 森 県		246 －	230 －	222 －	―			
b	長 野 県	10/14 9:00		214 －	238 －	―			
c	奈 良 県	10/13 9:00	10/12 11:30		206 －	―			
d	福 岡 県	10/12 14:00	10/13 14:00	10/11 12:15		―			

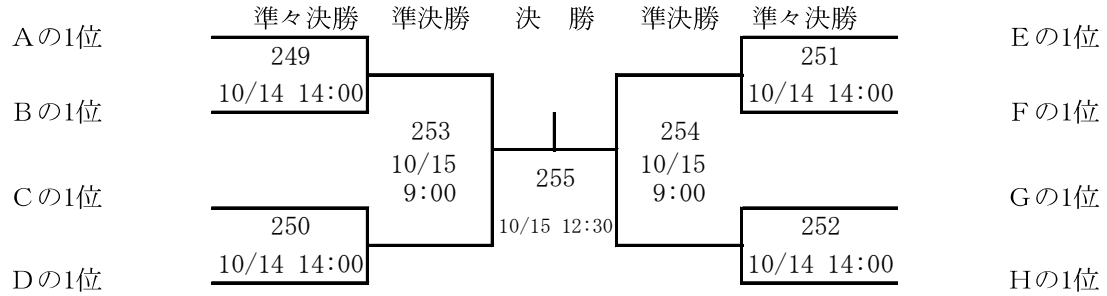
（Gグループ）

都道府県名		a	b	c	d	勝敗	試合得点	比率	順位
a	兵 庫 県		247 －	231 －	223 －	―			
b	熊 本 県	10/14 9:00		215 －	239 －	―			
c	徳 島 県	10/13 9:00	10/12 11:30		207 －	―			
d	千 葉 県	10/12 14:00	10/13 14:00	10/11 12:15		―			

（Hグループ）

都道府県名		a	b	c	d	勝敗	試合得点	比率	順位
a	静 岡 県		248 －	232 －	224 －	―			
b	福 島 県	10/14 9:00		216 －	240 －	―			
c	岡 山 県	10/13 9:00	10/12 11:30		208 －	―			
d	栃 木 県	10/12 14:00	10/13 14:00	10/11 12:15		―			

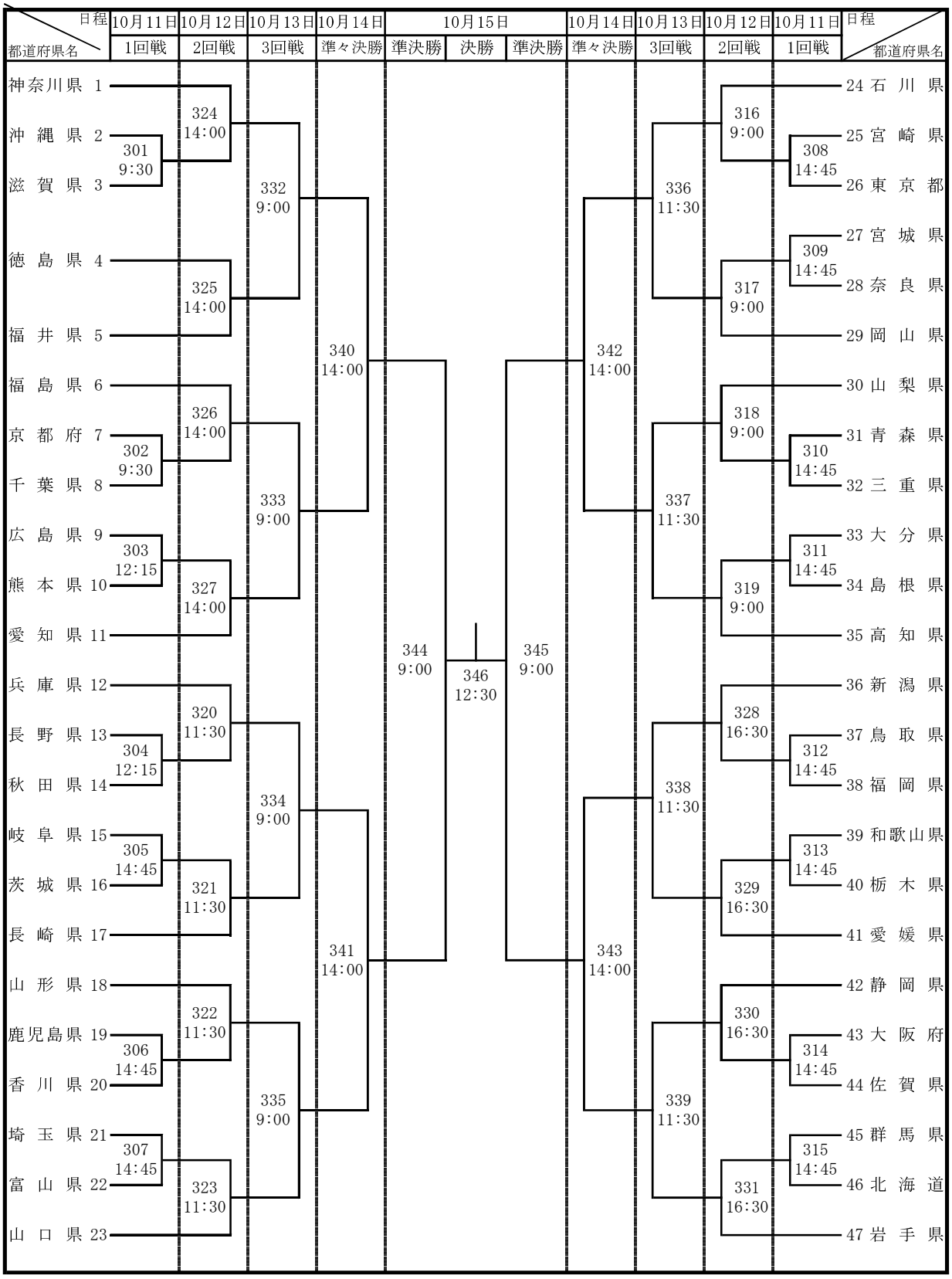
＜決勝トーナメント＞



※ 試合の進行状況等により変更となる場合がありますのでご了承ください。

卓球競技組合せ表

【 少 年 男 子 】



※　試合の進行状況等により変更となる場合がありますのでご了承ください。

卓球競技組合せ表

【 少 年 女 子 】

＜1次リーグ＞

（Ａグループ）

都道府県名		a	b	c	d	e	勝敗	試合得点	比率	順位
a	愛 知 県		433 －	425 －	417 －	409 －	－			
b	石 川 県	10/14 11:30		410 －	426 －	401 －	－			
c	東 京 都	10/13 16:30	10/12 9:00		402 －	418 －	－			
d	青 森 県	10/13 11:30	10/13 16:30	10/11 9:30		434 －	－			
e	兵 庫 県	10/12 9:00	10/11 9:30	10/13 11:30	10/14 11:30		－			

（Ｂグループ）

都道府県名		a	b	c	d	e	勝敗	試合得点	比率	順位
a	北 海 道		435 －	427 －	419 －	411 －	—			
b	福 岡 県	10/14 11:30		412 －	428 －	403 －	—			
c	山 口 県	10/13 16:30	10/12 9:00		404 －	420 －	—			
d	宮 城 県	10/13 11:30	10/13 16:30	10/11 9:30		436 －	—			
e	香 川 県	10/12 9:00	10/11 9:30	10/13 11:30	10/14 11:30		—			

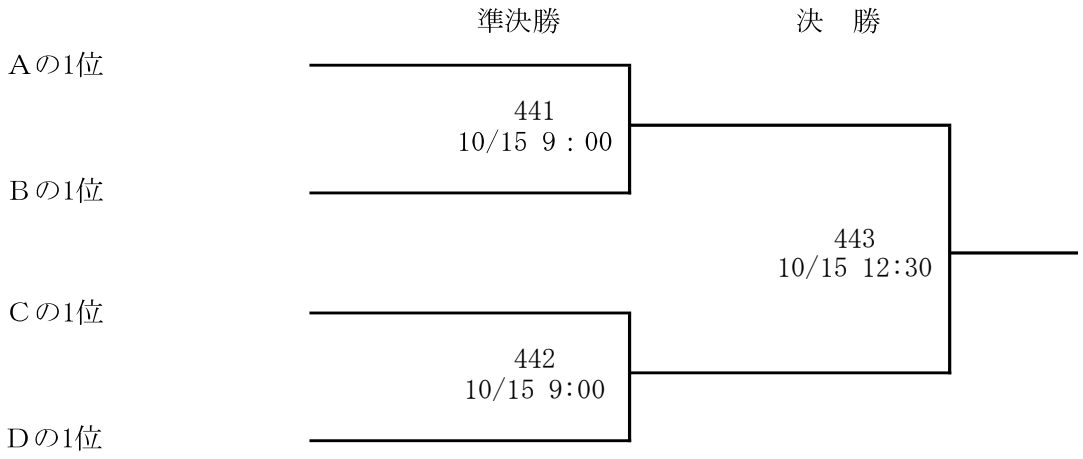
（Ｃグループ）

都道府県名		a	b	c	d	e	勝敗	試合得点	比率	順位
a	岡 山 県		437 －	429 －	421 －	413 －	—			
b	神奈川県	10/14 11:30		414 －	430 －	405 －	—			
c	大 分 県	10/13 16:30	10/12 9:00		406 －	422 －	—			
d	高 知 県	10/13 11:30	10/13 16:30	10/11 9:30		438 －	—			
e	長 野 県	10/12 9:00	10/11 9:30	10/13 11:30	10/14 11:30		—			

（Ｄグループ）

都道府県名		a	b	c	d	e	勝敗	試合得点	比率	順位
a	大 阪 府		439	431	423	415	—			
b	埼 玉 県	10/14 11:30		416	432	407	—			
c	佐 賀 県	10/13 16:30	10/12 9:00		408	424	—			
d	静 岡 県	10/13 11:30	10/13 16:30	10/11 9:30		440	—			
e	福 島 県	10/12 9:00	10/11 9:30	10/13 11:30	10/14 11:30		—			

＜決勝トーナメント＞



※　試合の進行状況等により変更となる場合がありますのでご了承ください。

競技タイムテーブル

＜10月11日（日）＞

第1試合　9:30～12:00

本部席

1コート 301 少年男子　1回戦 沖縄県　－　滋賀県	7コート 404 少年女子　1次リーグ （Bグループ） 山口県　－　宮城県
2コート 302 少年男子　1回戦 京都府　－　千葉県	8コート 予備コート
3コート 401 少年女子　1次リーグ （Aグループ） 石川県　－　兵庫県	9コート 405 少年女子　1次リーグ （Cグループ） 神奈川県　－　長野県
4コート 402 少年女子　1次リーグ （Aグループ） 東京都　－　青森県	10コート 406 少年女子　1次リーグ （Cグループ） 大分県　－　高知県
5コート 予備コート	11コート 407 少年女子　1次リーグ （Dグループ） 埼玉県　－　福島県
6コート 403 少年女子　1次リーグ （Bグループ） 福岡県　－　香川県	12コート 408 少年女子　1次リーグ （Dグループ） 佐賀県　－　静岡県

第2試合　12:15～14:45

本部席

1コート 201 成年女子　1次リーグ （Aグループ） 岐阜県　－　宮崎県	7コート 206 成年女子　1次リーグ （Fグループ） 奈良県　－　福岡県
2コート 202 成年女子　1次リーグ （Bグループ） 新潟県　－　秋田県	8コート 207 成年女子　1次リーグ （Gグループ） 徳島県　－　千葉県
3コート 203 成年女子　1次リーグ （Cグループ） 東京都　－　鹿児島県	9コート 208 成年女子　1次リーグ （Hグループ） 岡山県　－　栃木県
4コート 予備コート	10コート 予備コート
5コート 204 成年女子　1次リーグ （Dグループ） 福井県　－　大分県	11コート 303 少年男子　1回戦 広島県　－　熊本県
6コート 205 成年女子　1次リーグ （Eグループ） 山口県　－　岩手県	12コート 304 少年男子　1回戦 長野県　－　秋田県

第3試合　14:45～17:15

本部席

1コート 305 少年男子　1回戦 岐阜県　－　茨城県	7コート 311 少年男子　1回戦 大分県　－　島根県
2コート 306 少年男子　1回戦 鹿児島県　－　香川県	8コート 312 少年男子　1回戦 鳥取県　－　福岡県
3コート 307 少年男子　1回戦 埼玉県　－　富山県	9コート 313 少年男子　1回戦 和歌山県　－　栃木県
4コート 308 少年男子　1回戦 宮崎県　－　東京都	10コート 予備コート
5コート 309 少年男子　1回戦 宮城県　－　奈良県	11コート 314 少年男子　1回戦 大阪府　－　佐賀県
6コート 310 少年男子　1回戦 青森県　－　三重県	12コート 315 少年男子　1回戦 群馬県　－　北海道

※　試合の進行状況等により変更となる場合があります。

競技タイムテーブル

＜10月12日（月）＞

第1試合　9:00～11:30

本部席

1コート 316 少年男子　2回戦 石川県　－　308の勝者	7コート 411 少年女子　1次リーグ （Bグループ） 北海道　－　香川県
2コート 317 少年男子　2回戦 309の勝者　－　岡山県	8コート 412 少年女子　1次リーグ （Bグループ） 福岡県　－　山口県
3コート 318 少年男子　2回戦 山梨県　－　310の勝者	9コート 413 少年女子　1次リーグ （Cグループ） 岡山県　－　長野県
4コート 319 少年男子　2回戦 311の勝者　－　高知県	10コート 414 少年女子　1次リーグ （Cグループ） 神奈川県　－　大分県
5コート 409 少年女子　1次リーグ （Aグループ） 愛知県　－　兵庫県	11コート 415 少年女子　1次リーグ （Dグループ） 大阪府　－　福島県
6コート 410 少年女子　1次リーグ （Aグループ） 石川県　－　東京都	12コート 416 少年女子　1次リーグ （Dグループ） 埼玉県　－　佐賀県

第2試合　11:30～14:00

本部席

1コート 209 成年女子　1次リーグ （Aグループ） 京都府　－　岐阜県	7コート 215 成年女子　1次リーグ （Gグループ） 熊本県　－　徳島県
2コート 210 成年女子　1次リーグ （Bグループ） 北海道　－　新潟県	8コート 216 成年女子　1次リーグ （Hグループ） 福島県　－　岡山県
3コート 211 成年女子　1次リーグ （Cグループ） 和歌山県　－　東京都	9コート 320 少年男子　2回戦 兵庫県　－　304の勝者
4コート 212 成年女子　1次リーグ （Dグループ） 宮城県　－　福井県	10コート 321 少年男子　2回戦 305の勝者　－　長崎県
5コート 213 成年女子　1次リーグ （Eグループ） 茨城県　－　山口県	11コート 322 少年男子　2回戦 山形県　－　306の勝者
6コート 214 成年女子　1次リーグ （Fグループ） 長野県　－　奈良県	12コート 323 少年男子　2回戦 307の勝者　－　山口県

第3試合　14:00～16:30

本部席

1コート 217 成年女子　1次リーグ （Aグループ） 神奈川県　－　宮崎県	7コート 223 成年女子　1次リーグ （Gグループ） 兵庫県　－　千葉県
2コート 218 成年女子　1次リーグ （Bグループ） 広島県　－　秋田県	8コート 224 成年女子　1次リーグ （Hグループ） 静岡県　－　栃木県
3コート 219 成年女子　1次リーグ （Cグループ） 愛知県　－　鹿児島県	9コート 324 少年男子　2回戦 神奈川県　－　301の勝者
4コート 220 成年女子　1次リーグ （Dグループ） 愛媛県　－　大分県	10コート 325 少年男子　2回戦 徳島県　－　福井県
5コート 221 成年女子　1次リーグ （Eグループ） 香川県　－　岩手県	11コート 326 少年男子　2回戦 福島県　－　302の勝者
6コート 222 成年女子　1次リーグ （Fグループ） 青森県　－　福岡県	12コート 327 少年男子　2回戦 303の勝者　－　愛知県

第4試合　16:30～19:00

本部席

1コート 101 成年男子　1次リーグ （Aグループ） 青森県　－　兵庫県	7コート 107 成年男子　1次リーグ （Dグループ） 和歌山県　－　長野県
2コート 102 成年男子　1次リーグ （Aグループ） 高知県　－　新潟県	8コート 108 成年男子　1次リーグ （Dグループ） 岩手県　－　山口県
3コート 103 成年男子　1次リーグ （Bグループ） 佐賀県　－　北海道	9コート 328 少年男子　2回戦 新潟県　－　312の勝者
4コート 104 成年男子　1次リーグ （Bグループ） 神奈川県　－　島根県	10コート 329 少年男子　2回戦 313の勝者　－　愛媛県
5コート 105 成年男子　1次リーグ （Cグループ） 三重県　－　山形県	11コート 330 少年男子　2回戦 静岡県　－　314の勝者
6コート 106 成年男子　1次リーグ （Cグループ） 東京都　－　宮崎県	12コート 331 少年男子　2回戦 315の勝者　－　岩手県

※　試合の進行状況等により変更となる場合があります。

競技タイムテーブル

＜10月13日（火）＞

第1試合　9:00～11:30

本部席

1コート	225	7コート	231
成年女子　1次リーグ（Aグループ）		成年女子　1次リーグ（Gグループ）	
神奈川県	岐阜県	兵庫県	徳島県
2コート	226	8コート	232
成年女子　1次リーグ（Bグループ）		成年女子　1次リーグ（Hグループ）	
広島県	新潟県	静岡県	岡山県
3コート	227	9コート	332
成年女子　1次リーグ（Cグループ）		少年男子　3回戦	
愛知県	東京都	324の勝者	325の勝者
4コート	228	10コート	333
成年女子　1次リーグ（Dグループ）		少年男子　3回戦	
愛媛県	福井県	326の勝者	327の勝者
5コート	229	11コート	334
成年女子　1次リーグ（Eグループ）		少年男子　3回戦	
香川県	山口県	320の勝者	321の勝者
6コート	230	12コート	335
成年女子　1次リーグ（Fグループ）		少年男子　3回戦	
青森県	奈良県	322の勝者	323の勝者

第2試合　11:30～14:00

本部席

1コート	336	7コート	419
少年男子　3回戦		少年女子　1次リーグ（Bグループ）	
316の勝者	317の勝者	北海道	宮城県
2コート	337	8コート	420
少年男子　3回戦		少年女子　1次リーグ（Bグループ）	
318の勝者	319の勝者	山口県	香川県
3コート	338	9コート	421
少年男子　3回戦		少年女子　1次リーグ（Cグループ）	
328の勝者	329の勝者	岡山県	高知県
4コート	339	10コート	422
少年男子　3回戦		少年女子　1次リーグ（Cグループ）	
330の勝者	331の勝者	大分県	長野県
5コート	417	11コート	423
少年女子　1次リーグ（Aグループ）		少年女子　1次リーグ（Dグループ）	
愛知県	青森県	大阪府	静岡県
6コート	418	12コート	424
少年女子　1次リーグ（Aグループ）		少年女子　1次リーグ（Dグループ）	
東京都	兵庫県	佐賀県	福島県

第3試合　14:00～16:30

本部席

1コート	109	7コート	235
成年男子　1次リーグ（Aグループ）		成年女子　1次リーグ（Cグループ）	
高知県	兵庫県	和歌山県	鹿児島県
2コート	110	8コート	236
成年男子　1次リーグ（Bグループ）		成年女子　1次リーグ（Dグループ）	
神奈川県	北海道	宮城県	大分県
3コート	111	9コート	237
成年男子　1次リーグ（Cグループ）		成年女子　1次リーグ（Eグループ）	
東京都	山形県	茨城県	岩手県
4コート	112	10コート	238
成年男子　1次リーグ（Dグループ）		成年女子　1次リーグ（Fグループ）	
岩手県	長野県	長野県	福岡県
5コート	233	11コート	239
成年女子　1次リーグ（Aグループ）		成年女子　1次リーグ（Gグループ）	
京都府	宮崎県	熊本県	千葉県
6コート	234	12コート	240
成年女子　1次リーグ（Bグループ）		成年女子　1次リーグ（Hグループ）	
北海道	秋田県	福島県	栃木県

第4試合　16:30～19:00

本部席

1コート	113	7コート	427
成年男子　1次リーグ（Aグループ）		少年女子　1次リーグ（Bグループ）	
青森県	新潟県	北海道	山口県
2コート	114	8コート	428
成年男子　1次リーグ（Bグループ）		少年女子　1次リーグ（Bグループ）	
佐賀県	島根県	福岡県	宮城県
3コート	115	9コート	429
成年男子　1次リーグ（Cグループ）		少年女子　1次リーグ（Cグループ）	
三重県	宮崎県	岡山県	大分県
4コート	116	10コート	430
成年男子　1次リーグ（Dグループ）		少年女子　1次リーグ（Cグループ）	
和歌山県	山口県	神奈川県	高知県
5コート	425	11コート	431
少年女子　1次リーグ（Aグループ）		少年女子　1次リーグ（Dグループ）	
愛知県	東京都	大阪府	佐賀県
6コート	426	12コート	432
少年女子　1次リーグ（Aグループ）		少年女子　1次リーグ（Dグループ）	
石川県	青森県	埼玉県	静岡県

※　試合の進行状況等により変更となる場合があります。

競技タイムテーブル

＜10月14日（水）＞

第1試合　9:00～11:30

本部席

1コート　241 成年女子　1次リーグ （Aグループ） 神奈川県　－　京都府	7コート　245 成年女子　1次リーグ （Eグループ） 香川県　－　茨城県
2コート 予備コート	8コート 予備コート
3コート　242 成年女子　1次リーグ （Bグループ） 広島県　－　北海道	9コート　246 成年女子　1次リーグ （Fグループ） 青森県　－　長野県
4コート　243 成年女子　1次リーグ （Cグループ） 愛知県　－　和歌山県	10コート　247 成年女子　1次リーグ （Gグループ） 兵庫県　－　熊本県
5コート 予備コート	11コート 予備コート
6コート　244 成年女子　1次リーグ （Dグループ） 愛媛県　－　宮城県	12コート　248 成年女子　1次リーグ （Hグループ） 静岡県　－　福島県

第2試合　11:30～14:00

本部席

1コート　117 成年男子　1次リーグ （Aグループ） 新潟県　－　兵庫県	7コート　119 成年男子　1次リーグ （Cグループ） 宮崎県　－　山形県
2コート　118 成年男子　1次リーグ （Bグループ） 島根県　－　北海道	8コート　120 成年男子　1次リーグ （Dグループ） 山口県　－　長野県
3コート　433 少年女子　1次リーグ （Aグループ） 愛知県　－　石川県	9コート　437 少年女子　1次リーグ （Cグループ） 岡山県　－　神奈川県
4コート　434 少年女子　1次リーグ （Aグループ） 青森県　－　兵庫県	10コート　438 少年女子　1次リーグ （Cグループ） 高知県　－　長野県
5コート　435 少年女子　1次リーグ （Bグループ） 北海道　－　福岡県	11コート　439 少年女子　1次リーグ （Dグループ） 大阪府　－　埼玉県
6コート　436 少年女子　1次リーグ （Bグループ） 宮城県　－　香川県	12コート　440 少年女子　1次リーグ （Dグループ） 静岡県　－　福島県

第3試合　14:00～16:30

本部席

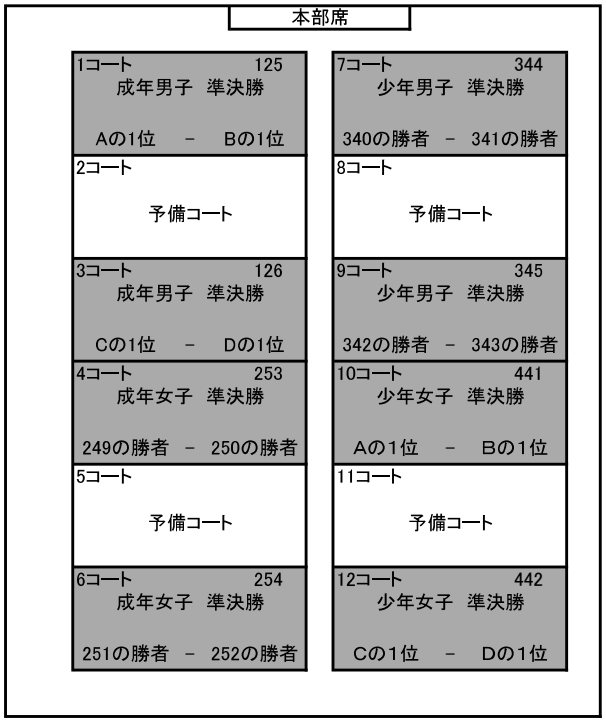
1コート　121 成年男子　1次リーグ （Aグループ） 青森県　－　高知県	7コート　340 少年男子　準々決勝 332の勝者　－　333の勝者
2コート　122 成年男子　1次リーグ （Bグループ） 佐賀県　－　神奈川県	8コート　341 少年男子　準々決勝 334の勝者　－　335の勝者
3コート　123 成年男子　1次リーグ （Cグループ） 三重県　－　東京都	9コート　342 少年男子　準々決勝 336の勝者　－　337の勝者
4コート　124 成年男子　1次リーグ （Dグループ） 和歌山県　－　岩手県	10コート　343 少年男子　準々決勝 338の勝者　－　339の勝者
5コート　249 成年女子　準々決勝 Aの1位　－　Bの1位	11コート　251 成年女子　準々決勝 Eの1位　－　Fの1位
6コート　250 成年女子　準々決勝 Cの1位　－　Dの1位	12コート　252 成年女子　準々決勝 Gの1位　－　Hの1位

※　試合の進行状況等により変更となる場合があります。

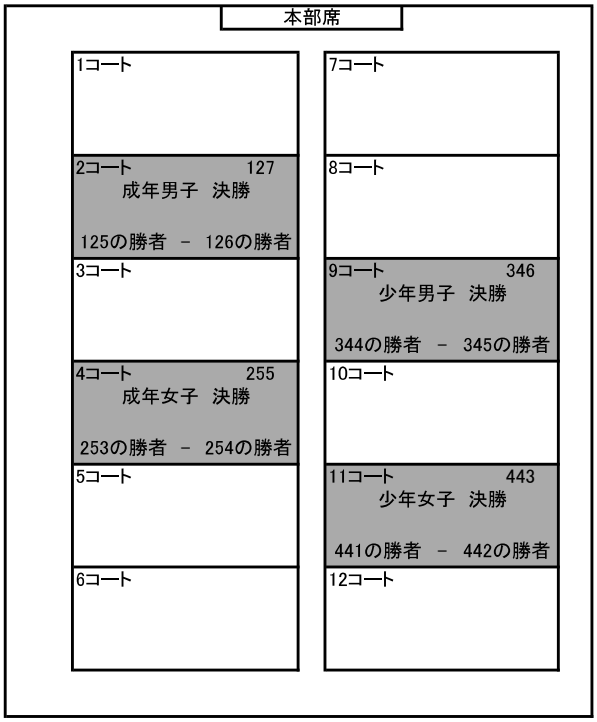
競技タイムテーブル

＜10月15日（木）＞

第1試合　9:00～11:30



第2試合　12:30～15:00



※　試合の進行状況等により変更となる場合があります。

競 技 の 見 方

【卓球競技について】

１．卓球の起源

１８８０年代、イギリスの貴族たちが、ローンテニス（芝のコートで行うテニス）ができない雨の日に、テニスラケットの改良型や葉巻箱のふたなどを使って、ダイニングテーブルでコルクボールを使って楽しんだのが「卓球の原型」と言われている。

１８９０年代になると『ゴシマ』という名前でラケット、ボール、ネットのセットで販売された。ラケットは羊の皮が張られた中空の『バトルドア』ラケットであった。

１９００年、イングランドのジェームズ・ギブという人がアメリカへ渡った時におもちゃのセルロイドボールを見つけ、持ち帰り、ゴムボールや糸巻きのコルクボールの代わりに使われるようになった。そのセルロイドボールが台上で弾んだときに「ピン」、バトルドアで打った時に「ポン」という音がしたために、「ピンポン」と呼ばれるようになった。

２．得点、試合の流れ等

（１）得点について

サービス（１球目）は自分のコートに１回、相手コートに１回バウンドさせれば成功（ボールがネットに触れて相手コートに入ったらやり直し）。

２球目以降、相手が打ったボールが自分のコートに１回バウンドした後、相手コートにバウンドさせるように打ち返せば、返球（リターン）成功。以後、互いに返球を繰り返す。返球に失敗すると相手に１点が入る。

（２）勝敗について

卓球の試合は、１試合（１マッチ）５ゲーム又は７ゲームで行われる（国スポは５ゲーム）。その過半数のゲームを先取した選手が勝ちとなる。１ゲームの勝敗は１１ポイントを先取すると勝ちとなるが、両方の得点が１０対１０になった場合は、２ポイント差をつけた方が勝ちとなる。

（３）試合の進め方

試合前には２分以内の試打を行うことができる。その後、サービスかレシーブかエンド（コート）を選ぶためにコイントス又はジャンケンを行い、勝者が何れかを選択し一方はそれ以外を選択する。

サービスは、２ポイントごとに交替で行う。ただし、両方が１０対１０になった場合は、１ポイント交替となる。

１ゲームごとに両選手はエンドを交替し、試合の勝敗を決定する最終ゲームは、どちらかの選手が５ポイントを先取したときにチェンジエンド（エンドを交代）を行う。

（４）休憩等について

各ゲームの開始から６ポイントごと（＝両選手の点数の合計が６の倍数の時）、および最終ゲームのチェンジエンド時にタオル使用のため短い休憩が認められる。

各ゲーム間には、１分以内の休憩が入る。この時間には、ベンチでアドバイスを受けたり水分補給したりすることができる。

また、各競技者は１試合に１回、１分以内の「タイムアウト」（休憩）をとることができ、ベンチコーチからアドバイスを受けることができる。

３．ルールについて（一部）

（１）サービス

サービスでは、まずラケットを持っていない方の手のひらの上にボールを置いて静止させる。続いて、ボールを回転させることなく、ほぼ垂直に１６㎝以上トスし、ボールが落ちてくる途中で打球する。トス直後から打つ瞬間まで、相手（レシーバー）にボールをはっきり見せる必要がある。体や衣服などでボールを隠してはいけない。

（２）促進ルール

各ゲーム開始後、１０分経ってもそのゲームが終了しない場合、「促進ルール」が適用される（両者スコアの合計が１８以上の時は適用されない）。促進ルールでは１回のラリーでの打球数に制限が設けられ、レシーバー（サービスを受ける選手）が１３回返球すると、自動的にレシーバーのポイントになる。サービスも１本交替に変更となる。

（３）ネットイン、エッジ、フリーハンドの取扱い

打ったボールがネット（またはネットを支える支柱）に触れて、相手コートに入った場合を「ネットイン」と呼ぶ。ネットインした場合は正しいリターン（返球）となり、そのままラリーが続く。ただし、サービスがネットインした場合は、ノーカウントでやり直しになる。

打ったボールが台の角、ふち（エッジ）に当たった場合を「エッジボール」と言い、正しいリターンとなる。ただし、ボールがサイド（側面）に当たった場合は失点となる。

フリーハンド（ラケットを持たない方の手首から先）がラリー中に台上に触れると失点となるが、それ以外の体の一部（肘や胴など）が台上に触れても、台を動かさない限り問題にはならない。ただし、ネットや支柱に体の一部やラケットが触れると失点となる。

成 績 記 録 表

都道府県名	１Ｓ	２Ｓ	３Ｓ	４Ｓ	５Ｓ	勝数

都道府県名	１Ｓ	２Ｓ	３Ｓ	４Ｓ	５Ｓ	勝数

都道府県名	１Ｓ	２Ｓ	３Ｓ	４Ｓ	５Ｓ	勝数

都道府県名	１Ｓ	２Ｓ	３Ｓ	４Ｓ	５Ｓ	勝数

都道府県名	１Ｓ	２Ｓ	３Ｓ	４Ｓ	５Ｓ	勝数

都道府県名	１Ｓ	２Ｓ	３Ｓ	４Ｓ	５Ｓ	勝数

都道府県名	１Ｓ	２Ｓ	３Ｓ	４Ｓ	５Ｓ	勝数

都道府県名	１Ｓ	２Ｓ	３Ｓ	４Ｓ	５Ｓ	勝数

男女総合・女子総合成績一覧表

種別 / 順位 得点 / 都道府県名		成年男子		成年女子		少年男子		少年女子		男女総合（天皇杯）				女子総合（皇后杯）			
		順位	競技得点	順位	競技得点	順位	競技得点	順位	競技得点	合計	競技得点	参加得点	合計	総合順位	競技得点	参加得点	合計	総合順位
1	北海道																	
2	青森県																	
3	岩手県																	
4	宮城県																	
5	秋田県																	
6	山形県																	
7	福島県																	
8	茨城県																	
9	栃木県																	
10	群馬県																	
11	埼玉県																	
12	千葉県																	
13	東京都																	
14	神奈川県																	
15	山梨県																	
16	新潟県																	
17	長野県																	
18	富山県																	
19	石川県																	
20	福井県																	
21	静岡県																	
22	愛知県																	
23	三重県																	
24	岐阜県																	
25	滋賀県																	
26	京都府																	
27	大阪府																	
28	兵庫県																	
29	奈良県																	
30	和歌山県																	
31	鳥取県																	
32	島根県																	
33	岡山県																	
34	広島県																	
35	山口県																	
36	香川県																	
37	徳島県																	
38	愛媛県																	
39	高知県																	
40	福岡県																	
41	佐賀県																	
42	長崎県																	
43	熊本県																	
44	大分県																	
45	宮崎県																	
46	鹿児島県																	
47	沖縄県																	

各種別ブロック代表一覧表

種別 / ブロック	成年男子	成年女子	少年男子	少年女子
北海道	北海道	北海道	北海道	北海道
東北	岩手県 山形県	岩手県 宮城県 秋田県 福島県	岩手県 宮城県 秋田県 山形県 福島県	宮城県 福島県
関東	東京都 神奈川県	茨城県 栃木県 千葉県 東京都 神奈川県	茨城県 栃木県 群馬県 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県 山梨県	埼玉県 東京都 神奈川県
北信越	新潟県 長野県	新潟県 長野県 福井県	新潟県 長野県 富山県 石川県 福井県	長野県 石川県
東海	三重県	静岡県 愛知県 岐阜県	静岡県 愛知県 三重県 岐阜県	静岡県 愛知県
近畿	兵庫県 和歌山県	京都府 兵庫県 奈良県 和歌山県	滋賀県 京都府 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山県	大阪府 兵庫県
中国	島根県 山口県	岡山県 広島県 山口県	鳥取県 島根県 岡山県 広島県 山口県	岡山県 山口県
四国	高知県	香川県 徳島県 愛媛県	香川県 徳島県 愛媛県 高知県	香川県 高知県
九州	佐賀県 宮崎県	福岡県 熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島県	福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島県 沖縄県	福岡県 佐賀県 大分県
開催地	青森県	青森県	青森県	青森県
合計	１６	３２	４７	２０

参加申込人数一覧表

地区	番号	都道府県	成年男子			成年女子			少年男子		少年女子		合計			総計
			監督		選手	監督		選手	監督	選手	監督	選手	監督		選手	
			専任	兼任		専任	兼任		専任		専任		専任	兼任		
北	1	北海道	1	( )	3	1	( )	3	1	3	1	3	4	( )	12	16
東北	2	青森県	1	( )	3	1	( )	3	1	3	1	3	4	( )	12	16
	3	岩手県	1	( )	3	1	( )	3	1	3			3	( )	9	12
	4	宮城県		( )		1	( )	3	1	3	1	3	3	( )	9	12
	5	秋田県		( )		1	( )	3	1	3			2	( )	6	8
	6	山形県	1	( )	3		( )		1	3			2	( )	6	8
	7	福島県		( )		1	( )	3	1	3	1	3	3	( )	9	12
関東	8	茨城県		( )		1	( )	3	1	3			2	( )	6	8
	9	栃木県		( )		1	( )	3	1	3			2	( )	6	8
	10	群馬県		( )			( )		1	3			1	( )	3	4
	11	埼玉県		( )			( )		1	3	1	3	2	( )	6	8
	12	千葉県		( )		1	( )	3	1	3			2	( )	6	8
	13	東京都	1	( )	3	1	( )	3	1	3	1	3	4	( )	12	16
	14	神奈川県	1	( )	3	1	( )	3	1	3	1	3	4	( )	12	16
	15	山梨県		( )			( )		1	3			1	( )	3	4
北信越	16	新潟県	1	( )	3	1	( )	3	1	3			3	( )	9	12
	17	長野県	1	( )	3	1	( )	3	1	3	1	3	4	( )	12	16
	18	富山県		( )			( )		1	3			1	( )	3	4
	19	石川県		( )			( )		1	3	1	3	2	( )	6	8
	20	福井県		( )		1	( )	3	1	3			2	( )	6	8
東海	21	静岡県		( )		1	( )	3	1	3	1	3	3	( )	9	12
	22	愛知県		( )		1	( )	3	1	3	1	3	3	( )	9	12
	23	三重県	1	( )	3		( )		1	3			2	( )	6	8
	24	岐阜県		( )		1	( )	3	1	3			2	( )	6	8
近畿	25	滋賀県		( )			( )		1	3			1	( )	3	4
	26	京都府		( )		1	( )	3	1	3			2	( )	6	8
	27	大阪府		( )			( )		1	3	1	3	2	( )	6	8
	28	兵庫県	1	( )	3	1	( )	3	1	3	1	3	4	( )	12	16
	29	奈良県		( )		1	( )	3	1	3			2	( )	6	8
	30	和歌山県	1	( )	3	1	( )	3	1	3			3	( )	9	12
中国	31	鳥取県		( )			( )		1	3			1	( )	3	4
	32	島根県	1	( )	3		( )		1	3			2	( )	6	8
	33	岡山県		( )		1	( )	3	1	3	1	3	3	( )	9	12
	34	広島県		( )		1	( )	3	1	3			2	( )	6	8
	35	山口県	1	( )	3	1	( )	3	1	3	1	3	4	( )	12	16
四国	36	香川県		( )		1	( )	3	1	3	1	3	3	( )	9	12
	37	徳島県		( )		1	( )	3	1	3			2	( )	6	8
	38	愛媛県		( )		1	( )	3	1	3			2	( )	6	8
	39	高知県	1	( )	3		( )		1	3	1	3	3	( )	9	12
九州	40	福岡県		( )		1	( )	3	1	3	1	3	3	( )	9	12
	41	佐賀県	1	( )	3		( )		1	3	1	3	3	( )	9	12
	42	長崎県		( )			( )		1	3			1	( )	3	4
	43	熊本県		( )		1	( )	3	1	3			2	( )	6	8
	44	大分県		( )		1	( )	3	1	3	1	3	3	( )	9	12
	45	宮崎県	1	( )	3	1	( )	3	1	3			3	( )	9	12
	46	鹿児島県		( )		1	( )	3	1	3			2	( )	6	8
	47	沖縄県		( )			( )		1	3			1	( )	3	4
合計			16	( )	48	32	( )	96	47	141	20	60	115	( )	345	460

参加選手一覧表

成年男子(16チーム)

101 北海道		
監　督	菅　原　雅　幸	札幌市役所
選手 101	吉　田　雅　己	(株) DoREAM
選手 102	門　脇　康　太	北海道旅客鉄道（株）
選手 103	星　　優　真	北海道旅客鉄道（株）
予備登録選手 104		

102 青森県		
監　督	小　中　喜　貴	青森県立弘前実業高等学校（教）
選手 105	神　　巧　也	青森県競技力向上対策本部
選手 106	高木和　　卓	青森県競技力向上対策本部
選手 107	及　川　瑞　基	青森県競技力向上対策本部
予備登録選手 108	山　崎　爽　空	大正大学

103 岩手県		
監　督	野　田　享　平	洋野町役場
選手 109	吉　田　俊　暢	関西卓球アカデミー
選手 110	大　場　隆　也	法政大学
選手 111	渡　邉　　崚	中央大学
予備登録選手 112	多　田　啓　佑	國學院大學

104 山形県		
監　督	遠　藤　佳　祐	山形ヤクルト販売株式会社
選手 113	梅　木　大　智	明治大学
選手 114	高　山　卓　彦	日本体育大学
選手 115	阿　部　鴻　憲	専修大学
予備登録選手 116	水　野　登　偉	日本体育大学

105 東京都		
監　督	工　藤　一　寛	リコー
選手 117	松　平　賢　二	協和キリン
選手 118	三　部　航　平	シチズン時計
選手 119	小野寺　翔　平	リコー
予備登録選手 120	上　村　慶　哉	シチズン時計

106 神奈川県		
監　督	長谷部　　攝	神奈川県卓球協会
選手 121	森　屋　　翼	アマテラス卓球場
選手 122	奥　山　堅　也	信号器材
選手 123	田　添　健　汰	神奈川県卓球協会
予備登録選手 124	杉　本　和　也	リトルキングス

107 新潟県		
監　督	渡　辺　　樹	㈱後藤組
選手 125	中　島　瞳　輝	専修大学
選手 126	龍　崎　東　寅	(株) ケアリッツ・テクノロジーズ
選手 127	山　岸　　駿	専修大学
予備登録選手 128	倉　又　夢　歩	新潟産業大学

108 長野県		
監　督	桑　原　勇　希	岡谷市役所
選手 129	手　塚　崚　馬	岡谷市役所
選手 130	村　松　凜　音	岡谷市役所
選手 131	曽　根　　翔	関西卓球アカデミー
予備登録選手 132	竹　﨑　千　明	岡谷市役所

109 三重県		
監　督	土　肥　良　圭	㈱百五デジタルアソシエイト
選手 133	松　平　健　太	(公財) 三重県スポーツ協会
選手 134	大　島　祐　哉	(公財) 三重県スポーツ協会
選手 135	前　出　陸　杜	中央大学
予備登録選手 136	大　畑　瑛　祐	トヨタ自動車㈱

110 兵庫県		
監　督	谷　口　隆　夫	一般社団法人ロードスカイ
選手 137	坂　根　翔　大	関西卓球アカデミー
選手 138	二井原　有　真	専修大学
選手 139	谷　本　拓　海	中央大学
予備登録選手 140	青　山　貴　洋	中央大学

111 和歌山県		
監　督	田　中　　昌	上宮学園中学校(教)
選手 141	野　田　颯　太	日鉄物流ブレイザーズ
選手 142	髙　見　真　己	日鉄物流ブレイザーズ
選手 143	岡　野　俊　介	日鉄物流ブレイザーズ
予備登録選手 144	山　本　　歩	日鉄物流ブレイザーズ

112 島根県		
監　督	今　林　浩　喜	(株) さんびる
選手 145	小　野　泰　和	中央大学
選手 146	髙　取　侑　史	リコー
選手 147	佐　藤　卓　斗	法政大学
予備登録選手 148	杉　谷　虎太朗	國學院大學

113 山口県		
監　督	阿　部　一　道	萩光塩学院高等学校（教）
選手 149	宮　川　昌　大	協和キリン
選手 150	木　方　圭　介	明治大学
選手 151	三　木　　隼	愛知工業大学
予備登録選手 152	沼　村　斉　弥	ケアリッツ・テクノロジーズ

114 高知県		
監　督	田　中　敬　大	南国卓球ごめん
選手 153	渡　辺　裕　介	協和キリン
選手 154	濵　田　一　輝	協和キリン
選手 155	齋　藤　俊太朗	明治大学
予備登録選手 156	濵　田　尚　人	早稲田大学

115 佐賀県		
監　督	原　　隆　史	北陵高等学校(教)
選手 157	有　延　大　夢	Team　SAGA　SSP
選手 158	田　中　佑　汰	Team　SAGA　SSP
選手 159	田　添　　響	Team　SAGA　SSP
予備登録選手 160	峯　　唯　人	國學院大學

116 宮崎県		
監　督	内　村　秀　平	都城市社会福祉協議会
選手 161	吉　村　和　弘	公益財団法人宮崎県スポーツ協会
選手 162	木　造　勇　人	公益財団法人宮崎県スポーツ協会
選手 163	横　谷　　晟	公益財団法人宮崎県スポーツ協会
予備登録選手 164	黒　木　大　誠	朝日大学

参加選手一覧表

成年女子(32チーム)

201 北海道		
監　督	佐　藤　　裕	札幌大谷高等学校（職）
選手 201	高　山　結女子	(株) ドウデン
選手 202	伊　藤　ゆづき	(株) ドウデン
選手 203	北　川　加　純	(株) ドウデン
予備登録選手 204		

202 青森県		
監　督	神　山　昌太郎	神山ＴＴＣ
選手 205	工　藤　　夢	レゾナック
選手 206	船　場　清　華	十六フィナンシャルグループ
選手 207	竹　内　　伶	中央大学
予備登録選手 208	附　田　美瑠姫	中央大学

203 岩手県		
監　督	小田桐　憲　仁	富士大学（職）
選手 209	小　林　りんご	青山学院大学
選手 210	照　井　莉　胡	日本大学
選手 211	高　橋　心　愛	富士大学
予備登録選手 212	佐　藤　詩　華	岩手大学

204 宮崎県		
監　督	狭　間　のぞみ	仙台卓球センター
選手 213	佐　藤　清　乃	神戸松蔭大学
選手 214	赤　川　瑞　姫	日本大学
選手 215	佐　藤　美佐希	札幌大学
予備登録選手 216	三　上　莉　央	東北学院大学

205 秋田県		
監　督	戸　堀　敏　孝	秋田市役所
選手 217	岩　瀬　奈津美	白帝
選手 218	杉　山　晴　菜	株式会社　北海道ジェイ・アール・システム開発
選手 219	佐　藤　有　紗	近畿大学
予備登録選手 220	嶋　津　　葵	県南卓球道場

206 福島県		
監　督	橋　本　彰　夫	いわき市立大浦小学校（職）
選手 221	髙　橋　美　悠	國學院大學
選手 222	西　牧　優　衣	金城大学
選手 223	原　田　優　衣	東洋大学
予備登録選手 224	深　谷　菜々美	日本大学

207 茨城県		
監　督	中　川　　清	茨城県立下館第二高等学校（教）
選手 225	出　澤　杏　佳	レゾナック
選手 226	萩　原　怜　奈	筑波大学
選手 227	矢　島　采　愛	レゾナック
予備登録選手 228	井之村　洸　蕗	筑波大学

208 栃木県		
監　督	香　取　宏　禎	(株) 栃木銀行
選手 229	上　澤　依　央	東洋大学
選手 230	香　取　位　圭	豊田自動織機
選手 231	原　　芽　衣	(株) レゾナック
予備登録選手 232	佐久間　芽　生	慶應義塾大学

209 千葉県		
監　督	真　田　信　弘	東葉高等学校（教）
選手 233	中　山　恭　花	松戸市役所
選手 234	堀　江　こぺり	早稲田大学
選手 235	笠　田　朋　花	日本大学
予備登録選手 236	佐々木　美　優	広島日野自動車株式会社

210 東京都		
監　督	谷　岡　あゆか	Tortoise
選手 237	白　山　亜　美	サンリツ
選手 238	牛　嶋　星　羅	サンリツ
選手 239	三　村　優　果	サンリツ
予備登録選手 240	桧　山　夏　望	東洋大学

211 神奈川県		
監　督	岸　　昌　宏	横浜隼人高校（教）
選手 241	笹　尾　明日香	日本生命保険相互会社
選手 242	小　畑　美　月	株式会社デンソー
選手 243	岩　木　仁　香	日本体育大学
予備登録選手 244	島　村　果　怜	専修大学

212 新潟県		
監　督	渡　辺　理　江	渡辺卓球教室
選手 245	佐　藤　野々華	國學院大學
選手 246	山　岸　唯　菜	専修大学
選手 247	小　野　蒼　彩	早稲田大学
予備登録選手 248	長　部　心　奈	新潟大学

213 長野県		
監　督	湯　本　　晃	長野俊英高等学校（教）
選手 249	上　澤　杏　音	日本生命
選手 250	増　田　　華	國學院大學
選手 251	塚　田　桜　姫	立命館大学
予備登録選手 252	井ノ口　侑　果	新潟大学

214 福井県		
監　督	河　原　辰　徳	福井県庁
選手 253	川　畑　明日香	(株)トプコン
選手 254	坂　下　心　優	金城大学
選手 255	清　水　愛　未	立命館大学
予備登録選手 256	中　野　理咲子	新潟大学

215 静岡県		
監　督	河　村　茉　依	デンソー
選手 257	菅　澤　柚花里	デンソー
選手 258	吉　本　は　な	デンソー
選手 259	中　田　玲　奈	デンソー
予備登録選手 260	森　田　清　香	朝日大学

216 愛知県		
監　督	鬼　頭　　明	愛知工業大学（職）
選手 261	藤　田　知　子	愛知工業大学
選手 262	伊　藤　詩　菜	愛知工業大学
選手 263	冨　田　純　菜	愛知工業大学
予備登録選手 264	今　枝　愛　美	愛知工業大学

217 岐阜県		
監　督	河　田　靖　司	十六フィナンシャルグループ
選手 265	田　村　美　佳	十六フィナンシャルグループ
選手 266	山　室　早　矢	十六フィナンシャルグループ
選手 267	鶴　岡　菜　月	十六フィナンシャルグループ
予備登録選手 268	尾　関　春　奈	朝日大学

218 京都府		
監　督	久　保　　陽	京都府卓球協会
選手 269	福　井　蓮　彩	専修大学
選手 270	古　賀　咲　音	立命館大学
選手 271	大　岡　紗由利	近畿大学
予備登録選手 272	真　田　夕　愛	立命館大学

219 兵庫県		
監　督	西　村　敏　明	神戸市立葺合高等学校（教）
選手 273	司　　千　莉	早稲田大学
選手 274	山　本　真　愛	神戸松蔭大学
選手 275	宮　本　早　紀	神戸松蔭大学
予備登録選手 276	杉　田　くるみ	神戸松蔭大学

220 奈良県		
監　督	千　歳　章　倫	天理クラブ
選手 277	今　井　汐珠玖	クローバー歯科フェアリーズ
選手 278	花　井　可　奈	クローバー歯科フェアリーズ
選手 279	和　田　奈都姫	京都産業大学
予備登録選手 280	田　中　愛　望	天理大学

221 和歌山県		
監　督	梅　垣　真　理	オークワ
選手 281	中　谷　理　菜	立命館大学
選手 282	坂　﨑　涼　帆	オークワ
選手 283	秋　吉　　翼	オークワ
予備登録選手 284	森　　優　菜	千里金蘭大学

222 岡山県		
監　督	上　原　明　恵	ユース・リゲイン
選手 285	西　川　　結	日本体育大学
選手 286	岡　田　実　弓	立命館大学
選手 287	髙　橋　奈　未	日本体育大学
予備登録選手 288	松　﨑　若　葉	広島日野自動車㈱

223 広島県		
監　督	伊　藤　春　美	中国電力ライシス
選手 289	枝　廣　　瞳	中国電力ライシス
選手 290	中　森　帆　南	中国電力ライシス
選手 291	枝　廣　　愛	中国電力ライシス
予備登録選手 292	由　本　楓　羽	中国電力ライシス

224 山口県		
監　督	小　林　明　史	山口県立柳井商工高等学校（教）
選手 293	浅　田　真　奈	十六フィナンシャルグループ
選手 294	吉　田　一　葉	立命館大学
選手 295	竹　内　愛　結	順天堂大学
予備登録選手 296	松　山　　凜	朝日大学

225 香川県		
監　督	筒　井　惇　仁	百十四銀行
選手 297	松　澤　帆乃果	百十四銀行
選手 298	岡　崎　日　和	百十四銀行
選手 299	大　西　友　佳	百十四銀行
予備登録選手 300	福　岡　佑　菜	百十四銀行

226 徳島県		
監　督	大　栗　　寛	幸町卓球倶楽部
選手 301	丸　添　美　咲	関西学院大学
選手 302	大　川　真　実	レゾナック
選手 303	森　影　夏　都	（株）徳島大正銀行
予備登録選手 304	豊　永　祐里奈	（株）徳島大正銀行

227 愛媛県		
監　督	大　竹　克　利	愛媛銀行
選手 305	木　塚　陽　菜	愛媛銀行
選手 306	山　本　愛　織	愛媛銀行
選手 307	岸　本　芽　美	愛媛銀行
予備登録選手 308	泉　田　朱　音	愛媛銀行

228 福岡県		
監　督	三　室　義　隆	三友スポーツ
選手 309	岩　越　帆　香	株式会社エクセディ
選手 310	首　藤　成　美	専修大学
選手 311	三　輪　咲里南	広島日野自動車株式会社
予備登録選手 312	伊　藤　百　華	株式会社エクセディ

229 熊本県		
監　督	高　木　雅　史	テーブルテニスプロショップTAKAGI
選手 313	吉　松　寿　莉	中央大学
選手 314	坂　﨑　愛　華	愛知工業大学
選手 315	中　野　　瞳	熊本学園大学
予備登録選手 316	佐　原　くるみ	熊本学園大学

230 大分県		
監　督	中　村　和　弘	畳和卓球クラブ
選手 317	奥　下　茜　里	宇土クラブ
選手 318	髙　橋　　花	広島日野自動車（株）
選手 319	星　野　優　花	株式会社トプコン
予備登録選手 320	香　月　実　夢	中京学院大学

231 宮崎県			232 鹿児島県		
監　督	宮　田　　梢	KATSUOKA	監　督	鹿　屋　圭　太	鹿児島相互信用金庫
選手 321	木　村　香　純	公益財団法人宮崎県スポーツ協会	選手 325	榎　谷　優　香	鹿児島相互信用金庫
選手 322	小　塩　遥　菜	公益財団法人宮崎県スポーツ協会	選手 326	高　田　菜々美	鹿児島相互信用金庫
選手 323	栗　山　優　菜	公益財団法人宮崎県スポーツ協会	選手 327	田　中　咲　子	鹿児島相互信用金庫
予備登録選手 324	宮　國　悠　乃	朝日大学	予備登録選手 328	出　水　心　美	志學館大学

参加選手一覧表

少年男子(47チーム)

301 北海道		
監　督	井　上　大　介	北海道科学大学高等学校（教）
選手 401	長　嶋　奏　音	北海道科学大学高等学校
選手 402	小　林　彪　雅	駒澤大学附属苫小牧高等学校
選手 403	松　浪　啓　太	函館大谷高等学校
予備登録選手 404		

302 青森県		
監　督	塩　入　彬　允	八戸工業大学(教)
選手 405	中　村　史　門	青森県立八戸工業高等学校
選手 406	小　林　流　碧	青森県立弘前実業高等学校
選手 407	工　藤　大　誠	青森県立弘前実業高等学校
予備登録選手 408	吉　井　胡太朗	東奥学園高等学校

303 岩手県		
監　督	野　田　春　輔	専修大学北上高等学校（教）
選手 409	髙　橋　久　遠	専修大学北上高等学校
選手 410	伊　藤　　迅	専修大学北上高等学校
選手 411	木　村　眞　大	専修大学北上高等学校
予備登録選手 412	高　橋　成　愛	専修大学北上高等学校

304 宮城県		
監　督	佐々木　由　美	古川学園高等学校（教）
選手 413	川　岸　裕　翔	古川学園高等学校
選手 414	佐々木　心　汰	古川学園高等学校
選手 415	鈴　木　卓　弥	古川学園高等学校
予備登録選手 416	佐　藤　優　真	古川学園高等学校

305 秋田県		
監　督	三　浦　　州	秋田令和高等学校（教）
選手 417	齊　藤　佑　典	秋田県立秋田高等学校
選手 418	三　上　充　紀	秋田県立秋田高等学校
選手 419	仁　部　琉　弥	秋田県立秋田高等学校
予備登録選手 420	佐　藤　大　心	秋田令和高等学校

306 山形県		
監　督	杉野森　大　輔	鶴岡東高等学校（教）
選手 421	野　中　湊　斗	鶴岡東高等学校
選手 422	加　瀬　楓　真	鶴岡東高等学校
選手 423	向　尾　幸　村	鶴岡東高等学校
予備登録選手 424	及　川　陽　介	鶴岡東高等学校

307 福島県		
監　督	桑　原　勝　人	福島東稜高等学校（教）
選手 425	下　平　太　司	帝京安積高等学校
選手 426	青　木　吉　真	帝京安積高等学校
選手 427	佐　藤　侑　大	福島東稜高等学校
予備登録選手 428	鈴　木　喜　翔	帝京安積高等学校

308 茨城県		
監　督	芦　間　雄　太	明秀学園日立高等学校（教）
選手 429	齋　藤　忠　寿	明秀学園日立高等学校
選手 430	金　田　侑　大	清真学園高等学校
選手 431	浅　野　裕　磨	明秀学園日立高等学校
予備登録選手 432	北　川　　翼	明秀学園日立高等学校

309 栃木県		
監　督	斎　藤　康　順	青藍泰斗高校（教）
選手 433	宮　前　太　聖	青藍泰斗高等学校
選手 434	平　松　柊　人	青藍泰斗高等学校
選手 435	青　柳　陽　太	青藍泰斗高等学校
予備登録選手 436	北　條　結　人	青藍泰斗高等学校

310 群馬県		
監　督	宮　澤　　淳	ＪＲ東日本高崎
選手 437	長　尾　咲陽人	群馬県立沼田高等学校
選手 438	長谷川　　煌	明照学園 樹徳高等学校
選手 439	小　池　次　郎	明照学園 樹徳高等学校
予備登録選手 440	松　島　颯　大	群馬県立沼田高等学校

311 埼玉県

監督	髙橋裕樹	埼玉栄高等学校（教）
選手 441	疋野虎希	埼玉栄高等学校
選手 442	石田蓮	埼玉栄高等学校
選手 443	宮正倫	埼玉栄高等学校
予備登録選手 444	内藤奏人	埼玉栄高等学校

312 千葉県

監督	森有希	敬愛学園高等学校（教）
選手 445	高間翔大	東京学館浦安高等学校
選手 446	王雪航	東京学館浦安高等学校
選手 447	近藤大空	木更津総合高等学校
予備登録選手 448	長濱慶太	千葉経済大学附属高等学校

313 東京都

監督	水谷聡	実践学園中学・高等学校（教）
選手 449	渡部民人	ＪＯＣエリートアカデミー／星槎
選手 450	松本來斗	早稲田大学系属早稲田実業学校高等部
選手 451	山路直太朗	実践学園高等学校
予備登録選手 452	北島涼太郎	安田学園高等学校

314 神奈川県

監督	大森隆弘	木下アカデミー
選手 453	大野颯真	川中島中学校
選手 454	小林右京	川中島中学校
選手 455	伊藤佑太	星槎国際高校横浜
予備登録選手 456	柴田洸	川中島学校

315 山梨県

監督	河西辰也	日本航空高等学校（職）
選手 457	佐々木優輔	日本航空高等学校
選手 458	中山竣太	日本航空高等学校
選手 459	池田虎以	日本航空高等学校
予備登録選手 460	大江璃旺	日本航空高等学校

316 新潟県

監督	山岸健弥	新潟産業大学附属高校(教)
選手 461	本間歩汰	新潟産業大学附属高校
選手 462	堀凱生斗	上越高校
選手 463	吉田蒼	新潟産業大学附属高校
予備登録選手 464	田中春吾	新潟産業大学附属高校

317 長野県

監督	竹前滋比古	長野工業高等学校（教）
選手 465	今村諒	長野工業高等学校
選手 466	嶋田凰雅	松商学園高等学校
選手 467	田村悠道	長野工業高等学校
予備登録選手 468	荒井隆希	長野俊英高等学校

318 富山県

監督	金山克哉	富山商業高等学校（教）
選手 469	有元一護	南砺福野高等学校
選手 470	勝山翔太	高岡龍谷高等学校
選手 471	脇田蛍瑚	高岡龍谷高等学校
予備登録選手 472	塩岡快那	富山商業高等学校

319 石川県

監督	植木大	遊学館高等学校（教）
選手 473	馬渕煌世	遊学館高等学校
選手 474	小野拓真	遊学館高等学校
選手 475	平塚健友	遊学館高等学校
予備登録選手 476	大角莉生	遊学館高等学校

320 福井県

監督	服部泰朗	福井商業高等学校（教）
選手 477	重僧礼夢	福井商業高等学校
選手 478	堀本爽太郎	福井商業高等学校
選手 479	矢戸蒼真	福井商業高等学校
予備登録選手 480	石丸晃	福井商業高等学校

321 静岡県		
監　督	寺　島　大　祐	静岡学園高等学校(教)
選手 481	山　崎　勇　人	静岡学園高等学校
選手 482	稲　垣　陽　斗	静岡学園高等学校
選手 483	本　間　唯　斗	静岡学園高等学校
予備登録選手 484	中　田　賢志郎	静岡学園高等学校

322 愛知県		
監　督	今　枝　一　郎	愛知工業大学名電高等学校（教）
選手 485	持　田　陽　向	愛知工業大学名電高等学校
選手 486	月　原　弘　暉	愛知工業大学名電高等学校
選手 487	原　井　敢　田	愛知工業大学名電高等学校
予備登録選手 488	立　川　　凜	愛知工業大学名電高等学校

323 三重県		
監　督	森　　雅　幸	白子高等学校（教）
選手 489	伊　藤　　誠	白子高等学校
選手 490	杉　下　和　成	白子高等学校
選手 491	大　畑　佳　資	白子高等学校
予備登録選手 492	佐　藤　航　輝	白子高等学校

324 岐阜県		
監　督	谷　村　直　樹	清凌高等学校（教）
選手 493	宇留島　流　唯	富田高等学校
選手 494	坪　内　拓　磨	清凌高等学校
選手 495	小田島　大　地	清凌高等学校
予備登録選手 496	山　本　湊　也	富田高等学校

325 滋賀県		
監　督	青　山　振　一	近江高等学校（職）
選手 497	野　中　倭　斗	近江高等学校
選手 498	松　山　　司	近江兄弟社高等学校
選手 499	山　本　光　来	滋賀短期大学附属高等学校
予備登録選手 500	下　岡　謙　太	滋賀県立膳所高等学校

326 京都府		
監　督	村　上　　竜	華頂女子高等学校（教）
選手 501	喜　連　渓　太	東山高等学校
選手 502	市　川　輝　龍	東山高等学校
選手 503	田　中　来　輝	龍谷大学付属平安高等学校
予備登録選手 504	臼　井　晴　人	グリーンネット

327 大阪府		
監　督	小　林　一　弘	上宮高等学校（職）
選手 505	松　永　　悠	上宮高等学校
選手 506	服　部　圭　吾	上宮高等学校
選手 507	劉　　海　翔	上宮高等学校
予備登録選手 508	能　間　慈　瑛	大阪桐蔭高等学校

328 兵庫県		
監　督	田　中　雄　仁	育英高等学校（職）
選手 509	松　島　翔　空	育英高等学校
選手 510	西　面　睦　輝	育英高等学校
選手 511	坂　口　裕　紀	育英高等学校
予備登録選手 512	日　高　琥二朗	育英高等学校

329 奈良県		
監　督	山　下　湧　一	天理高等学校（教）
選手 513	今　村　敬　太	大和高田市立高田商業高等学校
選手 514	河　村　伊　織	奈良県立青翔高等学校
選手 515	甲　斐　遼太郎	東大寺学園高等学校
予備登録選手 516	山　本　惣　介	竹取クラブ

330 和歌山県		
監　督	雨　郡　義　和	和歌山県立新宮高等学校(教)
選手 517	柴　　温　人	和歌山県立和歌山商業高等学校
選手 518	廣　里　匡　紀	和歌山県立和歌山商業高等学校
選手 519	森　浦　馨　介	和歌山県立和歌山商業高等学校
予備登録選手 520	中　谷　友　也	和歌山県立和歌山商業高等学校

331 鳥取県		
監　督	福　田　義　行	FKT
選手 521	石　田　千　翔	鳥取城北高等学校
選手 522	杉　田　　蓮	鳥取城北高等学校
選手 523	徳　田　大　和	鳥取城北高等学校
予備登録選手 524	岡　本　悠　希	倉吉市立久米中学校

332 島根県		
監　督	佐　藤　拓　也	松徳学院高等学校（教）
選手 525	竹　田　陽　翔	松徳学院高等学校
選手 526	三　好　蒼　空	出雲北陵高等学校
選手 527	渡　辺　優　心	松徳学院高等学校
予備登録選手 528	川　村　侑　輝	松徳学院中学校

333 岡山県		
監　督	柏　　幸　浩	関西高等学校（教）
選手 529	上　田　晃　大	倉敷工業高等学校
選手 530	大　西　瑛　心	関西高等学校
選手 531	桐　野　滉　大	関西高等学校
予備登録選手 532	吉　村　謙　吾	岡山城東高等学校

334 広島県		
監　督	木　下　裕　介	呉青山高等学校（職）
選手 533	大　槻　佑　也	呉青山高等学校
選手 534	金　田　涼　佑	呉青山高等学校
選手 535	江　崎　　空	呉青山高等学校
予備登録選手 536	浜　田　開　世	呉青山高等学校

335 山口県		
監　督	中　川　智　之	野田学園高等学校（教）
選手 537	岩井田　駿　斗	野田学園高等学校
選手 538	中　野　琥　珀	野田学園高等学校
選手 539	中　城　瑛　貴	野田学園高等学校
予備登録選手 540	島　田　　翼	野田学園高等学校

336 香川県		
監　督	河　西　弘　誠	尽誠学園高等学校(教)
選手 541	村　上　琉　太	尽誠学園高等学校
選手 542	大　江　正　敏	県立高松商業高等学校
選手 543	川　島　凜太朗	尽誠学園高等学校
予備登録選手 544	和　泉　湧　久	高松市立香川第一中学校

337 徳島県		
監　督	三　好　昌　永	板野高等学校(教)
選手 545	関　本　瑞　輝	城南高等学校
選手 546	西　尾　恭　範	城南高等学校
選手 547	岡　田　寛　二	幸町卓球倶楽部
予備登録選手 548	村　上　斗希也	徳島商業高等学校

338 愛媛県		
監　督	柴　田　直　人	ShibaTaku
選手 549	川　村　侑　生	愛媛県立松山北高等学校
選手 550	矢　野　友　翔	FC今治高等学校明徳校
選手 551	山　田　大　翔	FC今治高等学校明徳校
予備登録選手 552	荒　木　陽　翔	四国中央市立三島東中学校

339 高知県		
監　督	佐　藤　建　剛	明徳義塾中・高等学校（職）
選手 553	栁　本　進太郎	明徳義塾高等学校
選手 554	中　川　翔　太	明徳義塾高等学校
選手 555	長谷川　　琳	明徳義塾高等学校
予備登録選手 556	渡　邉　聡　太	明徳義塾高等学校

340 福岡県		
監　督	石　田　真太郎	希望が丘高等学校（教）
選手 557	森　　駿　登	希望が丘高等学校
選手 558	玉　城　真　佑	希望が丘高等学校
選手 559	佐々木　雄　大	福岡常葉高等学校
予備登録選手 560	今　　瑠希也	希望が丘高等学校

341 佐賀県

監　督	長谷部　留美子	香楠中学校(教)
選手 561	鈴　木　佑　海	敬徳高等学校
選手 562	佐　伯　航　虎	敬徳高等学校
選手 563	山　城　　陽	敬徳高等学校
予備登録選手 564	福　田　　葉	北陵高等学校

342 長崎県

監　督	坪　口　道　和	鎮西学院高等学校(教)
選手 565	福　島　雄　陽	瓊浦高等学校
選手 566	尾　﨑　　洸	鎮西学院高等学校
選手 567	宮　島　伶　央	瓊浦高等学校
予備登録選手 568	福　田　虎太郎	鎮西学院高等学校

343 熊本県

監　督	堀　川　好　実	熊本県卓球協会
選手 569	上　村　　匠	秀岳館高等学校
選手 570	宮　田　大　夢	慶誠高等学校
選手 571	常　廣　啓　二	慶誠高等学校
予備登録選手 572	森　　悠　真	慶誠高等学校

344 大分県

監　督	藤　本　賢　司	明豊中学・高等学校（教）
選手 573	小　野　大　翔	明豊高等学校
選手 574	渡　邉　秀　磨	明豊高等学校
選手 575	中　野　純　正	明豊高等学校
予備登録選手 576	比　嘉　輝　人	明豊高等学校

345 宮崎県

監　督	今　山　裕　介	県立宮崎工業高等学校（教）
選手 577	久保田　芭玖斗	県立都城商業高等学校
選手 578	藤　野　伊　織	県立都城商業高等学校
選手 579	平　岡　琉　偉	県立都城商業高等学校
予備登録選手 580	田　口　千　寿	県立宮崎工業高等学校

346 鹿児島県

監　督	永　吉　　誠	れいめい高等学校(教)
選手 581	中　村　優　志	れいめい高等学校
選手 582	冨　嶋　聖　陽	れいめい高等学校
選手 583	橋　本　琉　星	れいめい高等学校
予備登録選手 584	平　峯　　聡	れいめい高等学校

347 沖縄県

監　督	栁　原　弘　文	沖縄県立沖縄水産高等学校(教)
選手 585	小　松　優　心	エナジックスポーツ高等学院
選手 586	嘉　数　奏　太	エナジックスポーツ高等学院
選手 587	島　袋　琥太郎	エナジックスポーツ高等学院
予備登録選手 588	上　地　拓　徳	興南高等学校

参加選手一覧表

少年女子(20チーム)

401 北海道		
監　督	小　林　正　佳	駒澤大学附属苫小牧高等学校（教）
選手 601	高　橋　美　羽	駒澤大学附属苫小牧高等学校
選手 602	城　戸　梨里花	駒澤大学附属苫小牧高等学校
選手 603	小　林　芽　生	駒澤大学附属苫小牧高等学校
予備登録選手 604		

402 青森県		
監　督	八　島　　功	青森県立黒石高等学校(教)
選手 605	奥　川　みこと	青森山田高等学校
選手 606	福　士　心　菜	東奥学園高等学校
選手 607	神　　和　花	青森県立青森商業高等学校
予備登録選手 608	斉　藤　凛　空	青森県立八戸工業高等学校

403 宮城県		
監　督	岡　崎　千恵美	聖和学園高等学校（教）
選手 609	福　島　実　夢	聖和学園高等学校
選手 610	泉　田　乃　愛	仙台市立宮城野中学校
選手 611	水　谷　俐　心	多賀城市立高崎中学校
予備登録選手 612	原　　七　星	聖和学園高等学校

404 福島県		
監　督	小　林　直　哉	桜の聖母学院高等学校（教）
選手 613	栁　沼　夏　帆	郡山女子大学附属高等学校
選手 614	木　村　利　渚	桜の聖母学院高等学校
選手 615	長谷部　真　奈	桜の聖母学院高等学校
予備登録選手 616	三　浦　諒　子	桜の聖母学院高等学校

405 埼玉県		
監　督	平　　亮　太	正智深谷高等学校（教）
選手 617	伊　藤　心　咲	正智深谷高等学校
選手 618	鬼　頭　直　央	正智深谷高等学校
選手 619	熊　田　陽　花	正智深谷高等学校
予備登録選手 620	髙　山　穂　花	正智深谷高等学校

406 東京都		
監　督	太　田　康　仁	武蔵野中学高等学校（職）
選手 621	幾　島　ゆうか	武蔵野高等学校
選手 622	大　岩　悠　乃	武蔵野高等学校
選手 623	鶴　巻　希　拓	武蔵野高等学校
予備登録選手 624	坂　野　夢　叶	武蔵野中学校

407 神奈川県		
監　督	渡　邊　隆　司	木下アカデミー
選手 625	牧　野　美　玲	星槎国際高校横浜
選手 626	瓜　生　日　咲	木下アカデミー
選手 627	髙　橋　青　葉	星槎国際高校横浜
予備登録選手 628	持　田　桜　奏	横浜隼人高校

408 長野県		
監　督	滝　澤　裕美子	長野日本大学高等学校（教）
選手 629	竹　内　ゆ　な	長野日本大学高等学校
選手 630	浅　井　穂　香	長野日本大学高等学校
選手 631	西　村　月　奈	長野日本大学中学校
予備登録選手 632	宮　澤　こころ	長野日本大学高等学校

409 石川県		
監　督	安　達　健　佑	遊学館高等学校(教)
選手 633	日下部　詩　季	遊学館高等学校
選手 634	大　出　ら　ん	遊学館高等学校
選手 635	田　中　咲　妃	遊学館高等学校
予備登録選手 636	野　間　瑶　子	遊学館高等学校

410 静岡県		
監　督	山　本　　寛	浜松修学舎中学校・高等学校(教)
選手 637	花　沢　夏　琳	星槎高等学校
選手 638	村　田　　陽	浜松修学舎高等学校
選手 639	山　田　楓　花	浜松修学舎高等学校
予備登録選手 640	村　田　　雛	浜松修学舎高等学校

411 愛知県

監　督	神　谷　卓　磨	愛知みずほ大学瑞穂高等学校（教）
選手 641	竹　本　悠　奈	愛知みずほ大学瑞穂高等学校
選手 642	遊　佐　映　月	愛知みずほ大学瑞穂高等学校
選手 643	岩　見　香　蓮	桜丘高等学校
予備登録選手 644	島　崎　叶　望	桜丘高等学校

412 大阪府

監　督	有　川　弘　雄	精華高等学校（教）
選手 645	渡　会　　宥	四天王寺高等学校
選手 646	伊　藤　友　杏	香ヶ丘リベルテ高等学校
選手 647	新　谷　莉　央	四天王寺高等学校
予備登録選手 648	井　上　真　夕	四天王寺高等学校

413 兵庫県

監　督	上　石　修　平	兵庫県立有馬高等学校（教）
選手 649	上　田　遥　音	神戸野田高等学校
選手 650	松　井　朱　音	神戸市立神港橘高等学校
選手 651	星　野　桃　羽	兵庫県立香寺高等学校
予備登録選手 652	下　司　琴　子	三田学園高等学校

414 岡山県

監　督	丸　川　真　一	卓球クラブマルカワ
選手 653	齋　木　結　心	山陽学園高等学校
選手 654	髙　取　ま　い	山陽学園高等学校
選手 655	面　手　一　花	山陽学園高等学校
予備登録選手 656	景　山　結　月	山陽学園高等学校

415 山口県

監　督	川　本　　稔	山口県立岩国商業高等学校（教）
選手 657	植　野　ひかり	山口県立岩国商業高等学校
選手 658	原　　瑞　稀	山口県立岩国商業高等学校
選手 659	岸　本　紗　朋	山口県立岩国商業高等学校
予備登録選手 660	塩　田　桜　子	山口県立岩国商業高等学校

416 香川県

監　督	大　野　真　次	県立高松東高等学校（教）
選手 661	松　本　結　鶴	尽誠学園高等学校
選手 662	山　村　茉緒子	尽誠学園高等学校
選手 663	柴　田　悠　未	尽誠学園高等学校
予備登録選手 664	宮　﨑　結　愛	高松市立香東中学校

417 高知県

監　督	佐　藤　利　香	明徳義塾中・高等学校（職）
選手 665	石　井　理　央	明徳義塾高等学校
選手 666	立　川　釉　菜	明徳義塾高等学校
選手 667	駒　瀬　あゆみ	明徳義塾高等学校
予備登録選手 668	村　田　愛　心	明徳義塾高等学校

418 福岡県

監　督	宗　　久美子	川田卓球クラブ
選手 669	大　野　紗　蘭	希望が丘高等学校
選手 670	中　村　心　羽	希望が丘高等学校
選手 671	石　田　心　美	石田卓球N⁺
予備登録選手 672	赤　嶺　登　愛	希望が丘高等学校

419 佐賀県

監　督	寄　谷　大　輔	敬徳高等学校(教)
選手 673	井　上　永　遠	敬徳高等学校
選手 674	井　保　ひなた	敬徳高等学校
選手 675	井　上　琉　愛	敬徳高等学校
予備登録選手 676	井　上　実　優	敬徳高等学校

420 大分県

監　督	松　本　香　織	明豊中学・高等学校(教)
選手 677	利　光　里　菜	大分県立杵築高等学校
選手 678	椎　原　　黎	明豊高等学校
選手 679	荒　木　くらら	明豊高等学校
予備登録選手 680	江　藤　衣　舞	大分県立中津南高等学校

成年男女・少年男女　第５位表彰式

１　日　　時　　令和８年１０月１４日（水）　17：00～

２　会　　場　　カクヒログループスーパーアリーナ

３　出 席 者　　選手団　16:55（所定の場所に着席）
　　役　員　16:55（所定の場所に着席または整列）

４　式 次 第

	次　　第
1	開　式　通　告
2	成　績　発　表
3	賞　状　授　与
4	閉　式　通　告
	選　手　団　写　真　撮　影

成年男女・少年男女　表彰式、総合表彰式

１　日　　時　　令和８年１０月１５日（木）　15：30～

２　会　　場　　カクヒログループスーパーアリーナ

３　集　　合　　選手団　15:25（所定の場所に着席）
役　員　15:25（所定の場所に着席または整列）

４　式 次 第

	次　　第
1	開　式　通　告
2	成績発表・賞状授与 （成年男女・少年男女）
3	成績発表・賞状授与 （女子総合・男女総合）
4	競技会会長あいさつ
5	歓　送　の　こ　と　ば
6	国　旗　儀　礼
7	諸　旗　儀　礼
8	競技会終了宣言・閉式通告
9	感　謝　状　贈　呈
	選　手　団　写　真　撮　影

練習会場の使用について

練習会場の開設時間と割当

会　場　名		10／ 9 （金）	10／10 （土）	10／11 （日）	10／12 （月）	10／13 （火）	10／14 （水）	10／15 （木）
競技会場	カクヒログループスーパーアリーナ （12コート） 青森市大字浦町字橋本335-17	13:00 〜 17:00	9:00 〜 15:00	8:10 〜 8:45	7:40 〜 8:15	7:40 〜 8:15	7:40 〜 8:15	7:40 〜 8:15
		※別紙 割当表		＊当該日の第１試合に出場するチーム専用とします。 各対戦コートで練習してください。				
練習会場	青森市立浦町中学校 （１〜６）コート １６チーム 青森市勝田二丁目25の12	13:00 〜 17:00	9:00 〜 15:00	8:30 〜 17:00	8:30 〜 17:00	8:30 〜 17:00	8:30 〜 17:00	
		北海道・北信越　各ブロックのチーム					フリー	
	青森市立浦町中学校 （７〜１２）コート １４チーム 青森市勝田二丁目25の13	13:00 〜 17:00	9:00 〜 15:00	8:30 〜 17:00	8:30 〜 17:00	8:30 〜 17:00	8:30 〜 17:00	
		近畿ブロックのチーム					フリー	
	青森市立甲田中学校 （１〜７）コート １７チーム 青森市金沢三丁目11の２	13:00 〜 17:00	9:00 〜 15:00	8:30 〜 17:00	8:30 〜 17:00	8:30 〜 17:00	8:30 〜 17:00	
		東北ブロックのチーム					フリー	
	青森市立甲田中学校 （８〜１２）コート １２チーム 青森市金沢三丁目11の２	13:00 〜 17:00	9:00 〜 15:00	8:30 〜 17:00	8:30 〜 17:00	8:30 〜 17:00	8:30 〜 17:00	
		中国ブロックのチーム					フリー	
	青森市立西中学校 （１〜８）コート １８チーム 青森市浪館字志田37	13:00 〜 17:00	9:00 〜 15:00	8:30 〜 17:00	8:30 〜 17:00	8:30 〜 17:00	8:30 〜 17:00	
		関東ブロックのチーム					フリー	
	青森市立西中学校 （９〜１２）コート １０チーム 青森市浪館字志田37	13:00 〜 17:00	9:00 〜 15:00	8:30 〜 17:00	8:30 〜 17:00	8:30 〜 17:00	8:30 〜 17:00	
		東海ブロックのチーム					フリー	
	青森県立青森南高等学校 （１〜４）コート １０チーム 青森市西大野一丁目22の2	13:00 〜 17:00	9:00 〜 15:00	8:30 〜 17:00	8:30 〜 17:00	8:30 〜 17:00	8:30 〜 17:00	
		四国ブロックのチーム					フリー	
	青森県立青森南高等学校 （５〜１２）コート １８チーム 青森市西大野一丁目22の2	13:00 〜 17:00	9:00 〜 15:00	8:30 〜 17:00	8:30 〜 17:00	8:30 〜 17:00	8:30 〜 17:00	
		九州ブロックのチーム					フリー	

〈ブロック表〉

ブロック名	都道府県名	参加チーム数
北 海 道	北海道	4
東　　北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島	17
関　　東	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨	18
北 信 越	新潟、長野、富山、石川、福井	12
東　　海	静岡、愛知、三重、岐阜	10
近　　畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	14
中　　国	鳥取、島根、岡山、広島、山口	12
四　　国	香川、徳島、愛媛、高知	10
九　　州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	18

注意事項

1　競技会場及び練習会場の開場時間は、練習開始の３０分前となります。
　（10／9の競技会場については、12：00から受付を開始します。）

2　練習会場を使用する場合は、受付簿へチーム名等を記入してください。

3　空いているコートは自由に使用可能ですが、割当のチームが到着したときは、速やかに空けてください。
　また、各チーム譲り合って使用してください。

4　練習会場へは、シャトルバスを用意しておりますのでご利用ください。
　持ち込み車両については、駐車場の用意がありませんので、送迎のみとなります。

競技会場(カクヒログループスーパーアリーナ)の練習時間割当表

<table>
<tr><td></td><td></td><td colspan="6">10月9日(金)</td><td colspan="6">10月10日(土)</td></tr>
<tr><td>会場</td><td>コート
No.</td><td>13:00
～
13:40</td><td>13:40
～
14:20</td><td>14:20
～
15:00</td><td>15:00
～
15:40</td><td>15:40
～
16:20</td><td>16:20
～
17:00</td><td>9:00
～
10:00</td><td>10:00
～
11:00</td><td>11:00
～
12:00</td><td>12:00
～
13:00</td><td>13:00
～
14:00</td><td>14:00
～
15:00</td></tr>
<tr><td rowspan="12">カクヒログループスーパーアリーナ　メインアリーナ</td><td>1</td><td colspan="3" rowspan="2">東海
(10チーム)</td><td colspan="3" rowspan="5">九州
(18チーム)</td><td colspan="3">北海道</td><td colspan="3" rowspan="3">中国</td></tr>
<tr><td>2</td><td colspan="3" rowspan="2">四国</td></tr>
<tr><td>3</td><td colspan="3" rowspan="4">東北
(17チーム)</td><td colspan="3" rowspan="3">関東</td></tr>
<tr><td>4</td><td colspan="3" rowspan="3">近畿</td></tr>
<tr><td>5</td><td colspan="3" rowspan="2">北信越
(12チーム)</td></tr>
<tr><td>6</td><td colspan="3">東海</td></tr>
<tr><td>7</td><td colspan="3" rowspan="4">関東
(18チーム)</td><td colspan="3" rowspan="4">近畿
(14チーム)</td><td colspan="3" rowspan="3">北信越</td><td colspan="3" rowspan="3">東海</td></tr>
<tr><td>8</td></tr>
<tr><td>9</td></tr>
<tr><td>10</td><td colspan="3" rowspan="2">北海道
(４チーム)</td><td colspan="3" rowspan="3">九州</td><td colspan="3" rowspan="3">東北</td></tr>
<tr><td>11</td><td colspan="3" rowspan="2">中国
(12チーム)</td><td colspan="3" rowspan="2">四国
(10チーム)</td></tr>
<tr><td>12</td></tr>
</table>

都道府県・種別入賞回数

2026現在

	種別	成年								少年							
		男子				女子				男子				女子			
	加盟団体名	1位	2位	3位	5位	1位	2位	3位	5位	1位	2位	3位	5位	1位	2位	3位	5位
1	北海道	1	1	7	13		1	2	13	1		5	4			4	12
2	青森県	11	5	2	17	1	3	13	15	22	2	9	15	9	9	8	16
3	岩手県	1	1	1	6		1	4	3		1	2	5		2	2	4
4	宮城県			7	10	1	5	5	4		5		9	5	8	3	1
5	秋田県	1	2	2	2		1		1			1	6	1	1	1	3
6	山形県		1	1	4			2				2	5			2	4
7	福島県			1	2				4			1	1			1	6
8	茨城県				9	5	1	5	6			2	2		1	1	3
9	栃木県			1	1	3		4	5	1	1	1	5	2	4	10	9
10	群馬県				1				1				5		1	2	4
11	埼玉県	6	3	7	10	3		4	13	11	6	12	9		2	6	15
12	千葉県	7	5	12	9	2	3	6	13			1	4				4
13	東京都	18	21	16	7	15	12	16	13	6	5	4	19	1	4	6	17
14	神奈川県	8	4	13	15	11	7	10	15	1	2	8	16	5	6	12	17
15	山梨県				1		1	2	2				1			2	1
16	新潟県				8		1	2	3		1	2	5			6	6
17	長野県		1		4			1	6			1	2	1		2	2
18	富山県			1	1	2		1	5				3				5
19	石川県				2				3			10	7		3	2	7
20	福井県			2	3	1		1	4				3			1	5
21	静岡県	4	5	8	11	2	3	9	20		1		8	2	2	3	9
22	愛知県	6	4	11	13	3	3	9	13	16	10	14	18	4	4	8	13
23	三重県			2	6		1	2	3				2			2	5
24	岐阜県			3	1	5	3	4	14			3	5	2	3	8	7
25	滋賀県	1	2	2	5	2	2		7								
26	京都府	2	6	6	16	8	1	4	11	5	13	16	19		5	5	8
27	大阪府	4	4	9	18	4	7	9	16	5	8	13	8	26	6	10	7
28	兵庫県		1	3	6		2	7	7	1	4	3	11	2	1	1	9
29	奈良県			1	4		1		3				1				2
30	和歌山県	2	4	9	10			1	2			1	2				
31	鳥取県				1								2			1	
32	島根県			1								3	4				2
33	岡山県			5	11			5	6	1		4	8	1	2	10	15
34	広島県				15	3	7	8	13	1	1	2	9	2		2	4
35	山口県	3	5	6	8	4	3	4	12	3	8	8	6	6	1	10	12
36	香川県				3				5			2	2	2	2	2	5
37	徳島県				12		2		1	1	1	1	6				2
38	愛媛県			1	5			2	8				5			2	5
39	高知県			3	5		1	1	4		1	5	20	1	4	4	17
40	福岡県		1	5	13			5	15	1	3	6	18	3	3	8	10
41	佐賀県	1		2			1	1	1								2
42	長崎県				3	1						1	2				
43	熊本県		1	1	4	1	3	3	6		1	1	1		2	3	13
44	大分県			1	6				2		1	1	8			1	3
45	宮崎県				3		1		7		1	2	7	1			5
46	鹿児島県	1		1	2			2	2			5	4			1	6
47	沖縄県			1	2				1				1				1

※上記一覧に第１・２回大会の個人戦、教職員の部、軟式一般男女の部、成年男女２部は含まれない。

年次別成績一覧表（前回大会までの記録）

開催地・年度	順位	男子シングルス	女子シングルス	男子ダブルス	女子ダブルス
大阪府 西宮市 （宝塚公会堂） 第１回 （昭和21年度）	１位	藤井　則和（京都府）	加藤　君枝（京都府）	西山・西村（大阪府）	加藤・浅堀（京都府）
	２位	田舛　彦介（山口県）	川村　富子（兵庫県）	山　口　県	愛　媛　県
	３位	川上　　正（大阪府）	西山喜代子（大阪府）	大　分　県	兵　庫　県
		船木　藤蔵（北海道）	麻堀みさ子（京都府）	京　都　府	大　阪　府
	順位	混合ダブルス	軟式男子シングルス	軟式女子シングルス	軟式ベテラン
	１位	藤井・松本（京都府）	林　　忠明（東京都）	渡辺　睦子（静岡県）	倉橋　長七（大阪府）
	２位	宮　城　県	南波　好弘（東京都）	松本貴代子（京都府）	田舛　吉郎（山口県）
	３位	山　口　県	戸塚　和美（東京都）	荘司　勝子（大分県）	片山　忠義（広島県）
		愛　媛　県	浅野　英男（東京都）	東　　郷（東京都）	長尾　　勇（京都府）

開催地・年度	順位	一般男子の部	一般女子の部	高校男子の部	高校女子の部
石川県 （大聖寺町） 第２回 （昭和22年度）	１位	東　京　都	京　都　府	松山　博夫（愛知県）	河野　泰子（熊本県）
	２位	大　阪　府	新　潟　県	安田　　昇（岡山県）	土居　民枝（京都府）
	３位	愛　知　県	広　島　県	有加　末義（岡山県）	北島　正子（和歌山県）
		山　口　県	熊　本　県	高木　久雄（京都府）	木村　宏子（埼玉県）
	５位	宮　崎　県	神　奈　川　県	鈴木　　一（青森県）	柴田　羊子（東京都）
		青　森　県	福　岡　県	米田　朔朗（埼玉県）	石井喜久子（岡山県）
		北　海　道	千　葉　県	佐伯　寛正（愛媛県）	武市多美子（高知県）
		静　岡　県	静　岡　県	山根　　喬（鳥取県）	竹中ミツ子（大阪府）

開催地・年度	順位	一般男子の部	一般女子の部	高校男子の部	高校女子の部	教職員の部
福岡県 （福岡市） 第３回 （昭和23年度）	１位	愛　知　県	京　都　府	広　島　県	岡　山　県	岡　山　県
	２位	東　京　都	徳　島　県	宮　城　県	京　都　府	群　馬　県
	３位	岡　山　県	青　森　県	京　都　府	愛　知　県	東　京　都
		静　岡　県	新　潟　県	青　森　県	山　口　県	北　海　道
	５位	宮　城　県	福　島　県	群　馬　県	静　岡　県	長　崎　県
		山　口　県	静　岡　県	高　知　県	山　形　県	青　森　県
		北　海　道	東　京　都	東　京　都	千　葉　県	栃　木　県
		大　阪　府	神　奈　川　県	大　阪　府	茨　城　県	山　梨　県

開催地・年度	順位	一般男子の部	一般女子の部	高校男子の部	高校女子の部
東京都 （北区） 第４回 （昭和24年度）	１位	神　奈　川　県	京　都　府	北　海　道	香　川　県
	２位	東　京　都	徳　島　県	兵　庫　県	京　都　府
	３位	宮　城　県	北　海　道	愛　知　県	埼　玉　県
		北　海　道	青　森　県	東　京　都	茨　城　県
	５位	愛　知　県	広　島　県	岩　手　県	岡　山　県
		埼　玉　県	新　潟　県	千　葉　県	愛　知　県
		山　口　県	東　京　都	群　馬　県	山　口　県
		大　阪　府	大　阪　府	宮　城　県	北　海　道

開催地・年度	順位	一般男子の部	一般女子の部	高校男子の部	高校女子の部	軟式一般男女の部
愛知県 （半田市） 第５回 （昭和25年度）	１位	神　奈　川　県	広　島　県	愛　知　県	山　口　県	新　潟　県
	２位	大　阪　府	東　京　都	東　京　都	香　川　県	愛　知　県
	３位	東　京　都	神　奈　川　県	大　阪　府	福　島　県	東　京　都
		宮　城　県	北　海　道	兵　庫　県	京　都　府	香　川　県
	５位	岡　山　県	京　都　府	香　川　県	北　海　道	兵　庫　県
		山　形　県	青　森　県	宮　城　県	群　馬　県	大　阪　府
		北　海　道	熊　本　県	京　都　府	東　京　都	富　山　県
		愛　知　県	兵　庫　県	千　葉　県	愛　知　県	埼　玉　県
広島県 （呉市） 第６回 （昭和26年度）	１位	北　海　道	京　都　府	岡　山　県	山　口　県	東　京　都
	２位	東　京　都	東　京　都	大　阪　府	静　岡　県	大　分　県
	３位	神　奈　川　県	千　葉　県	埼　玉　県	広　島　県	大　阪　府
		愛　知　県	神　奈　川　県	山　形　県	兵　庫　県	埼　玉　県
	５位	山　形　県	広　島　県	愛　媛　県	埼　玉　県	北　海　道
		岡　山　県	愛　知　県	兵　庫　県	京　都　府	秋　田　県
		栃　木　県	山　口　県	北　海　道	東　京　都	青　森　県
		大　阪　府	大　阪　府	新　潟　県	秋　田　県	愛　知　県
宮城県 （仙台市） 第７回 （昭和27年度）	１位	東　京　都	京　都　府	青　森　県	広　島　県	宮　城　県
	２位	山　形　県	北　海　道	兵　庫　県	京　都　府	東　京　都
	３位	北　海　道	山　口　県	北　海　道	山　口　県	兵　庫　県
		宮　城　県	大　阪　府	大　阪　府	静　岡　県	富　山　県
	５位	岩　手　県	愛　知　県	群　馬　県	東　京　都	熊　本　県
		京　都　府	岡　山　県	宮　城　県	神　奈　川　県	大　阪　府
		静　岡　県	千　葉　県	神　奈　川　県	埼　玉　県	広　島　県
		広　島　県	東　京　都	新　潟　県	北　海　道	長　崎　県
徳島県 （徳島市） 第８回 （昭和28年度）	１位	東　京　都	埼　玉　県	青　森　県	広　島　県	東　京　都
	２位	京　都　府	東　京　都	愛　知　県	兵　庫　県	兵　庫　県
	３位	北　海　道	京　都　府	山　口　県	山　口　県	大　阪　府
		静　岡　県	愛　知　県	山　形　県	愛　知　県	宮　城　県
	５位	青　森　県	愛　媛　県	京　都　府	愛　媛　県	秋　田　県
		広　島　県	大　阪　府	広　島　県	群　馬　県	栃　木　県
		宮　城　県	山　口　県	岡　山　県	静　岡　県	京　都　府
		岡　山　県	茨　城　県	兵　庫　県	福　島　県	広　島　県

開催地・年度	順位	一般男子の部	一般女子の部	高校男子の部	高校女子の部	軟式一般男女の部
北海道 （旭川市） 第９回 （昭和29年度）	１位	静岡県	山口県	愛知県	兵庫県	大阪府
	２位	岩手県	愛知県	兵庫県	愛知県	熊本県
	３位	東京都	兵庫県	東京都	山口県	広島県
		神奈川県	大阪府	青森県	群馬県	岐阜県
	５位	大阪府	埼玉県	広島県	三重県	東京都
		青森県	京都府	千葉県	熊本県	宮城県
		北海道	茨城県	山口県	岡山県	山形県
		新潟県	東京都	岡山県	福島県	兵庫県
神奈川県 （横須賀市） 第10回 （昭和30年度）	１位	岩手県	山口県	青森県	静岡県	大阪府
	２位	北海道	東京都	山口県	愛知県	神奈川県
	３位	宮城県	兵庫県	埼玉県	秋田県	東京都
		神奈川県	愛知県	愛知県	山形県	広島県
	５位	静岡県	広島県	神奈川県	埼玉県	岩手県
		千葉県	静岡県	和歌山県	福島県	富山県
		京都府	大阪府	富山県	香川県	兵庫県
		新潟県	京都府	静岡県	山口県	京都府
兵庫県 （神戸市） 第11回 （昭和31年度）	１位	青森県	山口県	兵庫県	山口県	東京都
	２位	東京都	東京都	山口県	静岡県	大阪府
	３位	兵庫県	大阪府	和歌山県	香川県	北海道
		愛知県	兵庫県	福岡県	埼玉県	愛知県
	５位	岩手県	三重県	秋田県	石川県	宮城県
		新潟県	愛知県	静岡県	兵庫県	広島県
		大阪府	群馬県	富山県	熊本県	愛媛県
		千葉県	広島県	埼玉県	大阪府	新潟県
静岡県 （吉原市） 第12回 （昭和32年度）	１位	青森県	東京都	東京都	静岡県	京都府
	２位	兵庫県	東兵庫県	兵庫県	栃木県	大阪府
	３位	岩手県	京都府県	愛知県	山口県	北海道
		東京都	静岡県	京都府	埼玉県	愛知県
	５位	神奈川県	山口県	広島県	愛知県	栃木県
		愛知県	千葉県	青森県	新潟県	富山県
		新潟県	愛媛県	茨城県	岡山県	新潟県
		大阪府	広島県	岩手県	大分県	広島県
富山県 （福光町） 第13回 （昭和33年度）	１位	青森県	東京都	東京都	山口県	東京都
	２位	東京都	東兵庫県	愛知県	栃木県	京都府
	３位	千葉県	長野県	大阪府	静岡県	神奈川県
		兵庫県	静岡県	京都府	京都府	大阪府
	５位	大分県	石川県	青森県	群馬県	山形県
		秋田県	京都府	大分県	東京都	静岡県
		徳島県	福岡県	群馬県	岩手県	愛知県
		愛知県	神奈川県	静岡県	神奈川県	岡山県
東京都 （台東区） 第14回 （昭和34年度）	１位	青森県	東京都	東京都	東京都	大阪府
	２位	東京都	東山口県	京都府	神奈川県	東京都
	３位	千葉県	静岡県	北海道	静岡県	茨城県
		富山県	広島県	香川県	山口県	埼玉県
	５位	神奈川県	埼玉県	兵庫県	茨城県	岡山県
		広島県	福井県	宮城県	宮崎県	兵庫県
		岡山県	神奈川県	山口県	新潟県	山形県
		茨城県	滋賀県	大阪府	栃木県	千葉県
熊本県 （阿蘇町・一ノ宮町） 第15回 （昭和35年度）	１位	東京都	東京都	愛知県	愛知県	東京都
	２位	静岡県	東大阪府	熊本県	秋田県	熊本県
	３位	福島県	愛知県	秋田県	東京都	福岡県
		山形県	広島県	青森県	京都府	広島県
	５位	愛媛県	富山県	東京都	熊本県	大阪府
		千葉県	静岡県	鹿児島県	徳島県	山口県
		岡山県	宮崎県	鳥取県	山口県	広島県
		岐阜県	山口県	京都府	青森県	北海道
秋田県 （本庄市） 第16回 （昭和36年度）	１位	千葉県	大阪府	東京都	愛知県	秋田県
	２位	秋田県	東京都	青森県	京都府	広島県
	３位	大阪府	広島県	京都府	新潟県	東京都
		東京都	愛知県	新潟県	石川県	宮城県
	５位	京都府	埼玉県	宮城県	青森県	岩手県
		岡山県	富山県	鹿児島県	熊本県	岐阜県
		神奈川県	滋賀県	高知県	静岡県	神奈川県
		徳島県	静岡県	秋田県	山口県	愛知県
岡山県 （西大寺市） 第17回 （昭和37年度）	１位	千葉県	東京都	東京都	山口県	東京都
	２位	秋田県	東山口県	福岡県	愛知県	富山県
	３位	神奈川県	岡山県	山口県	栃木県	福岡県
		岡山県	愛知県	青森県	岡山県	大阪府
	５位	熊本県	京都府	兵庫県	秋田県	秋田県
		大阪府	石川県	群馬県	大阪府	愛媛県
		兵庫県	秋田県	鳥取県	香川県	岡山県
		福岡県	徳島県	和歌山県	京都府	岐阜県
山口県 （柳井市・岩国市） 第18回 （昭和38年度）	１位	東京都	東京都	愛知県	山口県	東京都
	２位	東山口県	東大阪府	神奈川県	栃木県	埼玉県
	３位	三重県	京都府	青森県	大阪府	大阪府
		北海道	山口県	山口県	神奈川県	熊本県
	５位	大阪府	新潟県	京都府	静岡県	京都府
		福岡県	愛知県	新潟県	岡山県	広島県
		石川県	埼玉県	高知県	京都府	福岡県
		香川県	茨城県	岡山県	—	富山県

開催地・年度	順位	一般男子の部	一般女子の部	高校男子の部	高校女子の部	軟式一般男女の部
新潟県 （直江津市） 第19回 （昭和39年度）	1位	大阪府	東京都	愛知県	大阪府	東京都
	2位	東京都	愛知県	新潟県	山口県	山口県
	3位	秋田県	山口県	大阪府	新潟県	広島県
		福岡県	新潟県	岩手県	愛知県	埼玉県
	5位	青森県	香川県	埼玉県	富山県	愛知県
		新潟県	青森県	青森県	大分県	岐阜県
		神奈川県	熊本県	東京都	北海道	神奈川県
		熊本県	大阪府	神奈川県	栃木県	京都府
岐阜県 （中津川市） 第20回 （昭和40年度）	1位	青森県	愛知県	京都府	大阪府	岐阜県
	2位	東京都	山口県	徳島県	青森県	愛知県
	3位	岐阜県	大阪府	鹿児島県	愛知県	山口県
		宮城県	東京都	愛知県	京都府	徳島県
	5位	愛知県	福岡県	埼玉県	秋田県	東京都
		和歌山県	岐阜県	山形県	北海道	宮城県
		秋田県	栃木県	山口県	岐阜県	北海道
		静岡県	京都府	岐阜県	栃木県	富山県
大分県 （日出町） 第21回 （昭和41年度）	1位	秋田県	愛知県	徳島県	大阪府	岐阜県
	2位	東京都	静岡県	愛知県	東京都	北海道
	3位	福井県	埼玉県	北海道	山口県	石川県
		和歌山県	山口県	埼玉県	大分県	東京都
	5位	三重県	大分県	京都府	鹿児島県	秋田県
		徳島県	東京都	広島県	岩手県	兵庫県
		北海道	神奈川県	兵庫県	愛媛県	山口県
		大分県	京都府	青森県	富山県	大阪府
埼玉県 （寄居町・花園町） 第22回 （昭和42年度）	1位	東京都	富山県	埼玉県	大阪府	埼玉県
	2位	千葉県	大阪府	京都府	香川県	兵庫県
	3位	埼玉県	埼玉県	愛知県	岩手県	北海道
		愛知県	高知県	北海道	栃木県	広島県
	5位	岩手県	静岡県	徳島県	神奈川県	富山県
		群馬県	大分県	兵庫県	群馬県	秋田県
		徳島県	北海道	秋田県	山口県	岐阜県
		大阪府	山口県	青森県	埼玉県	福岡県
福井県 （福井市） 第23回 （昭和43年度）	1位	愛知県	富山県	愛知県	大阪府	東京都
	2位	千葉県	東京都	福岡県	東京都	埼玉県
	3位	北海道	岩手県	神奈川県	栃木県	広島県
		福岡県	兵庫県	高知県	広島県	北海道
	5位	京都府	栃木県	京都府	愛知県	福岡県
		愛媛県	高知県	広島県	富山県	兵庫県
		山口県	静岡県	岩手県	岩手県	岐阜県
		福井県	大阪府	福井県	香川県	秋田県
長崎県 （佐世保市） 第24回 （昭和44年度）	1位	東京都	東京都	京都府	大阪府	埼玉県
	2位	京都府	静岡県	広島県	栃木県	岐阜県
	3位	千葉県	山形県	大阪府	山口県	広島県
		愛知県	京都府	長崎県	岩手県	東京都
	5位	山口県	富山県	愛知県	福井県	福岡県
		大阪府	香川県	福岡県	静岡県	北海道
		徳島県	山口県	秋田県	北海道	兵庫県
		長崎県	福岡県	岩手県	徳島県	秋田県
岩手県 （花巻市） 第25回 （昭和45年度）	1位	東京都	東京都	愛知県	秋田県	岩手県
	2位	千葉県	大阪府	大阪府	岩手県	広島県
	3位	愛知県	岩手県	神奈川県	栃木県	埼玉県
		静岡県	愛知県	岩手県	大阪府	岐阜県
	5位	山口県	兵庫県	広島県	神奈川県	北海道
		大阪府	宮城県	青森県	青森県	新潟県
		青森県	山口県	香川県	鹿児島県	大分県
		京都府	千葉県	ー	山口県	ー
和歌山県 （白浜町） 第26回 （昭和46年度）	1位	東京都	東京都	埼玉県	青森県	広島県
	2位	千葉県	岐阜県	京都府	大阪府	愛知県
	3位	福岡県	青森県	大阪府	岡山県	神奈川県
		静岡県	栃木県	鹿児島県	愛媛県	大阪府
	5位	徳島県	福島県	愛知県	鹿児島県	北海道
		大阪府	岩手県	山口県	愛知県	宮城県
		岩手県	神奈川県	神奈川県	富山県	愛媛県
		宮城県	大阪府	青森県	東京都	熊本県
鹿児島県 （指宿市） 第27回 （昭和47年度）	1位	静岡県	愛知県	東京都	青森県	岩手県
	2位	東京都	秋田県	京都府	大阪府	大阪府
	3位	千葉県	富山県	大阪府	東京都	鹿児島県
		岡山県	大阪府	鹿児島県	鹿児島県	北海道
	5位	岩手県	東京都	愛知県	福井県	千葉県
		鹿児島県	岡山県	青森県	栃木県	熊本県
		大阪府	鹿児島県	三重県	愛媛県	福井県
		福岡県	愛媛県	岐阜県	大分県	愛知県
千葉県 （銚子市） 第28回 （昭和48年度）	1位	静岡県	千葉県	大阪府	栃木県	岩手県
	2位	東京都	東京都	埼玉県	高知県	北海道
	3位	岡山県	神奈川県	千葉県	青森県	岐阜県
		千葉県	宮城県	青森県	山形県	千葉県
	5位	茨城県	山口県	徳島県	神奈川県	兵庫県
		北海道	愛媛県	福岡県	京都府	広島県
		徳島県	福井県	北海道	千葉県	熊本県
		埼玉県	青森県	岡山県	愛媛県	福井県

開催地・年度	順位	一般男子の部	一般女子の部	高校男子の部	高校女子の部	軟式一般男女の部
茨城県 (鉾田市) 第29回 (昭和49年度)	1位	大阪府	栃木県	愛知県	青森県	北海道
	2位	和歌山県	東京都	大阪府	京都府	徳島県
	3位	東京都	岩手県	埼玉県	栃木県	広島県
		静岡県	鹿児島県	徳島県	新潟県	兵庫県
	5位	埼玉県	愛知県	神奈川県	愛知県	岩手県
		愛媛県	神奈川県	広島県	香川県	福岡県
		茨城県	岡山県	青森県	茨城県	愛知県
		京都府	福井県	茨城県	山口県	神奈川県

開催地・年度	順位	成年男子の部	成年女子の部	少年男子の部	少年女子の部
三重県 (桑名市) 第30回 (昭和50年度)	1位	大阪府	栃木県	埼玉県	福岡県
	2位	静岡県	三重県	京都府	熊本県
	3位	東京都	東京都	茨城県	青森県
		和歌山県	大阪府	大阪府	三重県
	5位	青森県	岩手県	神奈川県	栃木県
		三重県	埼玉県	静岡県	京都府
		徳島県	福井県	愛知県	兵庫県
		千葉県	愛知県	広島県	愛媛県
佐賀県 (嬉野市) 第31回 (昭和51年度)	1位	千葉県	青森県	大阪府	青森県
	2位	東京都	神奈川県	京都府	福岡県
	3位	大阪府	東京都	新潟県	栃木県
		北海道	三重県	茨城県	愛媛県
	5位	青森県	栃木県	青森県	神奈川県
		宮城県	大阪府	東京都	兵庫県
		長野県	佐賀県	岡山県	熊本県
		静岡県	宮崎県	鹿児島県	宮崎県
青森県 (青森市) 第32回 (昭和52年度)	1位	青森県	東京都	埼玉県	宮崎県
	2位	大阪府	青森県	東京都	岩手県
	3位	千葉県	岩手県	青森県	愛知県
		東京都	岡山県	大阪府	福岡県
	5位	神奈川県	北海道	岩手県	青森県
		北海道	千葉県	福井県	栃木県
		福岡県	三重県	愛知県	京都府
		広島県	大阪府	京都府	山口県
長野県 (須坂市) 第33回 (昭和53年度)	1位	大阪府	東京都	埼玉県	兵庫県
	2位	愛知県	岩手県	青森県	大阪府
	3位	千葉県	静岡県	京都府	長野県
		福岡県	三重県	岡山県	栃木県
	5位	北海道	北海道	秋田県	青森県
		青森県	青森県	栃木県	東京都
		東京都	長野県	山口県	福岡県
		徳島県	福岡県	福岡県	宮崎県
宮崎県 (串間市) 第34回 (昭和54年度)	1位	東京都	東京都	埼玉県	栃木県
	2位	静岡県	神奈川県	京都府	福岡県
	3位	千葉県	青森県	青森県	青森県
		福井県	栃木県	神奈川県	神奈川県
	5位	青森県	北海道	秋田県	東京都
		京都府	岩手県	愛知県	長野県
		福岡県	山口県	愛媛県	愛知県
		宮崎県	宮崎県	宮崎県	兵庫県
栃木県 (足利市) 第35回 (昭和55年度)	1位	神奈川県	東京都	京都府	福岡県
	2位	東京都	神奈川県	東京都	青森県
	3位	栃木県	大阪府	埼玉県	栃木県
		大阪府	青森県	神奈川県	大阪府
	5位	静岡県	北海道	青森県	東京都
		和歌山県	長野県	栃木県	神奈川県
		岡山県	福岡県	愛媛県	愛知県
		福岡県	宮崎県	宮崎県	三重県
滋賀県 (草津市) 第36回 (昭和56年度)	1位	静岡県	神奈川県	京都府	長野県
	2位	東京都	宮崎県	東京都	神奈川県
	3位	神奈川県	福岡県	鹿児島県	三重県
		岡山県	千葉県	埼玉県	宮城県
	5位	千葉県	兵庫県	愛知県	福岡県
		徳島県	青森県	福岡県	栃木県
		広島県	北海道	愛媛県	広島県
		福岡県	静岡県	神奈川県	石川県
島根県 (平田市) 第37回 (昭和57年度)	1位	神奈川県	神奈川県	栃木県	神奈川県
	2位	静岡県	千葉県	東京都	福岡県
	3位	東京都	東京都	埼玉県	青森県
		大阪府	栃木県	鹿児島県	群馬県
	5位	福岡県	青森県	京都府	兵庫県
		愛知県	静岡県	徳島県	山口県
		青森県	長野県	島根県	石川県
		徳島県	兵庫県	福岡県	北海道
群馬県 (中之条町) 第38回 (昭和58年度)	1位	千葉県	神奈川県	青森県	神奈川県
	2位	和歌山県	静岡県	埼玉県	群馬県
	3位	京都府	東京都	京都府	青森県
		埼玉県	栃木県	島根県	福岡県
	5位	静岡県	埼玉県	愛媛県	宮崎県
		福岡県	福岡県	福岡県	山形県
		徳島県	山口県	愛知県	奈良県
		山口県	千葉県	神奈川県	東京都

開催地・年度	順位	成年男子の部	成年女子の部	少年男子の部	少年女子の部
奈良県 （吉野町） 第39回 （昭和59年度）	１位	神奈川県	東京都	埼玉県	大阪府
	２位	埼玉県	千葉県	神奈川県	神奈川県
	３位	千葉県	青森県	青森県	北海道
		京都府	福岡県	愛知県	青森県
	５位	奈良県	静岡県	山口県	熊本県
		静岡県	三重県	京都府	鹿児島県
		福井県	栃木県	奈良県	福岡県
		青森県	奈良県	徳島県	奈良県
鳥取県 （青谷町） 第40回 （昭和60年度）	１位	千葉県	千葉県	愛知県	大阪府
	２位	東京都	奈良県	埼玉県	神奈川県
	３位	和歌山県	福岡県	神奈川県	鳥取県
		北海道	兵庫県	東京都	東京都
	５位	鳥取県	東京都	福岡県	鹿児島県
		京都府	長野県	兵庫県	佐賀県
		奈良県	青森県	京都府	青森県
		埼玉県	愛知県	徳島県	岡山県
山梨県 （大月市・上野原市） 第41回 （昭和61年度）	１位	埼玉県	神奈川県	福岡県	大阪府
	２位	千葉県	山梨県	埼玉県	神奈川県
	３位	神奈川県	千葉県	高知県	山梨県
		東京都	青森県	京都府	岐阜県
	５位	奈良県	和歌山県	青森県	青森県
		茨城県	長野県	東京都	岡山県
		和歌山県	富山県	鹿児島県	東京都
		山梨県	栃木県	山梨県	佐賀県
沖縄県 （石川市） 第42回 （昭和62年度）	１位	東京都	神奈川県	埼玉県	大阪府
	２位	神奈川県	京都府	京都府	神奈川県
	３位	静岡県	東京都	大阪府	山梨県
		沖縄県	静岡県	宮崎県	岐阜県
	５位	広島県	岐阜県	福岡県	千葉県
		滋賀県	福岡県	沖縄県	高知県
		奈良県	熊本県	高知県	青森県
		北海道	沖縄県	愛知県	沖縄県

開催地・年度	順位	成年男子1部	成年男子2部	成年女子1部	成年女子2部	少年男子	少年女子
京都府 （宮津市） 第43回 （昭和63年度）	１位	千葉県	神奈川県	京都府	埼玉県	埼玉県	神奈川県
	２位	静岡県	京都府	神奈川県	京都府	大阪府	大阪府
	３位	神奈川県	和歌山県	熊本県	青森県	宮崎県	京都府
		東京都	青森県	千葉県	山口県	京都府	東京都
	５位	滋賀県	福井県	大阪府	奈良県	北海道	千葉県
		和歌山県	香川県	宮城県	徳島県	愛知県	山梨県
		京都府	岐阜県	山梨県	大分県	東京都	熊本県
		愛知県	千葉県	青森県	愛知県	静岡県	高知県
北海道 （美唄市） 第44回 （平成元年度）	１位	神奈川県	北海道	神奈川県	北海道	大阪府	神奈川県
	２位	埼玉県	大分県	千葉県	京都府	埼玉県	東京都
	３位	東京都	神奈川県	大阪府	東京都	北海道	福岡県
		和歌山県	静岡県	山梨県	愛知県	京都府	北海道
	５位	広島県	山口県	岐阜県	栃木県	福岡県	熊本県
		滋賀県	岩手県	青森県	青森県	愛知県	京都府
		愛知県	福井県	愛知県	福井県	宮崎県	青森県
		沖縄県	京都府	北海道	神奈川県	東京都	岐阜県
福岡県 （柳川市） 第45回 （平成２年度）	１位	神奈川県	福岡県	神奈川県	東京都	大阪府	神奈川県
	２位	大阪府	滋賀県	大阪府	岐阜県	愛知県	熊本県
	３位	福岡県	静岡県	福岡県	石川県	福岡県	岡山県
		山口県	東京都	岐阜県	福岡県	埼玉県	福岡県
	５位	静岡県	岩手県	岡山県	青森県	山形県	高知県
		滋賀県	神奈川県	東京都	広島県	京都府	東京都
		千葉県	石川県	山梨県	和歌山県	栃木県	大阪府
		新潟県	大分県	千葉県	香川県	東京都	青森県
石川県 （七塚町） 第46回 （平成３年度）	１位	千葉県	神奈川県	神奈川県	千葉県	埼玉県	宮城県
	２位	神奈川県	奈良県	大阪府	熊本県	京都府	青森県
	３位	大阪府	福岡県	山梨県	石川県	大阪府	熊本県
		奈良県	石川県	東京都	大阪府	愛知県	高知県
	５位	岡山県	高知県	滋賀県	東京都	宮崎県	神奈川県
		広島県	福島県	岐阜県	埼玉県	山形県	福岡県
		沖縄県	岡山県	福岡県	岡山県	福岡県	岡山県
		新潟県	静岡県	千葉県	青森県	東京都	栃木県
山形県 （河北町・長井市） 第47回 （平成４年度）	１位	埼玉県	山形県	滋賀県	埼玉県	愛知県	青森県
	２位	福岡県	広島県	神奈川県	熊本県	埼玉県	宮城県
	３位	神奈川県	兵庫県	山形県	山形県	大阪府	香川県
		東京都	東京都	福岡県	和歌山県	神奈川県	栃木県
	５位	千葉県	熊本県	青森県	富山県	高知県	神奈川県
		山形県	北海道	東京都	秋田県	青森県	熊本県
		大阪府	山梨県	北海道	香川県	東京都	山形県
		香川県	静岡県	岐阜県	静岡県	山形県	東京都
香川県 （多度津町・高瀬町） 第48回 （平成５年度）	１位	愛知県	香川県	大阪府	香川県	埼玉県	香川県
	２位	東京都	徳島県	滋賀県	愛知県	愛知県	岐阜県
	３位	大阪府	千葉県	東京都	広島県	香川県	愛知県
		千葉県	三重県	岐阜県	神奈川県	大阪府	宮城県
	５位	埼玉県	和歌山県	愛知県	大阪府	京都府	大阪府
		神奈川県	福岡県	福岡県	熊本県	青森県	北海道
		香川県	青森県	香川県	徳島県	高知県	山形県
		福岡県	新潟県	神奈川県	大分県	神奈川県	東京都

開催地・年度	順位	成年男子1部	成年男子2部	成年女子1部	成年女子2部	少年男子	少年女子
愛知県 （名古屋市） 第49回 （平成６年度）	１位	埼玉県	大阪府	大阪府	愛知県	大阪府	岐阜県
	２位	滋賀県	愛知県	高知県	富山県	京都府	宮城県
	３位	千葉県	岡山県	愛知県	福岡県	埼玉県	愛知県
		大阪府	広島県	神奈川県	神奈川県	愛知県	神奈川県
	５位	愛知県	富山県	青森県	岡山県	高知県	高知県
		和歌山県	千葉県	北海道	北海道	東京都	東京都
		神奈川県	三重県	岐阜県	福島県	栃木県	福岡県
		静岡県	東京都	滋賀県	京都府	神奈川県	青森県
福島県 （須賀川市） 第50回 （平成７年度）	１位	埼玉県	千葉県	滋賀県	福島県	愛知県	大阪府
	２位	神奈川県	福島県	大阪府	神奈川県	高知県	宮城県
	３位	愛知県	熊本県	宮城県	愛知県	神奈川県	埼玉県
		滋賀県	京都府	千葉県	福岡県	福島県	愛知県
	５位	京都府	岐阜県	岐阜県	青森県	広島県	青森県
		福島県	宮城県	北海道	滋賀県	徳島県	福島県
		高知県	岡山県	愛知県	千葉県	埼玉県	東京都
		広島県	徳島県	高知県	大阪府	島根県	高知県

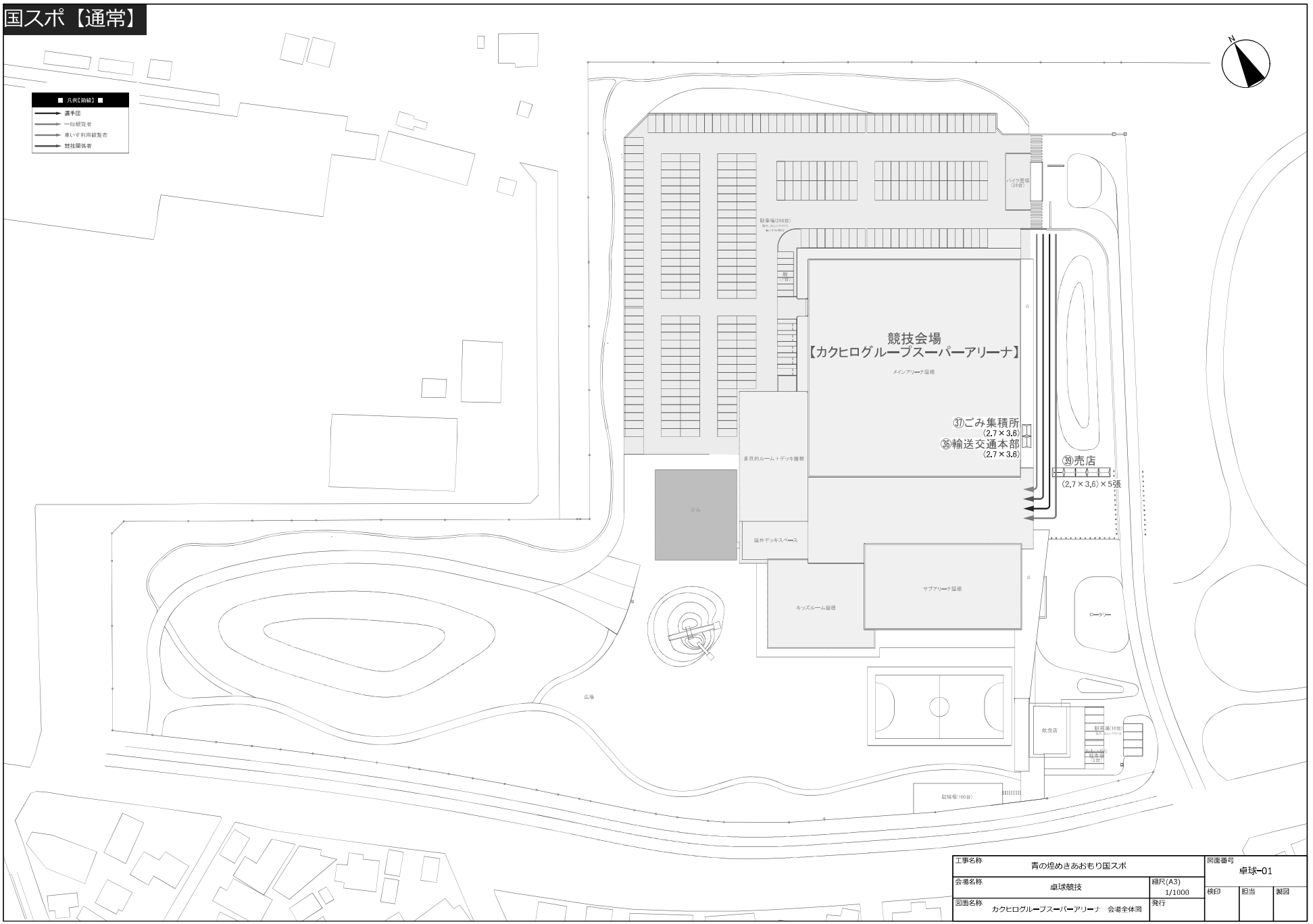
開催地・年度	順位	成年男子の部	成年女子の部	少年男子の部	少年女子の部
広島県 （大竹市） 第51回 （平成８年度）	１位	京都府	神奈川県	京都府	大阪府
	２位	埼玉県	愛知県	大阪府	宮城県
	３位	滋賀県	東京都	愛知県	神奈川県
		千葉県	千葉県	広島県	埼玉県
	５位	福島県	大阪府	東京都	岐阜県
		広島県	広島県	神奈川県	福島県
		大阪府	宮城県	福島県	青森県
		神奈川県	京都府	高知県	高知県
大阪府 （池田市） 第52回 （平成９年度）	１位	東京都	大阪府	青森県	大阪府
	２位	滋賀県	宮城県	大阪府	岐阜県
	３位	神奈川県	神奈川県	京都府	神奈川県
		埼玉県	愛知県	広島県	岡山県
	５位	京都府	京都府	神奈川県	福島県
		和歌山県	奈良県	埼玉県	青森県
		青森県	滋賀県	兵庫県	埼玉県
		大阪府	青森県	東京都	福岡県
神奈川県 （平塚市・泰野市） 第53回 （平成10年度）	１位	滋賀県	京都府	青森県	大阪府
	２位	神奈川県	青森県	大阪府	岐阜県
	３位	大阪府	神奈川県	埼玉県	神奈川県
		和歌山県	愛知県	長野県	熊本県
	５位	東京都	東京都	熊本県	北海道
		京都府	愛媛県	宮城県	岡山県
		埼玉県	福島県	神奈川県	鹿児島県
		熊本県	埼玉県	京都府	埼玉県
熊本県 （嘉島町） 第54回 （平成11年度）	１位	和歌山県	京都府	青森県	宮城県
	２位	愛知県	熊本県	大阪府	青森県
	３位	東京都	宮城県	神奈川県	大阪府
		熊本県	青森県	熊本県	熊本県
	５位	神奈川県	埼玉県	京都府	高知県
		広島県	福島県	岐阜県	岐阜県
		埼玉県	滋賀県	埼玉県	埼玉県
		京都府	愛媛県	栃木県	神奈川県
富山県 （福光町・福岡町） 第55回 （平成12年度）	１位	東京都	熊本県	青森県	宮城県
	２位	青森県	神奈川県	栃木県	青森県
	３位	和歌山県	和歌山県	石川県	大阪府
		京都府	岐阜県	高知県	岐阜県
	５位	熊本県	東京都	愛知県	高知県
		埼玉県	大阪府	富山県	神奈川県
		大阪府	埼玉県	宮城県	熊本県
		富山県	富山県	京都府	富山県
宮城県 （若柳町・中田町） 第56回 （平成13年度）	１位	京都府	宮城県	青森県	宮城県
	２位	熊本県	神奈川県	宮城県	大阪府
	３位	青森県	熊本県	京都府	岐阜県
		東京都	東京都	栃木県	長野県
	５位	宮城県	埼玉県	愛知県	京都府
		和歌山県	和歌山県	神奈川県	高知県
		神奈川県	岐阜県	高知県	静岡県
		高知県	静岡県	岡山県	青森県
高知県 （高知市） 第57回 （平成14年度）	１位	東京都	埼玉県	青森県	宮城県
	２位	京都府	熊本県	宮城県	青森県
	３位	宮城県	宮城県	愛知県	大阪府
		神奈川県	神奈川県	京都府	新潟県
	５位	和歌山県	広島県	宮崎県	長野県
		高知県	滋賀県	埼玉県	岡山県
		山形県	青森県	神奈川県	静岡県
		青森県	大阪府	東京都	高知県
静岡県 （湖西市） 第58回 （平成15年度）	１位	青森県	静岡県	青森県	大阪府
	２位	東京都	宮城県	京都府	宮城県
	３位	愛知県	大阪府	岡山県	岐阜県
		静岡県	青森県	東京都	青森県
	５位	岡山県	埼玉県	愛知県	北海道
		茨城県	広島県	大阪府	東京都
		神奈川県	岐阜県	静岡県	静岡県
		京都府	福岡県	宮城県	熊本県

開催地・年度	順位	成年男子の部	成年女子の部	少年男子の部	少年女子の部
埼玉県 （春日部市） 第59回 （平成16年度）	1位	神奈川県	埼玉県	青森県	青森県
	2位	東京都	宮城県	宮城県	宮城県
	3位	埼玉県	青森県	埼玉県	岡山県
		大阪府	広島県	岡山県	高知県
	5位	青森県	静岡県	兵庫県	大阪府
		千葉県	茨城県	愛知県	神奈川県
		兵庫県	神奈川県	新潟県	兵庫県
		京都府	岐阜県	京都府	三重県
岡山県 （総社市） 第60回 （平成17年度）	1位	東京都	岐阜県	青森県	青森県
	2位	愛知県	広島県	宮城県	宮城県
	3位	神奈川県	茨城県	愛知県	神奈川県
		島根県	兵庫県	岡山県	岡山県
	5位	宮城県	岡山県	京都府	大阪府
		岡山県	大阪府	埼玉県	熊本県
		青森県	静岡県	千葉県	三重県
		山口県	神奈川県	大阪府	兵庫県
兵庫県 （豊岡市） 第61回 （平成18年度）	1位	埼玉県	岐阜県	青森県	青森県
	2位	京都府	熊本県	京都府	宮城県
	3位	兵庫県	兵庫県	埼玉県	神奈川県
		神奈川県	茨城県	大分県	大阪府
	5位	東京都	神奈川県	高知県	愛知県
		宮崎県	北海道	石川県	高知県
		宮城県	長野県	静岡県	岡山県
		愛知県	広島県	宮城県	宮崎県
秋田県 （鹿角市） 第62回 （平成19年度）	1位	埼玉県	静岡県	青森県	大阪府
	2位	東京都	岐阜県	京都府	青森県
	3位	青森県	茨城県	石川県	岐阜県
		秋田県	神奈川県	島根県	神奈川県
	5位	宮城県	広島県	山形県	石川県
		和歌山県	宮崎県	愛知県	北海道
		神奈川県	千葉県	大分県	香川県
		京都府	熊本県	福岡県	宮城県
大分県 （杵築市） 第63回 （平成20年度）	1位	青森県	茨城県	青森県	大阪府
	2位	京都府	岐阜県	大分県	青森県
	3位	静岡県	静岡県	福岡県	宮城県
		東京都	宮城県	京都府	神奈川県
	5位	埼玉県	千葉県	岐阜県	東京都
		大阪府	熊本県	兵庫県	埼玉県
		大分県	宮崎県	石川県	新潟県
		宮城県	広島県	埼玉県	福岡県
新潟県 （柏崎市） 第64回 （平成21年度）	1位	青森県	茨城県	青森県	大阪府
	2位	京都府	宮城県	福岡県	高知県
	3位	山口県	神奈川県	石川県	新潟県
		神奈川県	静岡県	京都府	福岡県
	5位	北海道	大阪府	岐阜県	青森県
		大分県	愛知県	愛知県	石川県
		静岡県	奈良県	高知県	岐阜県
		宮城県	広島県	大分県	熊本県
千葉県 （旭市） 第65回 （平成22年度）	1位	青森県	広島県	山口県	高知県
	2位	山口県	宮城県	愛知県	青森県
	3位	埼玉県	青森県	石川県	新潟県
		京都府	神奈川県	福岡県	大阪府
	5位	長野県	茨城県	青森県	静岡県
		広島県	千葉県	岡山県	山口県
		東京都	北海道	京都府	岡山県
		千葉県	福岡県	北海道	石川県
山口県 （萩市・柳井市） 第66回 （平成23年度）	1位	山口県	茨城県	青森県	大阪府
	2位	青森県	広島県	愛知県	高知県
	3位	埼玉県	東京都	石川県	岡山県
		愛媛県	岐阜県	山口県	山口県
	5位	岡山県	高知県	大分県	埼玉県
		広島県	千葉県	福岡県	岐阜県
		愛知県	宮崎県	高知県	神奈川県
		東京都	山口県	京都府	新潟県
岐阜県 （岐阜市） 第67回 （平成24年度）	1位	東京都	岐阜県	青森県	青森県
	2位	青森県	東京都	山口県	高知県
	3位	京都府	茨城県	岐阜県	福岡県
		岐阜県	広島県	愛知県	岐阜県
	5位	山口県	静岡県	福岡県	埼玉県
		兵庫県	岡山県	石川県	新潟県
		大分県	宮城県	長野県	山口県
		愛知県	神奈川県	高知県	神奈川県
東京都 （府中市） 第68回 （平成25年度）	1位	東京都	山口県	青森県	岐阜県
	2位	青森県	東京都	愛知県	埼玉県
	3位	宮城県	青森県	岐阜県	青森県
		山口県	広島県	山口県	山口県
	5位	長崎県	岐阜県	石川県	大阪府
		愛知県	茨城県	福岡県	神奈川県
		北海道	静岡県	高知県	福岡県
		神奈川県	大阪府	宮崎県	高知県

開催地・年度	順位	成年男子の部	成年女子の部	少年男子の部	少年女子の部
長崎県 （大村市） 第69回 （平成26年度）	1位	愛知県	長崎県	青森県	福岡県
	2位	青森県	広島県	山口県	埼玉県
	3位	東京都	茨城県	岐阜県	岐阜県
		山口県	東京都	愛知県	大阪府
	5位	岩手県	山口県	高知県	岩手県
		福岡県	青森県	東京都	山口県
		北海道	新潟県	長崎県	岡山県
		長崎県	岐阜県	石川県	北海道
和歌山県 （白浜町） 第70回 （平成27年度）	1位	東京都	神奈川県	青森県	大阪府
	2位	山口県	茨城県	山口県	岡山県
	3位	埼玉県	埼玉県	石川県	北海道
		愛知県	広島県	愛知県	東京都
	5位	茨城県	東京都	岡山県	埼玉県
		長野県	静岡県	高知県	福井県
		北海道	岐阜県	長崎県	愛知県
		和歌山県	愛媛県	宮崎県	高知県
岩手県 （奥州市） 第71回 （平成28年度）	1位	愛知県	広島県	愛知県	大阪府
	2位	山口県	青森県	宮崎県	東京都
	3位	京都府	静岡県	山口県	神奈川県
		和歌山県	岡山県	石川県	岡山県
	5位	茨城県	福岡県	福岡県	福岡県
		長野県	京都府	東京都	埼玉県
		埼玉県	東京都	大阪府	高知県
		神奈川県	北海道	高知県	福井県
愛媛県 （宇和島市） 第72回 （平成29年度）	1位	和歌山県	茨城県	愛知県	大阪府
	2位	長野県	広島県	静岡県	岡山県
	3位	山口県	愛媛県	山口県	神奈川県
		愛知県	東京都	石川県	福岡県
	5位	青森県	兵庫県	高知県	高知県
		福岡県	岐阜県	福岡県	埼玉県
		鹿児島県	京都府	大阪府	福井県
		東京都	埼玉県	東京都	愛知県
福井県 （敦賀市） 第73回 （平成30年度）	1位	山口県	福井県	愛知県	愛知県
	2位	東京都	広島県	山口県	石川県
	3位	和歌山県	岡山県	福岡県	大阪府
		三重県	東京都	京都府	福井県
	5位	福岡県	福岡県	大分県	高知県
		石川県	兵庫県	石川県	埼玉県
		神奈川県	熊本県	高知県	福岡県
		大分県	静岡県	東京都	岐阜県
茨城県 （日立市） 第74回 （令和元年度）	1位	山口県	岐阜県	山口県	大阪府
	2位	愛知県	広島県	愛知県	茨城県
	3位	高知県	岡山県	福岡県	石川県
		和歌山県	東京都	高知県	埼玉県
	5位	新潟県	千葉県	石川県	岡山県
		愛媛県	福岡県	大分県	兵庫県
		三重県	高知県	東京都	高知県
		茨城県	静岡県	福井県	広島県
鹿児島県 （鹿児島市） 第75回 （令和２年度）	中止				
三重県 （伊勢市） 第76回 （令和３年度）	中止				
栃木県 （鹿沼市） 第77回 （令和４年度）	1位	愛知県	栃木県	愛知県	大阪府
	2位	山口県	広島県	山口県	石川県
	3位	高知県	愛媛県	島根県	高知県
		鹿児島県	鹿児島県	高知県	福岡県
	5位	広島県	愛知県	大阪府	岡山県
		三重県	神奈川県	静岡県	広島県
		茨城県	青森県	福岡県	愛知県
		東京都	石川県	大分県	三重県
鹿児島県 （鹿児島市） 特別国体 （令和５年度）	1位	鹿児島県	岐阜県	山口県	大阪府
	2位	和歌山県	東京都	愛知県	石川県
	3位	高知県	佐賀県	兵庫県	東京都
		佐賀県	福井県	石川県	栃木県
	5位	福井県	広島県	大分県	岡山県
		広島県	鹿児島県	島根県	兵庫県
		愛媛県	神奈川県	大阪府	愛知県
		兵庫県	静岡県	福岡県	広島県

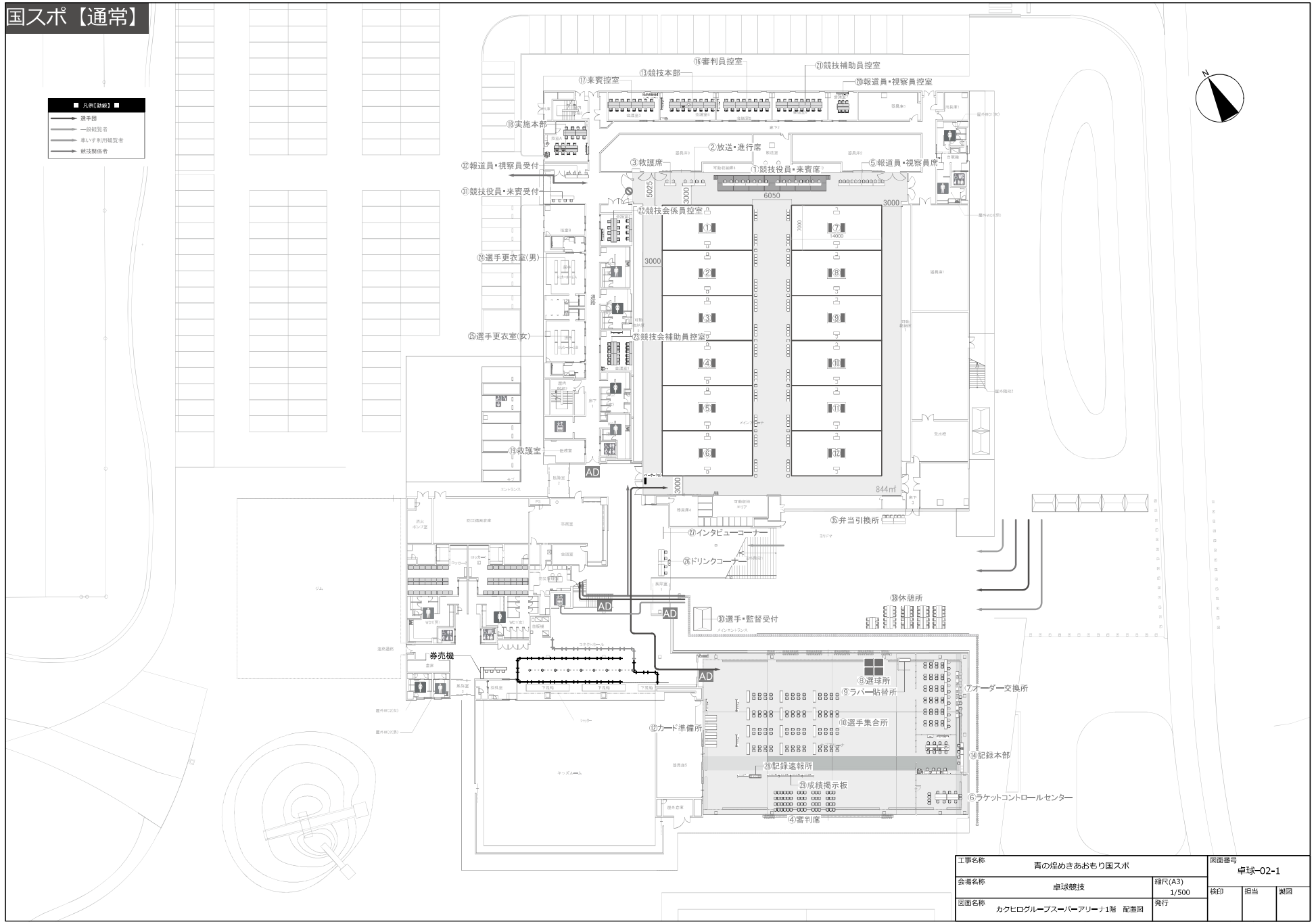
開催地・年度	順位	成年男子の部	成年女子の部	少年男子の部	少年女子の部
佐賀県 （基山町） 第78回 （令和６年度）	１位	佐賀県	茨城県	愛知県	大阪府
	２位	東京都	佐賀県	山口県	愛知県
	３位	愛知県	青森県	京都府	岡山県
		大分県	東京都	兵庫県	高知県
	５位	青森県	香川県	三重県	新潟県
		兵庫県	埼玉県	神奈川県	栃木県
		三重県	静岡県	島根県	島根県
		高知県	神奈川県	長野県	神奈川県
滋賀県 （野洲市） 第79回 （令和７年度）	１位	青森県	神奈川県	神奈川県	愛知県
	２位	和歌山県	滋賀県	岩手県	大阪府
	３位	佐賀県	静岡県	山口県	岡山県
		岐阜県	埼玉県	石川県	北海道
	５位	滋賀県	愛知県	愛知県	島根県
		三重県	兵庫県	兵庫県	神奈川県
		高知県	香川県	高知県	石川県
		兵庫県	愛媛県	新潟県	埼玉県
青森県 （青森市） 第80回 （令和８年度）	１位				
	２位				
	３位				
	５位				

国スポ【通常】



工事名称	青の煌めきあおもり国スポ		図面番号 卓球-01
会場名称	卓球競技	縮尺(A3) 1/1000	検印 / 担当 / 製図
図面名称	カクヒログループスーパーアリーナ　会場全体図	発行	

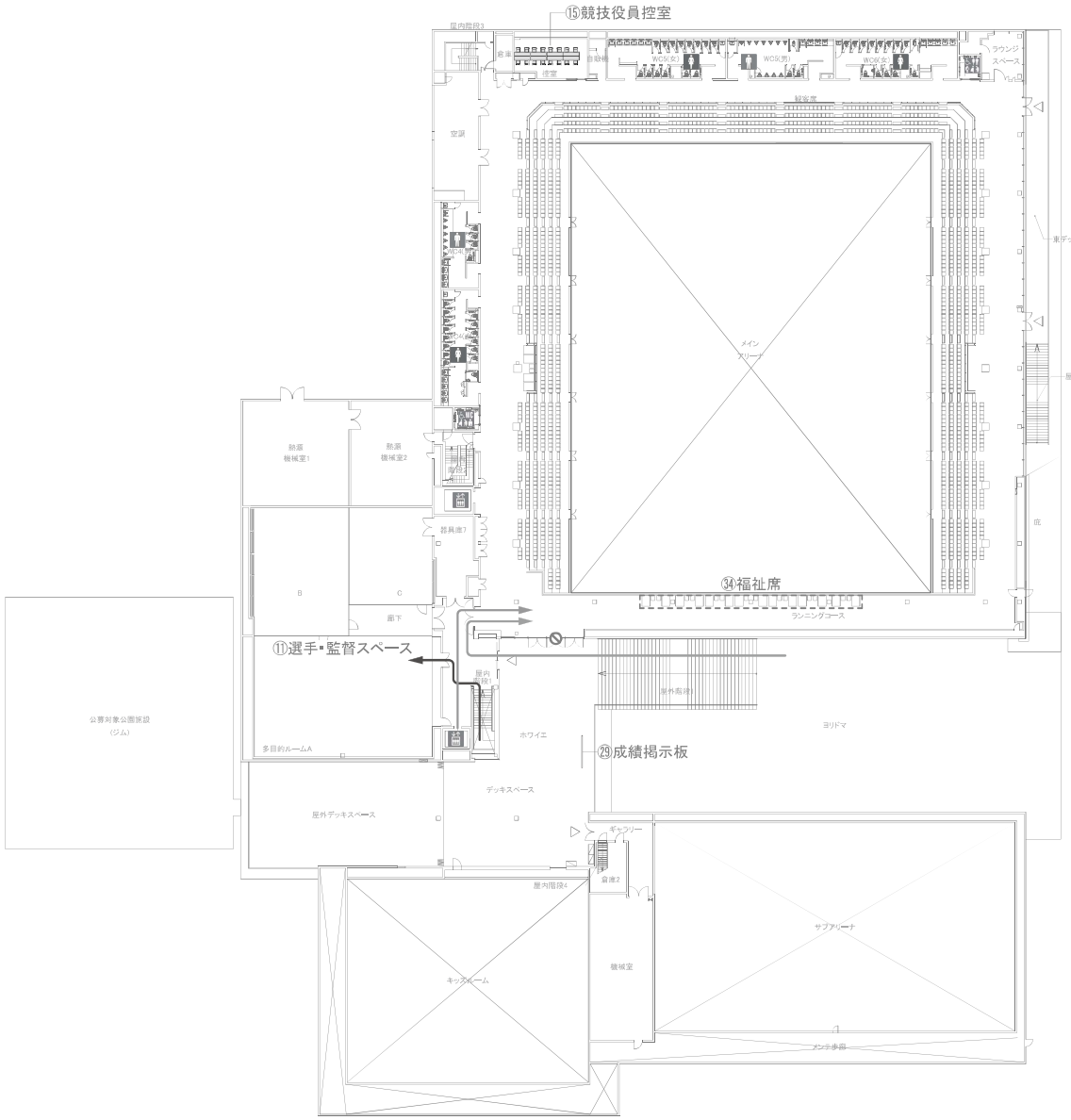
国スポ【通常】



工事名称	青の煌めきあおもり国スポ		図面番号 卓球-02-1
会場名称	卓球競技	縮尺(A3) 1/500	
図面名称	カクヒログループスーパーアリーナ1階　配置図	発行	検印 / 担当 / 製図

国スポ【通常】







工事名称	青の煌めきあおもり国スポ		図面番号 卓球-03
会場名称	卓球競技	縮尺(A3) 1/500	
図面名称	カクヒログループスーパーアリーナ2階　配置図	発行	検印 / 担当 / 製図

関係機関連絡先一覧

◆市実行委員会事務局

名称	所在地	電話番号
青の煌めきあおもり国スポ・障スポ青森市実行委員会	青森市柳川二丁目１番１号	０１７－７６１－４４６７

◆競技会場

名称	所在地	電話番号
カクヒログループスーパーアリーナ	青森市大字浦町字橋本３３５番地１７	０１７－７６２－７１０５

◆警察・消防署・保健所等

名称	所在地	電話番号
青森県警察　青森警察署	青森市安方二丁目１５番９号	０１７－７２３－０１１０
青森県地域広域事務組合消防本部	青森市長島二丁目１番１号	０１７－７７５－０８５３
青森市保健所	青森市佃二丁目１９番１３号	０１７－７６５－５２８０

〈実行委員会公式サイト〉

名称	URL	QRコード
青の煌めきあおもり国スポ・障スポ【青森市公式サイト】	https://www.aomoricity-kokuspo2026.jp/	

〈医療機関〉

名称	URL	QRコード
医療情報ネット（ナビイ）	https://www.iryou.teikyouseido.mhlw.go.jp/znk-web/juminkanja/S2300/initialize	

日本卓球協会 公認品目一覧

2026年8月25日　現在

NO.	公認指定業者名　※五十音順	基本ブランド	競技用服装（ユニフォーム）	ラケット	ラバー	テーブル	ボール		ネットアセンブリ		フロアマット	接着剤
							40mm	44mm（ラージ）	ネット	サポート		
1	アームストロング株式会社	Armstrong		○	○							
2	株式会社アンドロジャパン	andro	○	○	○		○					○
3	株式会社アンビション	WRM	○	○								
		銀河		○								
		OSP		○								
4	イルマソフト株式会社	DONIC	○	○								○
		akkadi		○								
		THE WORLD CONNECT	○	○			○	○				○
5	ウイングスパン合同会社	WINGSPAN		○								
6	株式会社エバニュー	EVERNEW				○						
7	株式会社小川長春館	ogawa				○						
8	小川貿易株式会社	BUZZING	○									
9	株式会社河合楽器製作所	KAWAI				○						
10	株式会社コクタク	KOKUTAKU		○	○							
11	株式会社三英	SAN-EI		○		○			○	○	○	
12	株式会社サンケイ技研	SANKEI			○							
13	株式会社サンラッキー	Sun Lucky		○	○							
14	株式会社ジュウイック	JUIC	○	○	○							
		Dr.Neubauer		○	○							
		cornilleau										
15	新サム株式会社	T.MIRACLE	○									
16	株式会社シンビジャパン	TIZOO	○									
17	スティガスポーツジャパン株式会社	STIGA	○	○	○							○
18	スマイル株式会社	Smile		○								
19	東リ株式会社	TOLI									○	
20	豊通ファッションエクスプレス株式会社	Admiral	○									
21	センターフィールド株式会社	RALLY ACE		○								
22	多衣夢工房	UeA	○									
23	株式会社ダーカー	DARKER	○	○								
24	株式会社卓永	XIOM	○	○	○	○						○
25	株式会社タマス	Butterfly	○	○	○	○	○	○	○	○		○
		フロイライン	○									
26	TIBHAR　JAPAN　株式会社	TIBHAR	○	○	○							○
27	デジックスアンドリンク株式会社	Killerspin	○									
		BMD-HS	○									
28	トーエイライト株式会社	TOEI LIGHT				○						
29	株式会社ドクターヤン	the egg	○	○								
		Blütenkirsche		○								
		Dr.YANG		○								
		SANWEI		○								
30	西尾レントオール株式会社	Sport Court									○	
31	日本卓球株式会社	Nittaku	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		双喜		○	○		○					
32	株式会社ASKスポーツ（旧　ASP）	NEW HEDGE	○	○								
33	株式会社VICTAS	TSP	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		VICTAS	○	○	○	○	○	○	○	○		○
34	有限会社プラウド	NevaGiva	※13	○	○							
		TMOUNT KTS		○								
35	ミズノ株式会社	Mizuno	○	○	○	○			○	○		
36	株式会社ミライジュ	RHIDA		○								
37	株式会社ムーブ	ムーブ	○									
38	株式会社　ヤサカ	YASAKA	○	○	○	○	○		○	○		○
39	株式会社ユニバー	UNIVER				○						
40	株式会社YOTSUMOTO	FINALWINNER	○									
41	ヨーラ・ジャパン　株式会社	JOOLA	○	○	○	※9	※7	※8	※10	※11		○
42	株式会社ラリーズ	Rallys	○	○								
43	株式会社ルーセント	LUCENT	○									
	ＬＡマイスター株式会社	Tinsue									※12	
	株式会社啓文社	Nozomi			※14							
		TIZOO	※15									
	アシックスジャパン株式会社	asics	※16									
	Wizard株式会社	Wizard		※1								

※7・8・9・10・11　ヨーラブランドのボール・テーブル・ネット・サポートの有効使用期限は2026年10月1日です。
※12　LAマイスターのTinsue ブランドのフロアマットの使用有効期限は2026年10月1日です。
※13　プラウドのNevaGivaブランドの競技用服装の使用有効期限は2027年3月末日です。
※14・15 啓文社のNozomiブランドのラバーの使用有効期限は2027年8月末日です。
※16　アシックスasicsブランドの競技用服装の使用有効期限は2027年10月15日です。
※1　WizardのWizardブランドのラケットの使用有効期限は2028年3月末日です。
★消耗品である「ボール・ラバー・競技用服装・ラケット」は公認期間を外れてから使用有効期間は2年間ですが、恒久品である「テーブル・ネット・サポート・フロアマット」はそれ以降でもJTTA主催の全国大会では使用できませんが、体育施設などで『規格品』としてそのまま使用可能です。

※　VICTASブランドのラバーは2020年9月より公認が継続されております。



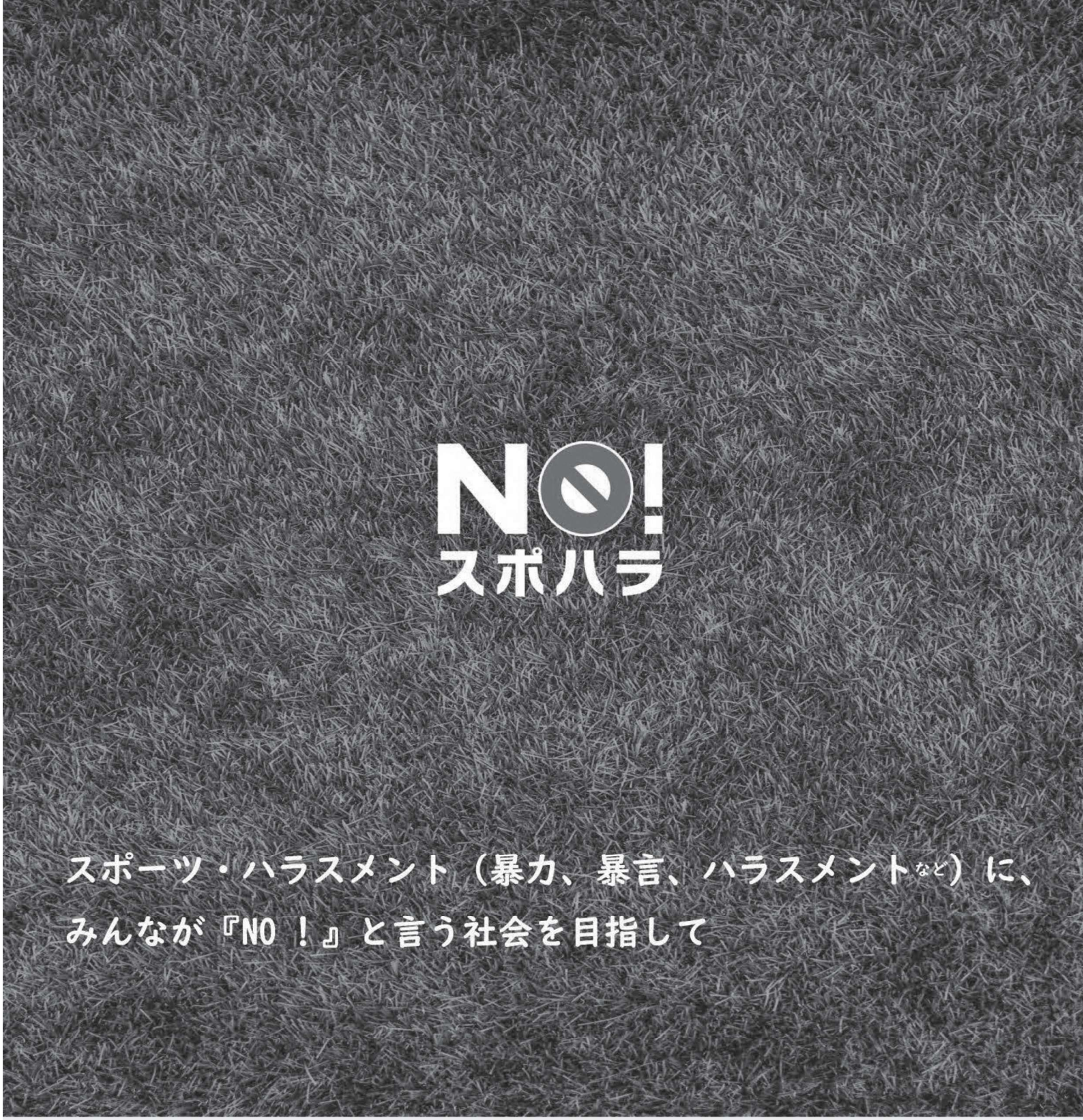
JSPO
Japan Sport Association

スポーツと、望む未来へ。

わたしたちは、JAPAN GAMES を応援しています。

Otsuka 大塚製薬　MIZUNO　三井住友海上 MS&AD INSURANCE GROUP

セレスポ　時事通信



スポーツ・ハラスメント（暴力、暴言、ハラスメントなど）に、
みんなが『NO ！』と言う社会を目指して

『スポハラ（スポーツ・ハラスメント）』とは？

「スポハラ（スポーツ・ハラスメント）」とは、スポーツの現場において、「暴力」、「暴言」、「ハラスメント」、「差別」など“安全・安心にスポーツを楽しむことを害する行為”のことです。

指導者と指導を受ける者との関係のみならず、スポーツの現場における関係者の誰によっても、また誰に対してであっても、スポハラは起こりえます。

JSPO Japan Sport Association
TEAM JAPAN Japanese Olympic Committee
JPSA Japanese Para Sports Association
UNIVAS

JSPO
Japan Sport Association

スポーツにおける暴力行為等相談窓口



どなたでもご利用可能！

お気軽にご相談ください

「スポハラ」をなくすためには

「いかなる理由でも、指導者・コーチによる不適切な行為はあってはならない」

とスポーツに携わるすべての人が思うことが重要です。

スポーツにおける暴力行為等根絶宣言・スポーツ・インテグリティ確保に関する協力覚書≫≫

JSPO
Japan Sport Association

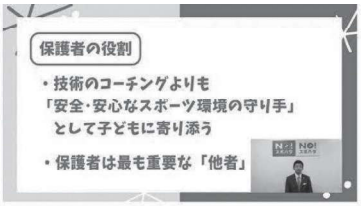
JSPO事業概要パンフレット「スポーツと、望む未来へ。」≫≫

『スポハラ』根絶に向けた取組み

JSPO
Japan Sport Association

① 教材・動画の公開

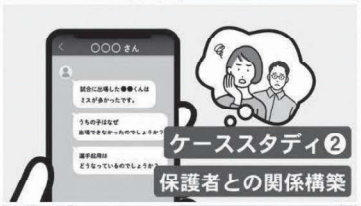


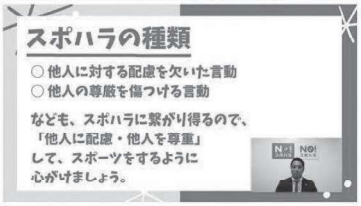


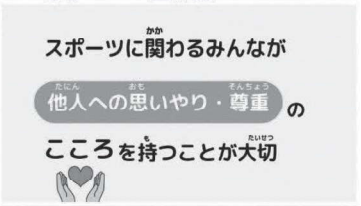


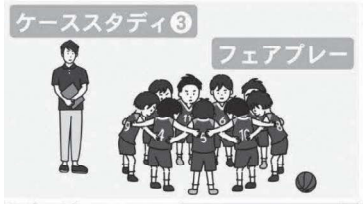


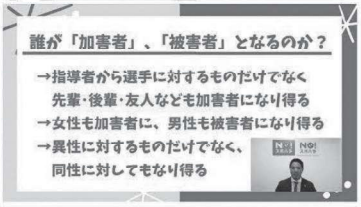






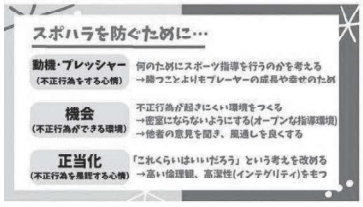




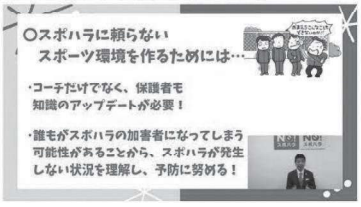














② 普及啓発活動の実施・イベントの開催























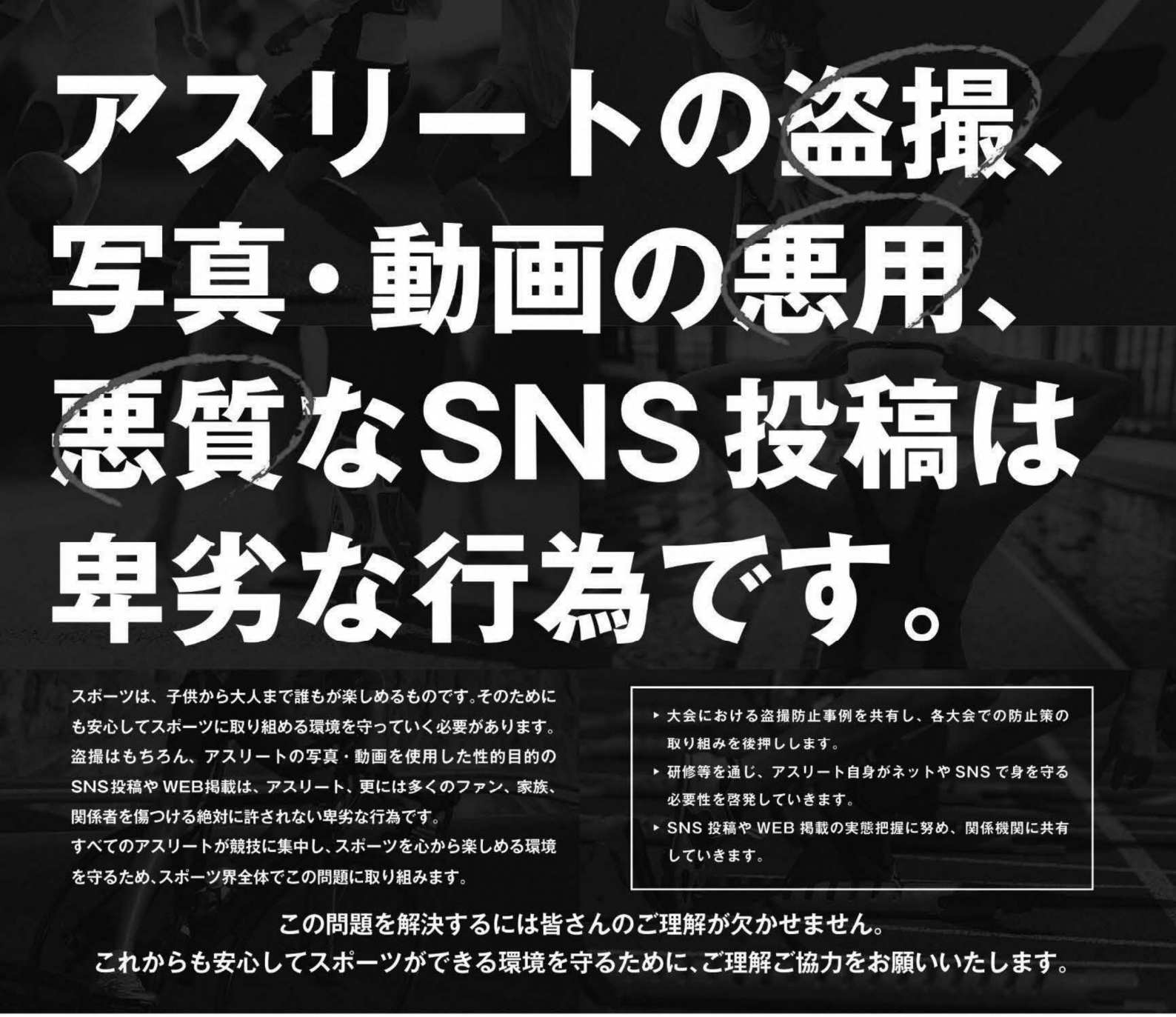












アスリートの盗撮、写真・動画の悪用、悪質なSNS投稿は卑劣な行為です。

スポーツは、子供から大人まで誰もが楽しめるものです。そのためにも安心してスポーツに取り組める環境を守っていく必要があります。
盗撮はもちろん、アスリートの写真・動画を使用した性的目的のSNS投稿やWEB掲載は、アスリート、更には多くのファン、家族、関係者を傷つける絶対に許されない卑劣な行為です。
すべてのアスリートが競技に集中し、スポーツを心から楽しめる環境を守るため、スポーツ界全体でこの問題に取り組みます。

- 大会における盗撮防止事例を共有し、各大会での防止策の取り組みを後押しします。
- 研修等を通じ、アスリート自身がネットやSNSで身を守る必要性を啓発していきます。
- SNS投稿やWEB掲載の実態把握に努め、関係機関に共有していきます。

この問題を解決するには皆さんのご理解が欠かせません。
これからも安心してスポーツができる環境を守るために、ご理解ご協力をお願いいたします。

安全な環境を、すべてのスポーツ愛好者のために。

SAVE ATHLETES, SAVE SPORT.

大会会場で盗撮等が疑われる行為を見かけましたら大会主催者にお知らせください。

アスリートを傷つける性的目的のSNS投稿やWEB掲載を見かけましたら下記サイトよりご連絡ください。
今後の対応に活用するとともに、悪質な事例については当局への通報も検討します。

https://www.joc.or.jp/about/savesport/

- 盗撮は迷惑防止条例で犯罪として処罰される可能性があります。
- SNS等で本人の名誉を傷つける書き込みは犯罪（名誉毀損罪）として処罰される可能性があります。
- 匿名による投稿であっても、法的手続により、投稿者が特定され、損害賠償請求の対象になる可能性があります。

公益財団法人 日本オリンピック委員会　公益財団法人 日本スポーツ協会　公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会　一般社団法人 大学スポーツ協会
公益財団法人 全国高等学校体育連盟　公益財団法人 日本中学校体育連盟　独立行政法人 日本スポーツ振興センター

FAIR PRIDE

勝利を超える価値がある

私たちは信じる。

正々堂々と競いあう潔さを。

相手をリスペクトすることで生まれる友情や感動を。

まっすぐ挑戦しつづける、そこに、

自分や、仲間や、社会さえ変える力があることを。

さあ、すべては、私たちの中にある

フェアネスの心からはじまる。

スポーツのフェアネスが、社会のフェアネスを支えるために。

JADA PLAY TRUE Japan Anti-Doping Agency

青の煌めきあおもり国スポ 2026 翔ける未来へ縄文の風に乗って 第80回国民スポーツ大会

公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構

スポーツ庁委託事業

Copyright © JAPAN Anti-Doping Agency All Rights Reserved.

Ver.201903

MIZUNO SPORTS PROMOTION FOUNDATION

1970 ▷▷▷▷▷▷ 56TH ▷▷▷▷▷▷ 2026



スポーツを愛する人たちへ

私たち、ミズノスポーツ振興財団は、
スポーツの普及、振興に必要な事業を行い、
スポーツを愛する人たちを応援しています。

公益財団法人
ミズノスポーツ振興財団

青森市協賛企業・団体のご紹介

（順不同・敬称略）

青森トヨタ自動車株式会社
青森三菱自動車販売株式会社
株式会社マツダアンフィニ青森
有限会社タイムプラン
青森市新町商店街振興組合
創創舎
有限会社オフィスオー・シー
青森市緑化事業協同組合
青森市造園協同組合
株式会社テクノル
株式会社オカモト
青森市アメニティ事業協同組合
A・Zコーポレーション株式会社
合同会社丸髙興業
青森県産米需要拡大推進本部
ヤマモト食品株式会社
鐘屋産業株式会社
二分団ねぶた会
株式会社アイティフォー
青森おでんの会
大和リース株式会社
一般社団法人公縁クロス機構
株式会社吉田工機
株式会社Sky Next
赤平設備工業株式会社
大塚製薬株式会社ニュートラシューティカルズ事業グループ東北支店

株式会社エイ・ワンド
有限会社松栄堂
小田桐錦石研究所合同会社
成邦商事株式会社
株式会社しじみちゃん本舗
株式会社CUTE UP
株式会社翁屋
全国農業協同組合連合会青森県本部
イオン東北株式会社

私たちは、青の煌（きら）めきあおもり国スポ・障スポ
青森市開催競技を応援しています！

青の煌（きら）めきあおもり国スポ・障スポ
2026 AOMORI CITY

競技会場地マップ Venue map

県内全40市町村と県外3市町において、国スポ・障スポ合わせて104競技を開催！

国スポ　正式競技（37）　特別競技（1）　公開競技（7）　デモンストレーションスポーツ（39）　冬季正式競技（3）

障スポ　正式競技（14）　オープン競技（3）

（身）身体障がい者が出場できる競技　（知）知的障がい者が出場できる競技
（精）精神障がい者が出場できる競技

東青地域

青森市

- 国スポ総合開・閉会式
- 障スポ開・閉会式
- 陸上競技
- 水泳（競泳）
- 水泳（水球）
- 水泳（アーティスティックスイミング）
- 水泳（オープンウォータースイミング）
- テニス
- バレーボール（6人制）
- バレーボール（ビーチバレーボール）
- ハンドボール
- ソフトテニス
- 卓球
- 軟式野球
- ライフル射撃（25m）
- ラグビーフットボール（15人制）
- スポーツクライミング（リード・ボルダー）
- アーチェリー
- ゴルフ
- トライアスロン
- ウォークビンゴ
- カーリング
- ソフトバレーボール
- ターゲット・バードゴルフ
- ドッジボール
- 年齢別ソフトテニス
- 年齢別テニス
- ふれあいボウリング
- ユニバーサルホッケー
- ラージボール卓球
- ダンススポーツ
- 陸上競技（身・知）
- 水泳（身・知）
- アーチェリー（身）
- 卓球（身・知・精）

サウンドテーブルテニス（身）を含む。

平内町

- ゴルフ
- 綱引

今別町

- 年齢別バドミントン

蓬田村

- モルック

外ヶ浜町

- ペタンク

下北地域

むつ市

- ローイング
- バスケットボール
- セーリング
- フェンシング
- フライングディスク
- バスケットボール（知）

大間町

- ウオーキング

風間浦村

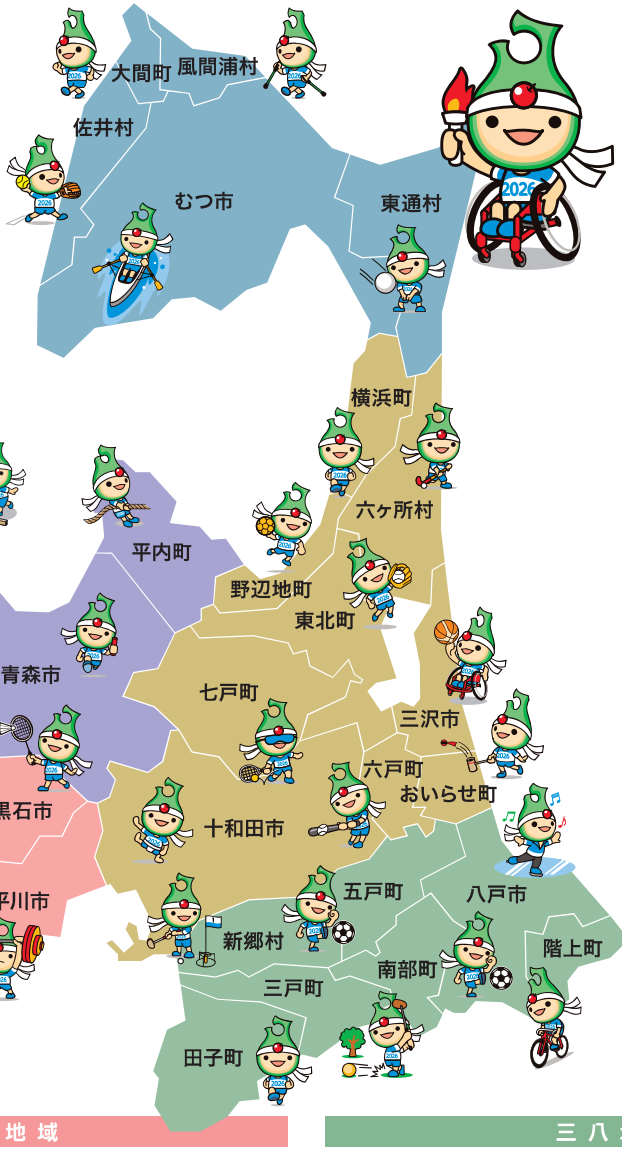
- ノルディックウォーキング

東通村

- ソフトバレーボール

佐井村

- ふれあいソフトボール



上北地域

十和田市

- サッカー
- バスケットボール
- 相撲
- ゲートボール
- バウンドテニス
- パークゴルフ
- Let's Enjoy バウンドテニス
- バレーボール（身）

三沢市

- ホッケー
- バスケットボール
- 軟式野球
- ソフトボール
- 銃剣道
- 武術太極拳
- いきいき太極拳
- スケート（ショートトラック）
- アイスホッケー
- ボウリング（知）
- 車いすバスケットボール（身）
- デフボウリング（身）

野辺地町

- ハンドボール

七戸町

- 剣道
- ブラインドテニス（身）

六戸町

- 軟式野球

横浜町

- マラソン

東北町

- ソフトボール
- 女子ソフトボール
- ソフトボール（知）

六ヶ所村

- ホッケー
- 軟式野球

おいらせ町

- 軟式野球
- スポーツチャンバラ
- ファイン・ボール
- ブラインドベースボール（身）
- ファイン・ボール（身）

西北地域

五所川原市

- バレーボール（6人制）
- バレーボール（精）

つがる市

- バレーボール（6人制）
- 柔道
- バレーボール（知）

鰺ヶ沢町

- マスターズスイミング

深浦町

- ノルディックウォーキング

板柳町

- ふれあいゲートボール
- ウオーキング

鶴田町

- マラソン&ウォーキング

中泊町

- ビーチサッカー

中南地域

弘前市

- 体操（競技）
- 体操（新体操）
- 体操（トランポリン）
- ソフトボール
- 弓道（近的・遠的）
- ライフル射撃（50m、10m、BR・BP）
- 空手道
- クレー射撃（トラップ・スキート）
- 高等学校野球（硬式・軟式）
- マスターズ陸上競技
- ビリヤード
- フライングディスク（身・知）
- ボッチャ（身）

黒石市

- バドミントン

西目屋村

- カヌー（スプリント）
- カヌー（スラローム・ワイルドウォーター）

大鰐町

- パラグライディング
- オリエンテーリング
- スキー（ジャイアントスラローム）
- スキー（クロスカントリー）

平川市

- ウエイトリフティング
- グラウンド・ゴルフ
- エアロビック
- インディアカ

藤崎町

- なぎなた
- パワーリフティング
- スポーツウエルネス吹矢

田舎館村

- ユニカール

三八地域

八戸市

- サッカー
- バスケットボール
- レスリング
- 自転車（トラックレース）
- ソフトボール
- ラグビーフットボール（7人制）
- ボウリング
- 空道
- スケート（スピード）
- スケート（フィギュア）
- アイスホッケー
- サッカー（知）
- フットソフトボール（知）

三戸町

- パークゴルフ

五戸町

- サッカー

田子町

- マラソン

南部町

- サッカー

階上町

- 自転車（ロードレース）
- フロアボール

新郷村

- エンジョイ！グラウンド・ゴルフ

県外

宮城県利府町

- 水泳（飛込）

山梨県北杜市

- 馬術

秋田県鹿角市

- スキー（スペシャルジャンプ）
- スキー（コンバインド）

競技記録結果・動画配信に関する案内

動画配信（国スポチャンネル）

https://japangamestv.japan-sports.or.jp/

37の正式競技の
決勝戦を中心に
「国スポチャンネル」で配信！

競技記録結果サイト（共同通信社配信）

開設期間：令和８年９月１日～１２月２６日

ＰＣ・スマホ
https://kirokukensaku.net/5NS26/index.html
フィーチャーフォン（ガラケー）
http://kirokukensaku.net/5NS26/mob/index.html

（PC・スマホ）　（フィーチャーフォン）

青森県実行委員会ホームページ

https://aomorikokuspo2026.pref.aomori.lg.jp/

JAPAN GAMES

青の煌めきあおもり国スポ 2026

翔けろ未来へ縄文の風に乗って
第80回国民スポーツ大会

卓球競技会

青の煌めきあおもり国スポ・障スポ青森市実行委員会
（青森市役所　経済部　国スポ・障スポ総務課・競技課）
〒038-0012　青森県青森市柳川２丁目１－１　２階
ＴＥＬ：０１７－７６１－４４６７／０１７－７６１－４４７８
ＦＡＸ：０１７－７６１－４４８９
（平日　８：３０～１７：００）

（市実行委員会 HP）　（青森県卓球連盟 HP）　（市実行委員会 X）　（市実行委員会 Instagram）